



ライオンズクラブ国際協会331-C地区

2026年～2027年 函館キャビネット



第1回 キャビネット会議 資 料



KEYWORD

「まず、自分がたのしもうぜ」
そこからだよ

開催日 2026年7月25日（土）

開催場所 ホテル函館ロイヤルシーサイド

地区ガバナースローガン

真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう

【 目 次 】

● GAT・GMA 会議・長期計画リサーチ委員会・名誉顧問会議	
次第・座席表	P. 1～ 6
● 第1回キャビネット会議座席表	P. 7
● 第1回キャビネット会議懇親会座席表	P. 8
● 第1回キャビネット会議出席者名簿	P. 9～ 12
● 物故会員	P. 13
● 第1回キャビネット会議次第	P. 14～ 15
● ガバナースローガン	P. 16
● シンボルマーク	P. 17
● ガバナー基本方針	P. 18
● ガバナー紹介	P. 19
● 第73回地区年次大会ガバナーズアワード（案）	P. 20
● 審議事項	
➤ キャビネット幹事・会計選任（同意書）について	P. 22～ 24
➤ 幹事・会計の担保について	P. 25
➤ 地区会計監査の委嘱について	P. 26
➤ キャビネット一般収支予算（案）（収入）について	P. 27
➤ キャビネット一般収支予算（案）（支出）について	P. 28
➤ 青少年育成費収支予算（案）について	P. 29
➤ エコ紙・IT活動費発行費収支予算（案）について	P. 30
➤ 今年度クラブ拠出金一覧（案）について	P. 31
➤ 今年度取引銀行・事務局案内について	P. 32
➤ 地区キャビネット旅費支給規定（案）について	P. 33～ 35
➤ キャビネット慶弔規定（案）について	P. 36
➤ 地区ガバナー公式訪問日程予定表について	P. 37
➤ クラブ提出議案について	P. 38～ 40
➤ ZC・Z委員について	P. 41～ 43
● 国際レベル資料	P. 44～ 46
● 日本レベル資料	P. 47～108
● 331複合レベル資料	P. 109～112
● 331ーC地区報告	P. 113～119
● マンスリーレポート（2026.3～2026.6）	P. 120～124
● LCIF状況（2026.3～2026.6）	P. 125～129
● 就任挨拶・活動方針	P. 130～167

GAT・GMA 会議

第 1 回会議次第

日時 2026 年 7 月 25 日（土） 12:00～13:00

場所 ホテル函館ロイヤルシーサイド カーネギー

司会進行 地区キャビネット運営委員会 副委員長 L 高瀬 孝太郎

記 録 地区キャビネット運営委員会 副委員長 L 高田 眞樹

1. 出席者紹介 地区キャビネット幹事 L 相原 慎太郎

2. 地区ガバナー挨拶 L 作並 真一

3. 諮問事項

（1）各コーディネーターからの連絡事項

（2）各 Z C からの連絡事項

4. その他（質疑・応答）

ライオンズクラブ国際協会 3 3 1 - C地区

GMA・GAT 会議

日時： 2026年7月25日（土）12：00～13：00

場所： ホテル函館ロイヤルシーサイド カーネギー

地区ガバナー L作並 真一	第2副地区ガバナー L鈴木 秀作
------------------	---------------------

GLTコーディネーター L石戸 保
GSTコーディネーター L種市 誠
WYPTコーディネーター L前川 弘亘
GETコーディネーター L菅原 哲也
LCIFコーディネーター L林 謙治
GMTコーディネーター L佐藤 裕

第1R第1Z Z C L 松浦慎太郎
第2R第1Z Z C L 熊澤 龍一郎
第2R第2Z Z C L 吉村 政哉
第4R第1Z Z C L 濱西 恵利子
第5R第2Z Z C L 小谷 和宏
キャビネット幹事 L相原 慎太郎
キャビネット会計 L嘉堂 卓也

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

長期計画リサーチ委員会

第 1 回会議次第

日時 2026年7月25日(土) 13:15~13:50

場所 ホテル函館ロイヤルシーサイド カーネギー

司会進行 地区キャビネット運営委員会 副委員長 L 高瀬 孝太郎

記 録 地区キャビネット運営委員会 委員長 L 三上 隆広

1. 出席者紹介 地区キャビネット運営委員会 委員長 L 三上 隆広
2. 地区ガバナー挨拶 L 作並 真一
3. 長期計画リサーチ委員会 委員長挨拶 前地区ガバナー L 高橋 伸介
4. 諮問事項
・各委員より
5. その他(質疑・応答)

ライオンズクラブ国際協会 3 3 1 - C地区

長期計画リサーチ委員会

日時： 2026年7月25日（土）13：15～13：50

場所： ホテル函館ロイヤルシーサイド カーネギー

前地区ガバナー L 高橋 伸介	地区ガバナー L作並 真一	第2副地区ガバナー L鈴木 秀作
--------------------	------------------	---------------------

GLTコーディネーター L石戸 保
GSTコーディネーター L種市 誠
WYPTコーディネーター L前川 弘亘
GETコーディネーター L菅原 哲也
LCIFコーディネーター L林 謙治
GMTコーディネーター L佐藤 裕
キャビネット幹事 L相原 慎太郎
キャビネット会計 L嘉堂 卓也
長期計画リサーチ委員 L門脇 宏幸

元地区ガバナー L 渡部 義男
元地区ガバナー L 馬場 哲也
元地区ガバナー L 須藤 敏幸
元地区ガバナー L 松浦 則雄
元地区ガバナー L 奥山 幸一
元地区ガバナー L 後藤 忍

ライオンズクラブ国際協会 331 - C 地区

第 1 回 地区名誉顧問会議

会議次第

日 時 2026 年 7 月 25 日 (土) 14 : 00 ~ 15 : 30

場 所 ホテル函館ロイヤルシーサイド カーネギー

司 会 キャビネット運営委員会 委員長 L 三上 隆広

記 録 キャビネット運営委員会 副委員長 L 高田 眞樹

1 出席者紹介 キャビネット幹事 L 相原 慎太郎

2 地区ガバナー 挨拶 L 作並 真一

3 前ガバナー 名誉顧問会議長挨拶 L 高橋 伸介

4 諮問事項

(1) 前小樽キャビネット準備事務局-準備金収支について

(2) 今期のキャビネット運営について

(3) その他

5 その他 質疑応答

ライオンズクラブ国際協会 3 3 1 - C地区

地区名誉顧問会

日時： 2026年7月25日（土）14：00～15：30

場所： ホテル函館ロイヤルシーサイド カーネギー

前地区ガバナー L 高橋 伸介	地区ガバナー L作並 真一	第2副地区ガバナー L鈴木 秀作
--------------------	------------------	---------------------

元地区ガバナー L 渡部 義男
元地区ガバナー L 馬場 哲也
元地区ガバナー L 須藤 敏幸
元地区ガバナー L 吉原 成昌
元地区ガバナー L 本所 光男
元地区ガバナー L 松浦 則雄

元地区ガバナー L 奥山 幸一
元地区ガバナー L 後藤 忍
元地区ガバナー L 田中 稔
キャビネット幹事 L 相原 慎太郎
キャビネット会計 L 嘉堂 卓也
長期計画リサーチ委員 L 門脇 宏幸

ライオンズクラブ国際協会331-C地区キャビネット 第1回キャビネット会議

2026年7月25日(土) 15:45～17:45

場所 ホテルロイヤルシーサイド クイーンホール3F

司会 キャビネット運営委員会 副委員長 L高田 眞樹

記録 キャビネット運営委員会 委員長 L三上 隆広

入口

	L 門脇 宏幸 長期計画リサーチ委員会委員長	L 石原 諭 地区会計監査	L 三上 一徳 地区会計監査	L 松浦 則雄 元地区ガバナ―	L 奥山 幸一 元地区ガバナ―	L 後藤 忍 元地区ガバナ―	L 田中 稔 元地区ガバナ―						
L 嘉堂 卓也 キャビネット会計	L 相原 慎太郎 キャビネット幹事	L 鈴木 秀作 第二副地区ガバナ―	L 作並 真一 地区ガバナ―	L 高橋 伸介 前地区ガバナ―	L 渡部 義男 元地区ガバナ―	L 馬場 哲也 元地区ガバナ―	L 須藤 敏幸 元地区ガバナ―	L 吉原 成昌 元地区ガバナ―	L 本所 光男 元地区ガバナ―				
										演台			

	地区GMT L佐藤 裕
	地区GLT L石戸保
	地区GST L種市誠
	地区GET L菅原哲也
	地区LCIF L林謙治
	地区WYPT L前川弘亘

1R1Z ZC L松浦慎太郎	1R1Z Z委員 L佐藤洋
2R1Z ZC L熊澤龍一郎	
2R2Z ZC L吉村政哉	
3R1Z ZC L山木博孝	3R1Z Z委員 L木村耕志
	4R2Z Z委員 L皆口玲二
5R1Z ZC L田外清	5R1Z Z委員 L伊藤健一
5R2Z ZC L小谷和宏	5R2Z Z委員 L畑嶋賢蔵

LCIF委員会 委員1R L館山大樹	視力障害献眼献血 委員長 L坂井肇
LCIF委員会 委員3R L早坂 憲二	アラート環境社会福祉委員長 L辺見寿了
LCIF委員会 委員5R L久保真一	ECHO・IT委員会委員長 L安達隆真
	LCIF委員会 委員長 L五十嵐靖央
	地区大会国際大会委員会委員長 L吉田寛
	YCE委員会 委員長 L末永玲子
	重物乱用ウエスト委員会 委員長 L藤本圭

運営委員会 委員長 L三上隆広	運営委員会 副委員長 L高田眞樹
	運営委員会 副委員長 L高瀬孝太郎
	運営委員会 委員 L稲見裕一
	運営委員会 委員 L吉田裕

ホストクラブ 函館海峡LC	ホストクラブ 函館元町LC	ホストクラブ 函館中央LC	ホストクラブ 函館みなとLC	ホストクラブ 函館みなとLC
------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------

ライオンズクラブ国際協会331-C地区キャビネット 第1回キャビネット会議懇親会

2026年7月25日(土)

司 会 キャビネット運営委員会 副委員長 L高田眞樹

ステージ

松

L作並真一	L高橋伸介
L鈴木秀作	L渡部義男
L馬場哲也	L本所光男
L松浦則雄	L奥山幸一

梅

L佐藤 裕	L石戸 保
L種市 誠	L前川弘亘
L菅原哲也	L林 謙治

竹

L後藤 忍	L田中 稔
L三上一徳	L相原慎太郎
L石原 諭	L門脇宏幸

祝

L松浦慎太郎	L吉村政哉
L田外 清	L佐藤 洋
L皆口玲二	L伊藤健一

寿

L三上隆広	L高田眞樹
L高瀬孝太郎	L安達隆真
L辺見寿了	L早坂憲二
L五十嵐靖央	

A

L吉田 寛	L末永玲子
L藤本 圭	L工藤江利香
L三品孝浩	L金子千恵子

2026.7～2027.6第1回キャビネット会議出席者名簿

役職	氏名	所属クラブ	GAT/GMT	長計	名譽顧問会	全体会議	懇親会
地区ガバナー 地区GATファシリテーター 地区GMAチームリーダー	L作並 真一	函 館 み な と LC	○	○	○	○	○
前地区ガバナー 地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員会 委員長	L高橋 伸介	室 蘭 東 LC	△	○	○	○	○
第2副地区ガバナー 地区GMAチームリーダー 長期計画リサーチ委員会 委員	L鈴木 秀作	苫 小 牧 白 鳥 LC	○	○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 副委員長	L渡部 義男	苫 小 牧 中 央 LC	△	○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L馬場 哲也	函 館 東 LC	△	○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L須藤 敏幸	伊 達 LC	△	○	○	○	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L中村 全博	小 樽 LC	△	×	×	×	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L北島 孝雄	木古内・知内 LC	△	×	×	×	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L吉原 成昌	苫 小 牧 ハスカップ LC	△	△	○	○	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L本所 光男	室 蘭 東 LC	△	△	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L佐々木 忠康	小 樽 LC	△	×	×	×	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L松浦 則雄	函 館 北 斗 LC	△	○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L奥山 幸一	函 館 み な と LC	△	○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L後藤 忍	函館グリーン LC	△	○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L田中 稔	苫 小 牧 中 央 LC	△	△	○	○	○
地区キャビネット幹事 地区GMAチームサポーター 長期計画リサーチ委員会 委員	L相原 慎太郎	函 館 み な と LC	○	○	○	○	○
地区キャビネット会計 地区GMAチームサポーター 長期計画リサーチ委員会 委員	L嘉堂 卓也	函 館 臥 牛 LC	○	○	○	○	×
地区GMTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会 委員	L佐藤 裕	倶 知 安 LC	○	○	△	○	○
地区GLTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会 委員	L石戸 保	松 前 LC	○	○	△	○	○
地区GSTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会 委員	L種市 誠	松 前 LC	○	○	△	○	○
地区WYPTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会 委員	L前川 弘亘	函 館 LC	○	○	△	○	○
地区GETコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会 委員	L菅原 哲也	岩 内 LC	○	○	△	○	○
地区LCIFコーディネーター 長期計画リサーチ委員会 委員	L林 謙治	苫 小 牧 中 央 LC	○	○	△	○	○
長期計画リサーチ委員会 委員	L門脇 宏幸	室 蘭 東 LC	△	○	○	○	○
地区会計監査	L三上 一徳	松 前 LC	△	△	△	○	○
地区会計監査	L石原 諭	八 雲 LC	△	△	△	○	○
小計			10	18	15	23	20

2026.7～2027.6第1回キャビネット会議出席者名簿

役職	氏名	所属クラブ	GAT/GMT	長計	名譽顧問会	全体会議	懇親会
第1R第1Zゾーンチェアパーソン	L松浦 慎太郎	函 館 一 楽 LC	○	/	/	○	○
第2R第1Zゾーンチェアパーソン	L熊澤 龍一郎	小 樽 LC	○	/	/	○	×
第2R第2Zゾーンチェアパーソン	L吉村 政哉	二 せ こ LC	○	/	/	○	○
第3R第1Zゾーンチェアパーソン	L山木 博孝	伊 達 LC	×	/	/	○	×
第4R第1Zゾーンチェアパーソン	L濱西 恵利子	上 磯 LC	○	/	/	×	×
第4R第2Zゾーンチェアパーソン	L河野 昭次	森 LC	×	/	/	×	×
第5R第1Zゾーンチェアパーソン	L田外 清	新 冠 LC	×	/	/	○	○
第5R第2Zゾーンチェアパーソン	L小谷 和宏	厚 真 LC	○	/	/	○	×
第1R第1Zゾーン委員	L佐藤 洋	函 館 一 楽 LC	/	/	/	○	○
第2R第1Zゾーン委員	L荒井 智豪	小 樽 LC	/	/	/	×	×
第3R第1Zゾーン委員	L木村 耕志	伊 達 LC	/	/	/	○	×
第4R第1Zゾーン委員	L豊蔵 秀樹	上 磯 LC	/	/	/	×	×
第4R第2Zゾーン委員	L皆口 玲二	森 LC	/	/	/	○	○
第5R第1Zゾーン委員	L伊藤 健一	新 冠 LC	/	/	/	○	○
第5R第2Zゾーン委員	L畑嶋 賢蔵	厚 真 LC	/	/	/	○	×
キャビネット運営委員会 委員長	L三上 隆広	函館みなと LC	/	/	/	○	○
キャビネット運営委員会 副委員長	L高田 眞樹	函館グリーン LC	/	/	/	○	○
キャビネット運営委員会 副委員長	L高瀬 孝太郎	函 館 東 LC	/	/	/	○	○
キャビネット運営委員会 委員	L池田 洋輔	函 館 東 LC	/	/	/	×	×
キャビネット運営委員会 委員	L今野 靖晃	函 館 東 LC	/	/	/	×	×
キャビネット運営委員会 委員	L稲見 裕一	八 雲 LC	/	/	/	○	×
キャビネット運営委員会 委員	L吉田 裕	八 雲 LC	/	/	/	○	×
視力障害・献眼献血委員会 委員長	L阪井 肇	函 館 中 央 LC	/	/	/	○	×
アラート・環境・社会福祉委員会 委員長	L辺見 寿了	函 館 LC	/	/	/	○	○
ECHO・IT委員会 委員長	L安達 隆真	函 館 一 楽 LC	/	/	/	○	○
ECHO・IT委員会 副委員長	L川代 知道	函 館 一 楽 LC	/	/	/	×	×
小計			5	0	0	19	11

2026.7～2027.6第1回キャビネット会議出席者名簿

役職	氏名	所属クラブ	GAT/GMT	長計	名譽顧問会	全体会議	懇親会
LCIF委員会 委員長	L五十嵐 靖央	函 館 元 町 LC				○	○
LCIF委員会 委員 1R	L館山 大樹	函 館 北 斗 LC				○	×
LCIF委員会 委員 2R	L熊澤 龍一郎	小 樽 LC	兼 任				
LCIF委員会 委員 3R	L早坂 憲二	室 蘭 東 LC				○	○
LCIF委員会 委員 4R	L西村 昌一	森 LC				×	×
LCIF委員会 委員 5R	L久保 真一	苫小牧中央 LC				○	×
会則委員会 委員長	L森田 かおる	函 館 海 峡 LC				×	×
公益財団日本ライオンズ委員会 委員長	L本所 光男	室 蘭 東 LC	兼 任				
公益財団日本ライオンズ委員会 副委員長	L金濱 元一	室 蘭 東 LC				×	×
地区大会・国際大会委員会 委員長	L吉田 寛	函 館 東 LC				○	○
YCE委員会 委員長	L末永 玲子	函館グリーン LC				○	○
薬物乱用防止・ライオンズクエスト委員会 委員長	L藤本 圭	函 館 元 町 LC				○	○
ホストクラブ会長	L今野 靖晃	函 館 東 LC	兼 任				
ホストクラブ幹事	L中口 啓二	函 館 東 LC				×	×
ホストクラブ会計	L秋山 匡基	函 館 東 LC				×	×
ホストクラブ会長	L生田 豊	函 館 海 峡 LC				○	×
ホストクラブ幹事	L木村 謙一	函 館 海 峡 LC				×	×
ホストクラブ会計	L森田 かおる	函 館 海 峡 LC	兼 任				
ホストクラブ会長	L渡辺 晃男	上 磯 LC				×	×
ホストクラブ幹事	L石崎 幸男	上 磯 LC				×	×
ホストクラブ会計	L岩並 彰	上 磯 LC				×	×
ホストクラブ会長	L若杉 充宏	函 館 元 町 LC				○	×
ホストクラブ幹事	L藤本 圭	函 館 元 町 LC	兼 任				
ホストクラブ会計	L阿相 忠祐	函 館 元 町 LC				×	×
小計			0	0	0	9	5

2026.7～2027.6第1回キャビネット会議出席者名簿

役職	氏名	所属クラブ	GAT/GMT	長計	名譽顧問会	全体会議	懇親会
ホストクラブ会長	L嘉堂 卓也	函 館 臥 牛 LC	兼 任				
ホストクラブ幹事	L讃岐 生子	函 館 臥 牛 LC				×	×
ホストクラブ会計	L加納 陽子	函 館 臥 牛 LC				×	×
ホストクラブ会長	L稲見 裕一	八 雲 LC	兼 任				
ホストクラブ幹事	L石原 諭	八 雲 LC	兼 任				
ホストクラブ会計	L大久保 建一	八 雲 LC				×	×
ホストクラブ会長	L小川 晃史	森 LC				×	×
ホストクラブ幹事	L西村 昌一	森 LC	兼 任				
ホストクラブ会計	L藤田 健一	森 LC				×	×
ホストクラブ会長	L工藤 江利香	函 館 中 央 LC				○	○
ホストクラブ幹事	L阪井 肇	函 館 中 央 LC	兼 任				
ホストクラブ会計	L明石 章彦	函 館 中 央 LC				×	×
ホストクラブ会長	L末永 玲子	函館グリーン LC	兼 任				
ホストクラブ幹事	L高田 眞樹	函館グリーン LC	兼 任				
ホストクラブ会計	L小野寺 靖治	函館グリーン LC				×	×
ホストクラブ会長	L三品 孝浩	函館みなと LC				○	○
ホストクラブ幹事	L金子 千恵子	函館みなと LC				○	○
ホストクラブ会計	L相原 慎太郎	函館みなと LC	兼 任				
小計			0	0	0	3	3
			15	18	15	54	39

物故会員ご芳名 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

	にわ みちまさ		
故 L	丹羽 道正	(白老LC)	2026年3月17日 逝去(84歳)
	ささき てるお		
故 L	佐々木 輝夫	(黒松内LC)	2026年4月19日 逝去(87歳)
	たかはし かずお		
故 L	高橋 和雄	(苫小牧LC)	2026年5月8日 逝去(88歳)
	おぐら かつろう		
故 L	小倉 勝郎	(室蘭LC)	2026年5月9日 逝去(86歳)
	たかなし しげかつ		
故 L	高梨 重勝	(函館中央LC)	2026年5月10日 逝去(82歳)
	きたむら いのすけ		
故 L	北村 猪之助	(小樽みなとLC)	2026年5月15日 逝去(91歳)
	かどた みき		
故 L	門田 美樹	(倶知安LC)	2026年5月15日 逝去(60歳)
	あぶみや ともし		
故 L	鑑谷 朝詩	(上磯LC)	2026年6月28日 逝去(67歳)

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

第1回キャビネット会議次第

日時 2026年7月25日（土）15：45～17：45

場所 ホテル函館ロイヤルシーサイド クイーンホール3F

記録 地区キャビネット運営委員会副委員長 L 高田 真樹

司会 地区キャビネット運営委員会委員長 L 三上 隆広

- 1 開会ゴング ライオンズクラブ国際協会331-C地区ガバナー L 作並 真一
- 2 国旗敬礼
- 3 黙祷
- 4 出席者紹介 地区キャビネット運営委員会委員長 L 三上 隆広
- 5 地区ガバナー挨拶・基本方針説明 地区ガバナー L 作並 真一
- 6 前地区ガバナー・名誉顧問会議長挨拶 前地区ガバナー・名誉顧問会議長 L 高橋 伸介
- 7 長期計画リサーチ委員会報告 長期計画リサーチ委員長 L 高橋 伸介
- 8 審議事項 地区ガバナー L 作並 真一
 - ・ キャビネット幹事・会計の担保について
 - ・ 地区会計監査の委嘱について
 - ・ 今年度クラブ搬出金について
 - ・ キャビネット予算（案）について
 - ・ 函館キャビネット取引銀行・事務局について
 - ・ 地区キャビネット旅費規程（案）について
 - ・ 慶弔規定について
 - ・ ガバナー公式訪問について
 - ・ クラブ提出議案
 - ・ Z C・Z 委員について
 - ・ その他
- 9 報告・確認事項 地区キャビネット幹事 L 相原 慎太郎
- 10 地区コーディネーター役員就任挨拶、活動方針・報告
 - ・ GLT 地区GLTコーディネーター L 石戸 保
 - ・ GMT 地区GMTコーディネーター L 佐藤 裕
 - ・ GST 地区GSTコーディネーター L 種市 誠
 - ・ WYPT 地区WYPTコーディネーター L 前川 弘亘
 - ・ GET 地区GETコーディネーター L 菅原 哲也
 - ・ LCIF 地区LCIFコーディネーター L 林 謙治

11 ゾーンチェアパーソン役員就任挨拶、活動方針・報告

・ 第1R第1Z ゾーンチェアパーソン	L 松浦 慎太郎
・ 第2R第1Z ゾーンチェアパーソン	L 熊澤 龍一郎
・ 第2R第2Z ゾーンチェアパーソン	L 吉村 政哉
・ 第3R第1Z ゾーンチェアパーソン	L 山木 博孝
・ 第4R第1Z ゾーンチェアパーソン	L 濱西 恵利子
・ 第4R第2Z ゾーンチェアパーソン	L 河野 昭次
・ 第5R第1Z ゾーンチェアパーソン	L 田外 清
・ 第5R第2Z ゾーンチェアパーソン	L 小谷 和宏

12 各委員会役員就任挨拶、活動方針・報告

・ 視力障害・献眼献血委員会	委員長	L 阪井 肇
・ アラート・環境・社会福祉委員会	委員長	L 辺見 寿了
・ E C H O ・ I T 委員会	委員長	L 安達 隆真
・ L C I F 委員会	委員長	L 五十嵐 靖央
・ 会則委員会	委員長	L 森田 かおる
・ 地区大会・国際大会委員会	委員長	L 吉田 寛
・ Y C E 委員会	委員長	L 末永 玲子
・ 薬物乱用防止・ライオンズクエスト委員会	委員長	L 藤本 圭
・ キャビネット運営委員会	委員長	L 三上 隆広

13 質疑応答

14 開会ゴング	ライオンズクラブ国際協会331-C地区ガバナー	L 作並 真一
----------	-------------------------	---------

懇親会 18：00～20：00 ゴールデンホール2F

地区ガバナー挨拶	ライオンズクラブ国際協会331-C	地区ガバナー	L 作並 真一
ウィサーブ	ライオンズクラブ国際協会331-C	前地区ガバナー	L 高橋 伸介
ローア	ガバナーチーム	地区ガバナー	L 作並 真一
		第2副地区ガバナー	L 鈴木 秀作

2026 年～2027 年

地区ガバナースローガン

「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」

キーワード

「まず、自分がたのしもうぜ、そこからだよ」

2026 年～2027 年度 地区ガバナースローガン「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」には、奉仕の原点を大切にしながら、仲間との絆を深め、笑顔をもって地域社会に貢献していきたいという思いが込められております。

現在、私たちの地域を取り巻く環境は大きく変化しております。特に人口減少は止まることなく進み、地域社会、クラブ運営、奉仕活動の在り方にも大きな影響を及ぼしています。このような時代だからこそ、私たちは立ち止まるのではなく、会員一人ひとりが心を一つにし、同じ方向を向き、前へ進み続けることが求められております。

奉仕を継続していくために必要なものは、特別な力だけではありません。仲間を信じ、互いに支え合い、笑顔を忘れず、前向きに行動し続ける姿勢こそが、奉仕を未来へつなぐ第一歩であります。たとえ地域の人口が減少し、活動環境が厳しさを増したとしても、私たちライオンズクラブが一つとなり、走り続けることで、地域に必要とされる奉仕の形を築いていくことができます。

キーワードである「まず、自分がたのしもうぜ、そこからだよ」には、奉仕活動を義務として捉えるのではなく、まず自分自身が前向きに楽しみ、その姿勢を仲間へ、クラブへ、そして地域へ広げていこうという思いが込められております。自らが楽しむことは、仲間の活力となり、クラブの結束を強め、継続的な奉仕活動を生み出す原動力となります。

2026～2027年シンボルマーク

2026年～2027年度 地区ガバナーズローガン

「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」

の精神を象徴するマークであります。

このマークの中心にある「S」スマイルは、奉仕活動の原点にある**明るさ、親しみ、温かさ**を表しています。奉仕とは、困っている方や地域社会に手を差し伸べる活動であると同時に、仲間と心を通わせながら、ともに前へ進む活動でもあります。笑顔は、人と人との距離を縮め、仲間をつなぎ、地域との信頼を築く力を持っています。

また、スマイルマークには、**まず自分自身が前向きに楽しむことから、より良い奉仕が生まれる**という思いが込められています。

キーワードである「まず、自分がたのしもうぜ、そこからだよ」

は、まさにこの考えを表した言葉であり、自分が楽しむ姿勢が仲間に伝わり、クラブ全体の活力となり、やがて地域社会へ広がっていくことを示しています。

さらに、このマークは、作並真一ガバナーの人柄である**明るさ、親しみやすさ、前向きな行動力**を表現しています。形式や肩書きだけにとらわれるのではなく、仲間とともに笑い、語り合い、楽しみながら奉仕をつくり上げていく。その姿勢こそが、2026年～2027年度の作並キャビネットが目指す方向性であります。

作並真一スマイルマークは、単なる笑顔の象徴ではありません。

それは、**仲間との絆を深める印であり、奉仕を楽しむ心の表れであり、地域へ明るい希望を届けるための旗印**であります。

2026年～2027年度、作並キャビネットは、このスマイルマークに込められた思いを胸に、ライオンズクラブの伝統と誇りを大切にしながら、仲間と笑顔で、楽しく、力強く奉仕をしていきたいという思いが込められております。



2026年～2027年 地区ガバナー基本方針

1. 会員増強 指導力育成

- ・ GAT(ガバナーアクションチーム)を設置し、国際協会が進めているミッション 1.5 ミリオンの行動計画を行い、新設クラブ（支部・スペシャリティクラブ）の創設を図る。（元ライオンズメンバー方への勧誘等）
- ・ ミッション 1.5 ミリオンの継続（今期の会員増強目標）
- ・ 地区内の純増 新会員 100 名 退会 50 名 純増 30～50 名目標です。
（皆さんよろしくお願いします）
- ・ C 地区で 1 つの新クラブの創設
（支部クラブ スペシャルティクラブ キャンパスクラブの創設等）
- ・ 退会者への復帰等各地区に於いて声掛け等の協力要請の実施
- ・ 特に女性会員・若手会員の入会に力を入れたいと思います。
- ・ 退会防止 退会理由を確認して退会しなくてもよい方法を考え実行する

2. LCIF

- ・ 今期の LCIF 地区目標金額は 150,000 ドルとさせて頂きました。（昨年同様）
日本でも毎年多くの自然災害が各地で発生しております いち早く継続的に動いているのは LCIF です いつ自分が災害に合うかわかりません 災害にあつてから LCIF のすばらしさに築いても遅いです 何卒会員の皆様一人 100 ドルを何卒よろしくお願いいたします
MJF（1,000 ドル）も無理のない範囲で何卒よろしくお願いいたします
- ・ LCIF, WYPT 合同ゴルフコンペ 10 月 10 日洞爺にて開催しノンライオンの方との交流を深め会員獲得を目指します

3. 奉仕活動

- ・ 今期の SDG s は、C 地区一つになって 5～6 月に「仲間と笑顔で楽しく」ビーチクリーンを C 地区会員と会員の家族、知人、地域の皆様 みんなで松前町に集合して開催をします。（ぜったい楽しいので皆さん参加してね）
- ・ 10 月は世界ライオンズデーに合わせた形で、各地区で清掃奉仕活動
中古眼鏡・古切手回収・献血 ACT・ヘアードネーション・アルミ缶リサイクル・タオルボランティア等は引き続き継続事業と致しますので各クラブでお願い致します。ヘアードネーションはキャビネットへ送って下さい。
各クラブで行っているアクティビティについても見直しが必要とするものがあれば新規の奉仕活動をお願い致します。
新規アクティビティについては、アワードもキャビネットで考えております。
今期も各クラブに於きまして様々な奉仕活動宜しくお願い致します。

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区ガバナー紹介



L作並 真一(さくなみ しんいち)

所属 331-C 地区 4R2R
函館みなとライオンズクラブ
生年月 1978年12月14日
勤務先 株式会社作並電気工事 代表取締役
〒041-0806
函館市美原 5 丁目 36-6
配偶者 美津恵

■ライオン歴

2010年	函館臥牛ライオンズクラブ入会
2015年	函館みなとライオンズクラブ・ トランスファーチャーターメンバー
2015年	函館みなとライオンズクラブ 幹事
2016年	函館みなとライオンズクラブ 会長
2024年	函館みなとライオンズクラブ 会長 創立10周年記念式典会長
2019年	331-C 地区第4R 第2Z ゾーン・チェアパーソン
2022年	331-C 地区第4R 第2Z ゾーン委員 331-C 地区会則委員長アラート委員長
2023年	331-C 地区LCIFコーディネーター
2025年	331-C 地区第二副地区ガバナー GMA チームリーダー 長期計画リサーチ委員会副委員長
331複合地区	
2023年	LCIF委員会 委員長
2024年	LCIF委員会 委員長

■受賞アワード

MJF 10回

第 73 回地区年次大会ガバナーズアワード(案)

(2026年-2027年)

1. ライオニズム大賞

2026年 7 月から 2027年2月まで、仲間を思いやり、互いに協力し合いながら、ライオンズクラブへの情熱と奉仕の精神を実践し、周囲の模範となる活動を行ったクラブまたは会員を表彰する。

2. アクティビティアワード

2026年 2 月から 2027年 2 月まで、地域に貢献度の高いアクティビティを特別に行っている各クラブに対して、自薦・他薦を問わず優秀申請、理由を考慮して選考する。今期新しくアクティビティを始めたクラブにもアクティビティアワードの贈呈を致します。

3. 会員増強アワード

- ・会員増強優秀賞(金賞・銀賞・銅賞)(クラブ)
- ・会員増強優秀賞(金賞・銀賞・銅賞)(個人)
- ・エクステンション特別賞(すべての実施クラブ)
- ・支部クラブ結成特別賞(すべての実施クラブ)

4. 会員守ったで賞

(退会したい会員の退会を防ぎ、クラブ間連携によりライオンズ活動の継続を実現。送り出しクラブ及び受入クラブを表彰する。)

5. ライオンズ アピール賞

2026 年 7 月から 2027 年 2 月までの期間において、SNS や新聞掲載を通じてライオンズクラブの活動を積極的に発信し、地域住民への認知向上とライオンズブランドの普及に最も貢献したクラブを表彰する。

6. LCIF アワード

- ・LCIF 優秀賞(LCIF クラブ全員 100 ドル拠出クラブ)
- ・MJF 優秀賞 (拠出者全員))

《選考委員会》 ■委員長＝地区ガバナー ■副委員長＝第一、第二副地区ガバナー
■地区幹事 ■地区会計

《提出期限》 2027年 2 月 28 日まで

《申請方法》 1.2.4.5 は自薦・他薦するクラブ会長名でキャビネット事務局宛提出

審 議 事 項

- キャビネット幹事・会計選任（同意書）について
- 幹事・会計の担保について
- 地区会計監査の委嘱について
- キャビネット一般収支予算（案）（収入）について
- キャビネット一般収支予算（案）（支出）について
- 青少年育成費収支予算（案）について
- エコ紙・ＩＴ活動費発行費収支予算（案）について
- 今年度クラブ拠出金一覧（案）について
- 今年度取引銀行・事務局案内について
- 地区キャビネット旅費支給規定（案）について
- キャビネット慶弔規定（案）について
- 地区ガバナー公式訪問日程予定表について
- クラブ提出議案について
- ＺＣ・Ｚ委員について

同 意 書

ライオンズクラブ国際協会331－地区
地区ガバナー L高橋 伸介

ライオンズクラブ国際協会331－C地区 地区会則第5条3項に基づき、
下記予定者の任命に同意致します。

2026年～2027年度キャビネット幹事予定者 L相原 慎太郎
所属クラブ 函館みなとライオンズクラブ
2019年度 クラブ会長

2026年～2027年度キャビネット会計予定者 L嘉堂 卓也
所属クラブ 函館臥牛ライオンズクラブ
2025年度 クラブ会長

2026 年 6 月 23 日

ライオンズクラブ国際協会331－C地区

地区名誉顧問

L 馬場 哲也 

同意書

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
地区ガバナー L高橋 伸介

ライオンズクラブ国際協会331-C地区 地区会則第5条3項に基づき、
下記予定者の任命に同意致します。

2026年～2027年度キャビネット幹事予定者 L相原 慎太郎
所属クラブ 函館みなとライオンズクラブ
2019年度 クラブ会長

2026年～2027年度キャビネット会計予定者 L嘉堂 卓也
所属クラブ 函館臥牛ライオンズクラブ
2025年度 クラブ会長

2026年6月23日

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

地区名誉顧問

梁 山 幸 

同意書

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
地区ガバナー L高橋 伸介

ライオンズクラブ国際協会331-C地区 地区会則第5条3項に基づき、
下記予定者の任命に同意致します。

2026年～2027年度キャビネット幹事予定者 L相原 慎太郎
所属クラブ 函館みなとライオンズクラブ
2019年度 クラブ会長

2026年～2027年度キャビネット会計予定者 L嘉堂 卓也
所属クラブ 函館臥牛ライオンズクラブ
2025年度 クラブ会長

2026年6月24日

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

地区名誉顧問

L 後藤 忍 

キャビネット幹事・会計 職務執行の保証としての担保について

キャビネット幹事 L 相原 慎太郎（函館みなと L C）

有限会社 I C ミシナ / 取締役

キャビネット会計 L 嘉堂 卓也（函館臥牛 L C）

株式会社総合物流嘉堂 / 代表取締役

両ライオンは、個人的資産と社会的信用もあり、職務執行に支障がないことを保証します。したがって担保の提供は免除願いたいので、ご了承下さい。

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

地区ガバナー L 作並 真一

地区会計監査の委嘱について

地区会計監査 L石原 諭（八雲 LC）

有限会社 高木商店 / 代表取締役

地区会計監査 L三上 一徳（松前 LC）

ミカミ塗装店 / 代 表

以上2名を委嘱申し上げたいので、ご了承下さい。

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

地区ガバナー L作並 真一

キャビネット一般収支予算（案）

（2026年7月1日～2027年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科 目	予 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金	0	
前 地 区 引 継 金	4,000,000	室蘭キャビネットより繰越金
地 区 費	10,915,200	1,137名×800円×12ヶ月
地 区 特 別 運 営 費	6,822,000	1,137名×500円×12ヶ月
雑 収 入	1,000,000	研修会費 その他
小 計	22,737,200	
地 区 大 会 費	1,364,400	1,137名×100円×12ヶ月
地 区 特 別 大 会 費	1,364,400	1,137名×100円×12ヶ月
青 少 年 育 成 費	1,137,000	1,137名×1,000円
エ コ ー 誌 発 行 負 担 金	2,274,000	1,137名×2,000円
小 計	6,139,800	
合 計	28,877,000	
地 区 運 営 基 金 繰 越 金	10,112,125	室蘭キャビネットより繰越金
小 計	10,112,125	
総合計	38,989,125	

ライオンズクラブ国際協会33I-C地区
キャビネット一般収支予算（案）
（2026年7月1日～2027年6月30日）

【支出の部】

単位：円

科 目	予 算 額	摘 要
会 議 費	1,400,000	キャビネット会議、各種会議他
旅 費 交 通 費	1,700,000	キャビネット会議・旅費宿泊費
訪 問 費	700,000	ガバナー公式訪問他
人 件 費	5,000,000	事務局員給料
通 信 費	500,000	郵便料・電話料、光回線料他
印 刷 費	900,000	会議資料・コピーカウンター・印刷機消耗品他
事 務 所 費	800,000	事務所賃貸料・光熱費・暖房費他
消 耗 品 費	800,000	事務用品・コピー紙・名刺他
什 器 備 品 費	1,200,000	コピー機、P C 関連、他
贈 呈 費	1,700,000	C A B ネームプレート・バナー・バッチ他
慶 弔 費	200,000	会員香典・供花他
周 年 行 事 費	200,000	お祝い他
交 際 費	200,000	お祝い他
引 継 費	100,000	
研 修 費	650,000	地区役員・三役・事務局員研修会
G A T 経 費	300,000	GAT（GMT・GLT・WYPT・GST・LCIF・GET各50,000円）活動費
ゾ ー ン 経 費	720,000	Z C 活動費（基本額50,000円+ゾーン内クラブ数×8,000円）
委 員 会 経 費	800,000	委員会活動費
SDGs	400,000	一斉清掃（10,000円×40クラブ）
開 設 費	100,000	看板他
次期キャビネット準備金	4,000,000	次期キャビネットへ引継ぎ金
雑 費	100,000	振込料他
離 島 補 助	100,000	10万円以内
予 備 費	167,200	
小 計	22,737,200	
青 少 年 育 成 費	1,137,000	Y C E ・ライオンズクエスト関係
エ コ ー 誌 発 行 負 担 金	2,274,000	エコー誌発行・I T 活動費
地 区 大 会 費	2,728,800	地区大会運営費
小 計	6,139,800	
地区運営基金繰越金	10,112,125	
合 計	10,112,125	
総合計	38,989,125	

青少年育成費収支予算（案）

（2026年7月1日～2027年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	摘要
青少年育成費	1,137,000	1,137名×1,000円
合計	1,137,000	

【支出の部】

科目	予算額	摘要
＜ＹＣＥ関係費＞		
会議費	20,000	
旅費交通費	100,000	
図書印刷費	20,000	
通信費	20,000	
雑費	10,000	
複合分担金	250,000	複合分担金
サマーキャンプ負担金	300,000	ＹＣＥサマーキャンプ負担金
予備費	17,000	
小計	737,000	
＜ライオンズクエスト関係費＞		
会議費	40,000	
旅費交通費	50,000	
図書印刷費	20,000	
通信費	20,000	
雑費	10,000	
ライオンズクエスト分担金	250,000	ライオンズクエスト分担金
予備費	10,000	
小計	400,000	
合計	1,137,000	

ライオンズクラブ国際協会33I-C地区

エコー誌・IT活動費発行費収支予算（案）

（2026年7月1日～2027年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	摘要
エコー誌発行負担金	2,274,000	1,137名×2,000円
合計	2,274,000	

【支出の部】

科目	予算額	摘要
エコー誌発行費	1,900,000	エコー誌 4回発行
会議費	10,000	
取材活動費	50,000	活動経費
IT活動費	210,000	
通信費	70,000	発送費用
雑費	10,000	
予備費	24,000	
小計	2,274,000	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

今年度クラブ拠出金一覧（案）

（2026年7月1日～2027年6月30日）

国 際 協 会 会 費	半期6ヶ月	\$25.00
〃	（家族会員）	半額
L C I F	（1人\$100の協力をお願いいたします）	
複 合 地 区 費	@180円×6ヶ月	1,080円
複 合 地 区 大 会 費	@20円×6ヶ月	120円
日本ライオンズ賛助会費	@160円×6ヶ月	960円
（複合半期分）	前期6ヶ月 合計	2,160円
	後期6ヶ月 合計	2,160円
	（家族会員は除く）	
地 区 費	@800円×6ヶ月	4,800円
地 区 特 別 運 営 費	@500円×6ヶ月	3,000円
地 区 大 会 費	@100円×6ヶ月	600円
地 区 特 別 大 会 費	@100円×6ヶ月	600円
エコー誌発行負担金	半期分 6ヶ月	1,000円
青 少 年 育 成 費	半期分 6ヶ月	500円
（地区半期分）	前期6ヶ月 合計	10,500円
	後期6ヶ月 合計	10,500円

函館キャビネット事務局取引銀行の通知について

表記の件につき、下記のとおりご通知申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会331-C地区取引銀行

(2026年7月1日～2027年6月30日)

口座開設日:2026年5月18日

口座閉鎖日: 2027年7月31 日

銀行名	北洋銀行
口座名義	ライオンズクラブ国際協会331-C地区 2026～2027函館キャビネット 地区会計 嘉堂 卓也
店番号	337(美原支店)
口座番号	普通預金 7256122

函館キャビネット事務局案内

住 所 〒041-0806
北海道函館市美原5-36-6
T E L 080-6613-2600
F A X 0138-46-1782
E-mail lc331c_hakodate-cab@lionsclubs-331c.org
事務局員 阿部 苗穂子 五味 千枝
業務時間 10:00～16:00
休 日 土曜日・日曜日・祝日

地区キャビネット旅費支給規定(案)

1. キャビネット構成員、事務職員の旅費の支給は、この規定による。
2. 旅費の支給を受ける者は、ライオンズクラブの用務のため、地区ガバナー要請により出張した者、
また地区ガバナーより会議あるいは公式行事の出席要請を受け、その会議あるいは行事に出席した者とする。
3. 出張前に旅費計画書を地区ガバナーに提出し、順路によってキャビネット事務局において諸手配をなし、
帰局後別表の旅費支給計算書により精算支給する。但し、前受金として仮払いをすることがある。
4. 地区ガバナーの旅費、その他の経費は国際協会の規定による。
5. キャビネット会議、その他の行事及び式典に出席する者は原則として次による。特に必要と認める場合は
若干名の増員をすることがある。
 - (1)キャビネット会議、各種委員会(研修会)
キャビネット構成員、地区役員、その他地区ガバナーが出席を要請した者
 - (2)クラブ訪問
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
 - (3)チャーターナイト
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、会員・エクステンション委員長、またはその代理人
 - (4)結成式及び記念式典
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、会員・エクステンション委員長
地区MC・IT委員長またはその代理人
 - (5)複合地区年次大会
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
 - (6)ガバナー協議会
地区ガバナー、キャビネット幹事
 - (7)地区内に於ける公式行事
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
6. 特別な事情で本規定によりがたい場合は、地区ガバナーの承認を得て、別紙支給額を定めることができる。
7. 他の機関より旅費その他の支給を受ける場合は、地区の旅費その他の支給をしないものとする。
8. この規定は、キャビネットの運営発足の日より適用する。
但し、キャビネット運営準備期間中は地区ガバナー・エレクトの指示による。

キャビネット旅費支給規定（案）

交 通 費	地区役員所属クラブ所在の市町村役場から、目的地所在の市町村役場までの自家用車使用に係る燃料費及び高速等料金の往復合計費用とする。 なお、燃料費については15km/Lで換算し、2026－2027年度については1L165円を適用する。 計算上発生した千円未満の端数については、四捨五入とする。						
宿 泊 費	<table><tr><td>道 内</td><td>8,000</td><td>円</td></tr><tr><td>道 外</td><td>10,000</td><td>円</td></tr></table>	道 内	8,000	円	道 外	10,000	円
道 内	8,000	円					
道 外	10,000	円					

（注） 地区キャビネット旅行支給規定4.に規定されている地区ガバナーの旅費は、国際本部から支給される金額が僅少なので、当該地区キャビネット旅行支給規定を適用して他の者と同様にキャビネットより支給する。

2026-2027ライオンズ国際協会 3 3 1 - C 地区

函館キャビネット 旅費支給額（自家用車用）

目的地 函館

出発地	片道距離（km）	一般道路料金（往復）（円）	高速料金（往復）（円）	支給金額（円）
		価格165円/ℓ（燃費15K）		
函館				支給なし
江差	76.7	1,688		2,000
北檜山	124.7	2,744	2,820	6,000
奥尻 ※	76.7	1,688		2,000
木古内・知内	44.5	979		1,000
松前	100.3	2,207		2,500
上磯				支給なし
八雲	74.1	1,631	2,820	4,500
森	44.2	973		1,000
小樽	243.6	5,360	5,440	11,000
余市	224.2	4,933	5,440	10,500
岩内	173.3	3,813	5,440	9,500
黒松内	129.6	2,852	5,440	8,500
倶知安	182.9	4,024	5,440	9,500
ニセコ	169.9	3,738	5,440	9,500
室蘭	193.5	4,257	7,860	12,500
洞爺	160.7	3,536	6,780	10,500
伊達	173.8	3,824	7,340	11,500
登別	196.1	4,315	8,260	13,000
白老	227.2	4,999	9,460	14,500
苫小牧	253.3	5,573	10,420	16,000
静内	335.9	7,390	11,080	18,500
新冠	331.1	7,285	11,080	18,500
むかわ	286.8	6,310	11,080	17,500
安平	276.6	6,086	11,080	17,500
厚真	284.1	6,251	11,080	17,500

※奥尻⇄江差間のフェリー代16,390円（3m未満片道）は含まれていない。
（離島補助金10万円となります。）

慶 弔 規 定(案)

慶 弔 区 分	金 額 及 び 内 容
地区役員が結婚したときのご祝儀	10,000円
地区役員の死亡弔慰金 (元ガバナー含む)	10,000円(香典) 供花、弔辞、弔電
地区役員家族の死亡弔慰金 (配偶者及び同居する一親等の家族)	5,000円(香典) 供花、弔辞、弔電
地区役員傷病見舞金 (但し、2週間以上の入院加療の場合)	10,000円
地区役員火災・風害の見舞金	10,000円
地区内クラブ会長、幹事、会計の死亡弔慰金	10,000円(香典) 供花、弔辞、弔電
地区内会員の死亡弔慰金	10,000円(香典) 弔辞、弔電
地区内会員の献眼者に対する弔慰金	10,000円(香典) 供花、弔辞、弔電、感謝状
地区キャビネット職員の慶弔金	10,000円
(注) ①上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、地区ガバナーの裁量により決定する。 ②供花・弔電はガバナー、キャビネット役員の裁量にて決定する。 ③ガバナーが参列できない場合は、各リジョンの役職者がプロトコルの順位に従い、代行するものとする。 ④一般の献眼者に対しては、上記地区寧会員献眼者の金額及び内容に準じる。 (但し、クラブがスポンサーになる時) ⑤キャビネット事務局員は、上記キャビネット構成員の項を準用する。 ⑥この規定は、第1回キャビネット会議の承認後、2026年7月1日に遡って施行する。	

★ガバナー公式訪問★

◎ガバナー公式訪問日程予定表

R	Z	訪問日	曜 日	役員打ち合わせ	公式訪問	当番クラブ	開催場所	参加クラブ
5	1 ・ 2	8月19日	水	16:30 } 17:30	18:00 } 19:45	苫小牧中央	グランドホテルニュー王子	苫小牧、苫小牧ハスカップ 苫小牧ハスカップ友絆会支部 苫小牧中央NOILS支部・ACT支部 苫小牧中央、苫小牧白鳥
2	1 ・ 2	8月28日	金	17:00 } 18:00	18:00 } 20:00	倶知安	ホテル第一会館	岩内、黒松内、倶知安 黒松内わかぶな、ニセコ
2	1 ・ 2	8月29日	土	16:30 } 17:30	18:00 } 20:00	小樽	ニュー三幸	小樽 小樽みなと、余市 小樽うしお
1	1	9月5日	土	16:30 } 17:30	18:00 } 20:00	北檜山	温泉ホテルきたひやま	江差、北檜山、奥尻
4	2	9月11日	金	16:00 } 17:30	18:00 } 20:00	八雲	八雲遊楽亭	八雲、森
1 4	1 1 ・ 2	9月19日	土	16:00 } 18:00	18:30 } 20:30	函館北斗 函館中央	ホテル函館 ロイヤル シーサイド	函館、函館北斗・、函館一楽 函館東、函館東こどもサポート 函館海峡、上磯、函館元町 函館臥牛、函館中央 函館グリーン、函館みなと 函館グリーンアミカル
5	1 ・ 2	9月25日	金	15:00 } 16:00	17:00 } 19:00	新冠	静内エクリプス ホテル	静内、新冠 安平、厚真
1	1	9月26日	土	： } ：	： } ：	木古内・知内	石川屋	木古内・知内、松前、 木古内・知内若獅子会 Venus支部
3	1	10月6日	火	16:00 } 17:30	18:00 } 20:00	登別	室蘭プリンス ホテル	室蘭、洞爺、伊達 登別、室蘭東、白老

【クラブ提出議案】

第4R 第1Z 函館元町ライオンズクラブ

第4R 第2Z 函館中央ライオンズクラブ

5月17日 地区内一斉清掃 ACT を 1R・3R・4R 合同の「せたな町三本杉海水浴場清掃」参加してきました。

漂流物の中には、魚網やロープ、金属類や大型プラスチックゴミ、浜に向けて故意に捨てたであろう生活ゴミが大量にあり、特に気になったのが数センチ大のプラスチック片の多さであった。波にもまれ砂と岩に削られた、いわゆる「マイクロプラスチック」になる課程のプラスチック片である。なかには角が鋭利なものもあり、裸足で海水浴場を歩き回ることが危険な状況であった。更には海開き直前には、砂浜を機械で掘り起こし埋もれているゴミを再度回収するとも聞いた。

そこで、海洋ゴミの中で最も多い、ペットボトル・ポリ容器・レジ袋などのプラスチックゴミについて考察してみる。

今回の海水浴場清掃では、制限された時間内の清掃であるがゆえ、目視でき簡単に回収できる大きさのゴミに限られた。しかし近年世界的に問題視されている「マイクロプラスチック」はその大きさから砂粒に見間違えう程であることから回収は不可能である。

以下、他文献より抜粋の「マイクロプラスチック」の正体と傾向・対策を記載してみた。マイクロプラスチックとは、5mm 未満の微小なプラスチック片で、海や川・大気・土壌などに広く拡散し、生態系や人の健康への影響が懸念されている汚染物質です。主に大きなプラスチックごみが劣化して砕けたものと、元から小さく製造された粒子があり、一度環境に出ると回収がほぼ不可能なため、発生源対策と使用量削減が重要とされています。

マイクロプラスチックは、5 ミリ以下のとても小さなプラスチックです。プラスチック製品が紫外線や摩耗で砕けたり、洗濯などで繊維が抜けて発生し、一度海や川に出るとほとんど回収できません。生き物がエサと間違えて食べてしまうことや、有害物質の運び役になることが懸念されています。

日常でできる減らし方

※買い物の工夫

- ・マイバッグ・マイボトル・マイ箸を使う
- ・過剰包装が少ない商品を選ぶ
- ・使い捨てカトラリーやストローを断る

- ・必要以上にネット通販の回数を増やさない

これらは、そもそものプラスチックごみ量を減らし、二次的なマイクロプラスチック発生を抑えることにつながります。

※家の中での工夫

- ・合成繊維の服は「まとめ洗い」して洗濯回数を減らす
- ・洗濯ネットを使って繊維の抜け落ちを少なくする
- ・マイクロビーズ入りスクラブやラメ入り製品は避ける
- ・排水溝のゴミ受けやフィルターをこまめに掃除し、流さず可燃ごみへ

マイクロビーズなど意図的に小さいプラスチックを含む製品は、日本でも世界でも規制が進んでおり、選ばないことが直接的な削減になります。

※外でできること

- ・川や海、街中でごみを見つけたら、可能な範囲で拾って分別する
- ・地域の清掃イベントや「海ごみゼロ」などの活動に参加する

大きなプラスチックごみの段階で回収することが、マイクロプラスチック化を防ぐ近道とされています。

マイクロプラスチック問題の対策

マイクロプラスチック問題の対策に関しては、2019 年に開催された「G20 大阪サミット」において、2050 年までにマイクロプラスチックの排出量をゼロにすることを目標とした、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が各国間で共有されました。

環境省は下記のようなマイクロプラスチック削減に取り組んでいる企業をグッド・プラクティスの一覧として発表しています。

- ・株式会社アダストリア：繊維くずの流出抑制効果を高めた洗濯ネットの開発
- ・スズキ株式会社：世界初となる船外機のマイクロプラスチック回収装置の開発
- ・レンゴー株式会社：セルロースを用いたマイクロプラスチックビーズの代替品開発

またマイクロプラスチック問題の対策で私たちができることとしては、下記のような取り組みが挙げられます。

- ・マイボトルやマイバッグを積極的に活用する
- ・なるべく再生可能なものを利用し、ごみを発生させないようにすること
- ・ごみのポイ捨てをしないこと

以上のように、マイクロプラスチックが海洋生物の体内に蓄積され、我々の食卓にその海洋食資源が並び、長年に渡りそれを食した後、人間の体内にもプラスチックゴミが蓄積され、「汚染」と断定される日も近いと懸念される。

我々のライオンズクラブは、全世界 200 カ国に5万クラブ、140万人のメンバーが活

動している。もちろんこの「マイクロプラスチック」に関心を持ちアクティビティーの一つとして、海や河川の清掃を実施しているクラブや地区もあるだろう。しかし多くは「清掃アクト中に見つけました・気付きました」で終わっているケースがほとんどで、将来の子孫に何らかの危機感を持ち次の行動を起こすまでに至っていない。

地区合同で清掃活動を行うことは、マイクロプラスチック対策の初期の第一歩の手段であることは間違いではないが、作並ガバナーには次のステージに進んでもらいたい。さらにこの問題は1地区だけ、作並年度だけに限ることなく社会問題として捉え、一般市民または関係企業に問題意識を認知させることこそ、マイクロプラスチック削減への取り組みの最優先と考える。

日本は全て海洋に取り囲まれている国である。言い換えればプラスチックゴミが浮遊している海に囲まれていると言っても過言ではない。しかし一方で海洋資源が食の主軸の一つであることも間違いはない。浜や河川のゴミの漂着を単なる清掃アクトで終わらせず、将来の子孫のために行動を起こす事こそ、世界的な奉仕団体であるライオンズクラブの使命であるとも考える。

今年度、栄えあるガバナーとなられたし作並真一には、その若さと行動力に期待を大にするものである。

以上

【提出議案なし】

函館 LC、江差 LC、北檜山 LC、奥尻 LC、函館北斗 LC、木古内・知内 LC、
松前 LC、函館一楽 LC

小樽 LC、余市 LC、岩内 LC、黒松内 LC、倶知安 LC、小樽みなと LC、
ニセコ LC、小樽うしお LC

室蘭 LC、洞爺 LC、伊達 LC、登別 LC、室蘭東 LC、白老 LC、
函館東 LC、函館海峡 LC、上磯 LC、函館臥牛 LC、八雲 LC、森 LC、
函館グリーン LC、函館みなと LC

苫小牧 LC、静内 LC、新冠 LC、苫小牧ハスカップ LC

苫小牧中央 LC、安平 LC、厚真 LC、苫小牧白鳥 LC

推 薦 状

2026 年 5 月 15 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
ガバナー L 高橋 伸介 殿

第 4R 第 2Z

森 ライオンズクラブ

会 長 角田 博光



2026～2027 年度、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット
第 4R 第 2Z ゾーンチェアパーソン候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	森 ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名	こうのしょうじ 河野 昭 次	生 年 月 日	西暦 1971 年 7 月 11 日
自 宅	住 所	(〒049-2311) 北海道茅部郡森町字上台町 352-5	
	電 話	01374-2-2501	
勤 務 先	住 所	(〒049-2313) 北海道茅部郡森町字森川町 280-18	
	名 称	株式会社 河野組	
	電 話	01374-2-2501	(携帯) 090-8635-3124
	F A X	01374-2-1321	
ライオン歴 (年度順)	2015 年 7 月 1 日 入会		
入会年月日 クラブ役職 準地区・ 複合地区 役 職 等	2016-2017 会計		
	2017-2018 幹事		
	2018-2019 次世代リーダー研究委員会副委員長		
	2019-2020 幹事		
	2022-2023 幹事		
	2023-2024 幹事		
	2024-2025 会長		
	2024-2025 ゾーン委員		

推 薦 状

2026 年 5 月 15 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
ガバナー L 高橋 伸介 殿

第 4R 第 2Z

森 ライオンズクラブ

会 長 角田 博光



2026～2027 年度、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット
第 4R 第 2Z ゾーン委員候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	森 ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名	みなぐちれいじ 皆口 玲二	生 年 月 日	西暦 1976 年 1 月 25 日
自 宅	住 所	(〒049-2464) 北海道茅部郡森町字本茅部 75	
	電 話	01374-2-2565	
勤 務 先	住 所	(〒049-2464) 北海道茅部郡森町字本茅部 75	
	名 称	株式会社 皆口組	
	電 話	01374-2-2709	(携帯 090-8633-9384)
	F A X	01374-2-2565	
ライオン歴 (年度順)	2024 年 7 月 1 日 入会		
入会年月日 クラブ役職 準地区・ 複合地区 役 職 等			

推 薦 状

2026 年 3 月 16 日

ライオンズクラブ国際協会 33I-C 地区

ガバナー L 高橋 伸介 殿

第 2 R 第 1 Z

小樽ライオンズクラブ

会 長 L 中村 吉宏



2026～2027 年度、ライオンズクラブ国際協会 33I-C 地区キャビネット

第 2 R 第 1 Z ゾーン委員候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	小樽ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名	あらい ともひで L 荒井 智豪	生 年 月 日	西暦 1976 年 5 月 24 日
自 宅	住 所	(〒047-0037) 小樽市幸 2-16-24	
	電 話	0134-55-1232	
勤 務 先	住 所	(〒048-2672) 小樽市塩谷 1-2—55	
	名 称	(有)エス・エス荒井建設 代表取締役	
	電 話	0134-28-2141	(携帯)090-7517-7870
	F A X	0134-28-2142	
ライオン歴 (年度順) 入会年月日 クラブ役職 準地区・ 複合地区 役 職 等	2013 年 8 月 入会 2016.7～2017.6 ライオンテーマー 2018.7～2019.6 会計 2020.7～2021.6 33I-C 地区運営委員会委員 2023.7～2024.6 ライオンテーマー 2024.7～2025.6 理事二年		

国際レベル資料



マーク S. ライオン

国際会長

2026～2027年度

奉仕に根ざして

堂々とそびえ立つオークの木。それは強さと不屈のシンボルです。何事にも動じず、何世代にもわたり人々に勇気を与える揺るぎない象徴として、圧倒的な存在感を放ちます。目的と奉仕に根ざすライオンズは、まさにその大樹のようです。私たちの強さの源は、ただ気高くそびえることにあるのではなく、むしろ、私たちが周囲の世界にもたらす憩いと、恵みと、いのちにあります。

ライオンズクラブは100年以上にわたり、私たちの地域社会とまちを支え、力づけ、奉仕してきました。困難なときに支援を、絶望のときに希望を、最も必要なときに思いやりを届けてきました。奉仕こそが、私たちの組織を育てる土壌です。私たちが寄り添う人生、私たちが変える地域社会、私たちがもたらす影響は、すべてこの土壌の上に実ります。

団結した人たちの底力の象徴となったチャーター・オークのように、今、ライオンズがその真理を体現します。今日もライオンズが誰かに食事を手渡し、どこかで病院を建て、子どもに手を差し伸べています。その一つひとつが、私たちの奉仕が大地に深く、力強く根ざし、未永く続いていくことの証なのです。





マーク S. ライオン
国際会長

ライオンズの皆さんへ

私たちは奉仕に根ざしています。奉仕を通じて私たちの協会は成長し続け、強化され、世界に意義深いインパクトを与えています。奉仕は、私たちを地域社会に結びつけ、価値観を根付かせ、新しいアイデア、新しいパートナーシップ、そして新しい機会が形作られるよう育む土壌です。

私たちの奉仕の中心にあるのは、思いやり、決意、そして広い心です。これらの価値観は、私たちが奉仕する方法、弱い立場にある人々のために声を上げる方法、そして多様なライオンズとレオからなる世界的な家族の中でお互いを支援する方法に指針を与えています。私たちは共に、今日の課題に対応しながら明日のニーズに備える奉仕の伝統を受け継いでいます。

私たちの誇り高いモットー「われわれは奉仕する」は、奉仕への呼びかけであるだけでなく、私たちのインパクトを拡大し、新しい声を歓迎し、クラブが時代に即し粘り強いものであり続けるようクラブを強化することへの呼びかけでもあります。世界中でライオンズが知られている思いやりのある奉仕に焦点を当てるとき、私たちは目的を持って先導し、関わるすべての地域社会に前向きな変化を生み出します。

奉仕に根ざし、目的において結束し、私たちはより強固な協会とすべての人にとってより良い世界を築き続けます。

友情と奉仕の心をもって

Mark S. Lyon

マーク S. ライオン

日本レベル資料

2025-26 年度 一般社団法人日本ライオンズ

第8回国際大会委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時：2026 年 3 月 6 日 (金) 10:00-12:00

◎場 所：Zoom システム

出席者リスト

一般社団法人 日本ライオンズ

理 事 長	喜 多 友 一	(上田城南)	【欠 席】
副理事長	諏 訪 昇 三	(札幌時計台)	【WEB】
専務理事	廣 田 晃 一	(姫路中央)	【WEB】
国際大会委員会委員長	伊 賀 保 夫	(東京ビーズ)	【WEB】
国際大会委員会副委員長／副理事長	山 崎 も と み	(大田)	【WEB】
国際大会委員会副委員長／MD334 議長	浜 一 平	(岡谷)	【WEB】

2025-26 年度 複合地区 国際大会委員

MD330 委員	細 川 孝 雄	(東京赤坂)	【WEB】
MD331 委員	須 藤 敏 幸	(伊達)	【WEB】
MD332 委員	高 橋 寛	(和賀)	【WEB】
MD333 委員	岡 野 良 男	(土浦環)	【WEB】
MD334 委員	戸 祭 宏 樹	(鯖江王山)	【WEB】
MD335 委員	江 草 長 史	(和田山)	【WEB】
MD336 委員	日 下 眞 二	(出雲中央)	【WEB】
MD337 委員	吉 見 章 一	(宮崎ひむか)	【WEB】

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属	仁 科 良 三	(長野みすず)	【WEB】
-----------	---------	---------	-------

オブザーバー

2026-28 年度 国際理事候補者	松 岡 勲	(京都南)	【欠 席】
MD330 公認 TC (幹事公認 TC)	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	【対 面】
MD331 公認 TC	近畿日本ツーリスト株式会社札幌団体旅行支店	佐 藤 二 也	【WEB】
※黒田様の代理出席			
MD332 公認 TC	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	
MD333 公認 TC	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	
MD334 公認 TC	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	
MD335 公認 TC	株式会社 JTB	沼 間 章 作	【WEB】
MD336 公認 TC	近畿日本ツーリスト株式会社	金 子 愛 梨 佳	【WEB】
MD337 公認 TC	株式会社 JTB 福岡支店	蘭 田 花 奈	【WEB】

日本ライオンズ事務局長	増 澤 義 治	(諏訪湖)	【対 面】
			以上

◎開会宣言 国際大会委員会 委員長

伊賀 保夫

◎2025-27 年度 国際理事 (本部大会委員会所属) ご挨拶

仁科 良三

国際情勢が不安定の中、来週渡米して国際理事会に行つて参ります。

現地では 3 日間にわたり本部大会委員会が開催され、香港国際大会に関する結論が示される見込みです。帰国後は速やかに、その内容について何らかの形で情報共有を行いたいと考えております。

◎一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 ご挨拶

諏訪 昇三

喜多理事長は膝の手術を無事に終えられましたが、本日はリハビリのため欠席となります。

香港国際大会まで残り 4 か月となりました。代議員投票において日本の力は非常に重要になりますので、引き続き、代議員として参加可能な方の拡充に努めていただきたいと思います。

◎一般社団法人日本ライオンズ 専務理事 広田 晃一

国際大会委員会の皆様には、本日を含めこれまで8回にわたり会議にご参加いただき、感謝しております。引き続き委員会において方針を決めていただき、準地区に周知いただければと思います。本日もよろしく願います。

- 1. 本日の出席者確認
出席者リストをご参照ください。
- 2. 議事録作成人の指名
MD332 高橋 寛委員を指名。
- 3. 議案および確認事項

「第 108 回香港国際大会（2026 年 7 月 3 日-7 日）」最新情報の確認

(1) 大会スケジュールについて

香港国際大会公式ホームページの行事予定表に基づき、スケジュール変更について再周知が行われた。なお、パレードを 7 月 7 日に開催するかについては、引き続き最終調整中である。仁科国際理事より、パレードの開催については 3 月 12 日から 15 日に開催される国際理事会において正式決定される予定である旨の説明がなされた。開催が決定した場合には、ガバナエレクトをはじめとする大会参加者の皆さまに、最終日のパレードまでご参加いただくよう要請がなされた。また、幹事公認 TC であるウィントラベル加藤氏より、各 MD の公認 TC ツアーは 7 月 3 日出発、7 月 7 日午後帰国の旅程で設定されており、ツアー参加者は最終日のパレードを含め、すべての大会行事に参加可能であるとの説明があった。

(2) 各 MD 登録状況のご報告および代議員登録方法について

各 MD の現在の登録者数について、8MD 委員長よりご報告があり、幹事公認 TC より補足説明が行われた。

MD	大会 登録者数	大会 現地参加者数	大会登録者数 内訳		代議員 登録目標数	備考
			一般	代議員		
330	215		173	42	143 A:105,B:73,C:37 計215	
331	79	74	52	27	67 F/DG含む	
332	116	108	57	51	121	
333	132	125	77	48	121	
334	283	239	202	81	142	
335	252	247	147	105	131	
336	95	89	29	60	140 A:24,B:15,C:12,D:44 計95	
337	120		66	54	135	
大会登録者数 合計	1292	882	803	468	1,000	

伊賀国際大会委員長より、代議員登録の推進について要請がなされた。また、配布資料を参照のうえ、国際大会における代議員登録方法について、各地区の委員会等においても周知を行っていただくよう依頼があった。幹事公認 TC のウィントラベル加藤氏より、大会登録者の約 66%が各 MD の公認ツアーコーディネーターを通して登録しているとのことのご報告があった。

(3) 全日本ホテルについて

・2月末現在の MD 別ホテル予約状況について

幹事公認 TC のウィントラベル加藤氏より、国際協会割り当て分である全日本向けホテル 3 軒（ニューワールドミレニアム、インターコンチネンタル・グラインドスタンフォード香港、カオルーン・シャングリラ）、合計 241 室は完売し満室となっているとのことのご報告があった。また、国際協会の定めるルールに基づき、シカゴ本部を通じて部屋数の追加を要請したものの、国際協会割り当て分の全日本ホテルは、これ以上の追加は不可であるとの回答があった。このため、今後新たに参加するメンバーが全日本向けホテルへの宿泊を希望する場合には、別途対応を検討する必要がある旨の報告がなされた。

・ツアーデスク設置の件

前回委員会において、社団としてツアーデスクの設置が必要であると申し合わせが行われたことから、伊賀国際大会委員長から各 MD の公認 TC に対し、費用を抑えてツアーデスクを設置可能な場所の調査が行われたが、いずれも高額となることが判明した。このため、費用面を考慮した結果、社団としてのツアーデスク設置は困難であるとの判断に至った旨の報告があった。

幹事公認 TC のウィントラベル加藤氏より、大会期間中は、ウィントラベルが担当している MD については、同社においてインターコンチネンタル・グラインドスタンフォード香港の斜

前回のリーガルカオロンホテルにおいてツアーデスクを設置し、大会キットの引き渡しを行う方向で調整中であるとの報告があった。詳細が決定次第、ツアー参加者に引き取り場所をおよび時間等を周知する予定である。また、賛同して一緒にツアーデスクを設置したい各 MD の公認 TC があれば、共同での運営も検討しているとの説明があった。これに対し、山崎副委員長より、各 MD でそれぞれのやり方で大会キットの引渡しを行い、8MD 公認 TC が合同でツアーデスクを出す必要はないのではないかと意見が示された。これについて幹事公認 TC ウィントラベル加藤氏より、各 MD が単独でツアーデスクを設置することも可能であるとの回答があった。

また、MD334 戸祭委員より公認 TC ツアーを利用せずに参加する日本からのメンバーへのサポートについても検討してほしいとの発言があった。

(4)「日本ライオンズ代議員会・朝食会」について

• 開催概要

すでにご案内されている通り、開会式開催日の7月4日(土)午前7時から8時まで、香港国際空港併設のリーガルエアポートホテル1F グランドボールルームにて、約300名規模で開催予定である。また、会場となるグランドボールルームのフロアプランが共有された。伊賀国際大会委員長より、日本ライオンズ代議員朝食会の開催については、社団の執行理事会および理事会で承認済みであるとのご報告があった。幹事公認 TC のウィントラベル加藤氏より、会場は既に予約済みで6時から準備可能であること、第一部で代議員会、第二部で朝食会の二部制で運営する旨、ホテル側の了承も得ているとの補足説明がなされた。

【MD別人数割り当て案】

	MD	MD	MD	MD	MD	MD	MD	MD	MD	MD	合計
	330	331	332	333	334	335	336	337			
配 分 (%)	15%	8%	11%	8%	20%	20%	8%	10%	100%		
設定 人数	45名	24名	32名	25名	60名	60名	24名	30名	300名		

伊賀国際大会委員長より、例年通りの300名の按分で、MD335からは国際理事候補者が出るため若干人数が多くなっているとの説明があった。

委員会では、意見なくこの配分で進めることが申し合わされた。

- ・DGEおよび一般参加者の移動手段について

参加者の多くが市街地（全日本ホテル 3 軒が所在する九龍エリア）に宿泊することを前提に、代議員朝食会会場であるリーガルエアポートホテル（香港国際空港併設）までの移動手

段について、電車/タクシー/バスチャーターの3つの手段が提示され、幹事公認TCのウィントラベル加藤氏よりそれぞれのアクセス方法について説明があった。

1. 電車利用の場合

日本ホテルから九龍駅まで移動し、エアポートエクスプレスで約30分。朝は20～30分間隔で運行、片道料金は1人あたり約2,500円。なお、九龍駅までは徒歩で若干距離があるため、タクシー利用者もある可能性があるが、朝はタクシーが少ない点に注意が必要。

2. タクシー利用の場合

1台4名乗り、高速料金込みで約7,000～8,000円、1人あたり約2,000円。

朝は配車が少なく、朝6時に出発しない朝食会に間に合わない可能性がある。

3. バスチャーターの場合

日本ホテルの1つ（インターコンチネンタル・グランドスタンフォード香港）周辺から会場まで迎渡し、朝食会終了後は開会式会場（アジアワールドエキスポ）まで送迎。
1台最大45名乗りで、1人あたりの料金は確認中。

上記について検討した結果、委員会としては DGE・一般参加者ともにバスチャーターで移動する方向で進めることが申し合わされ、伊賀国際大会委員長が今後、執行部と話を進め、内容を詰めていくこととなった。バス料金については、代議員朝食会参加費に含めるかどうかも含め、今後協議していく予定である。また、代議員朝食会での各 MID の受付担当者の移動方法についても、今後検討を行っていくことが話し合われた。

(5) インターナショナル・パレードについて

・参加人数/エントリー締切日/各種コンテンツエントリー内容の確認

- ・行進順序の確認/バンドについて

香港国際大会ホームページ上で発表されているバレード行進順序のもとに、日本の行進順序および集合時間について周知が行われた。

日本の集合時刻：午前 7:00（東南東洋アジアで6番目）

伊賀国際大会委員長より、国際理事候補者のいる MD335 江草委員にパレード準備委員会について、現状の MD335 内の動きを確認する質問があり、MD335 江草委員より、まだ国際理事候補者側との話し合いは行われていないと回答があった。

伊賀国際大会委員長より、国際理事会でパレードの開催が正式決定された場合には、自身もパレード準備委員会に関わり、共に準備を進めていく旨の発言があった。

- ・パレード前日打ち合わせについて

複数の委員より、香港到着が3日夜8時を過ぎるため、3日はパレード前日打合せに参加するのは難しいとの意見が出た。

仁科国際理事より、この件については、パレード開催の可否が国際理事会で正式に決定されてから議論した方がよいのではないかと提案があり、国際理事会終了後に改めて協議す

ることとなった。

また、幹事公認 TC より、パレード前日打合せで各 MD に例年配布されるブラカード等の持ち帰りについて、香港の情勢を踏まえ、デモと誤解されないよう注意が必要であるとのアドバイスがなされた。

・パレード頒布品について

伊賀国際大会委員長より、現在保留となっているパレード頒布品についてのご案内は、国際理事会の報告を受け進めていくと、周知がなされた。

・その他

浜副委員長よりパレード開催場所についての質問がなされた。伊賀国際大会委員長より現時点で未定であると回答があった。今後、パレード開催場所が決定した際には、参加者の会場までの移動方法についても検討が必要となる。

(6) 公認 TC 規定について

伊賀国際大会委員長より、社団として定められている公認 TC 規定の概要について説明がなされた。現状では、各 MD において公認ツアーコーディネーターを 1 社選定し、そのツアーコーディネーターを中心に複合地区をまとめている。近年は、国際協会からの公認ホテルの割り当てもあり、各複合のツアーコーディネーターおよび地区メンバーには、公認ホテルを利用していただくことを前提に進められてきた。

今回、MD337 において公認ホテルの利用がなかったことから、MD337 吉見委員より現状の報告があった。MD337 は単年度で委員が交代する傾向があり、公認ホテル利用が十分でない状況について議論されてこなかったため、今後少しずつ是正していく必要があるとされ、ガバナー協議会等で検討しながら進めていく旨の発言があった。

伊賀国際大会委員長より、今回公認 TC 規定を議題としているのは、各複合で規定を守っていただきたい一方、現状に即した規定となっているかの見直しも行うためであると説明がされた。今後、公認 TC 規定に関するアンケートを実施し、皆さまのご意見を伺いたいとの意向が示され、委員会として各複合の課題等を把握し、改定が必要な箇所があれば、皆さまの意見を取りまとめながら進めていきたいとの話があった。

「第 63 回 OSEAL フォーラム in ペナン (2026 年 11 月 12 日-15 日)」

(1) 最新情報の共有

第 63 回ペナンフォーラムについて、公式ホームページ上で新たに公開されたホテル情報について周知が行われた。

次回、開催日程

仁科国際理事より、国際理事会の最新情報をなるべく早く委員会に共有するため、帰国後の 3 月 23 日～28 日の週での開催の提案があった。

伊賀国際大会委員長より、次回の開催日程については事務局よりいくつか候補日を設定し、日程調整のアンケートを実施の上たうえで決定することとした。

◎閉会宣言

国際大会委員会 副委員長/副理事長 山崎もとみ
お疲れ様でした。三方皆吉の方向で進めていただけると幸いです。

国際大会委員会 副委員長/MD334 議長 浜 一平
世界情勢も含め、なかなか見通しが立ちにくい部分もありますが、今後も前向きに議論を重ね、楽しい大会となるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

以上

議事録作成人
MD332 委員 高橋 寛

2025-26 年度 一般社団法人日本ライオンズ
第 9 回国際大会委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時：2026 年 3 月 25 日 (水) 10:00-12:00
◎場 所：Zoom システム

出席者リスト

一般社団法人 日本ライオンズ

理 事 長	喜 多 友 一	(上田城南)	【対 面】
副理事長	諏 訪 昇 三	(札幌時計台)	【WEB】
専務理事	廣 田 晃 一	(姫路中央)	【欠 席】
国際大会委員会委員長	伊 賀 保 夫	(東京ベース)	【欠 席】
国際大会委員会副委員長／副理事長	山 崎 も と み	(大田)	【WEB】
国際大会委員会副委員長／MD334 議長	浜 一 平	(岡谷)	【WEB】
MD330 委員	細 川 孝 雄	(東京赤坂)	【WEB】
MD331 委員	須 藤 敏 幸	(伊達)	【欠 席】
MD332 委員	高 橋 寛	(和賀)	【WEB】
MD333 委員	岡 野 良 男	(土浦環)	【WEB】
MD334 委員	戸 祭 宏 樹	(鯖江玉山)	【WEB】
MD335 委員	江 草 長 史	(和田山)	【WEB】
MD336 委員	日 下 眞 二	(出雲中央)	【WEB】
MD337 委員	吉 見 章 一	(宮崎ひむか)	【欠 席】

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属

仁 科 良 三 (長野みすず) 【WEB】

オブザーバー

2026-28 年度 国際理事候補者 松 岡 勲 (京都南) 【欠 席】
松岡勲国際理事候補者 支援委員会事務局セクレタリー
眞 田 健 二 (京都南) 【WEB】

MD330 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加 藤 勉 【対 面】
(幹事公認 TC)
MD331 公認 TC 近畿日本ツーリスト株式会社札幌団体旅行支店 佐 藤 二 也 【WEB】
※黒田様の代理出席
MD332 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加 藤 勉
MD333 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加 藤 勉
MD334 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加 藤 勉
MD335 公認 TC 株式会社 JTB 沼 間 章 作 【欠 席】
MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト株式会社 金 子 愛 梨 佳 【WEB】
MD337 公認 TC 株式会社 JTB 福岡支店 藺 田 花 奈 【欠 席】

日本ライオンズ事務長 増 澤 義 治 (諏訪湖) 【欠 席】

以上

◎開会宣言 一般社団法人日本ライオンズ 理事長 喜 多 友 一
急な体調不良により伊賀国際大会委員長が欠席されたため、代わって喜多理事長が開会宣言を行っ
た。

◎一般社団法人日本ライオンズ 理事長 ご挨拶 喜 多 友 一
本日は代理で司会を務めます。よろしく願っています。

◎一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 ご挨拶

諏訪 昇三

今回、決議事項として重要な議案が2点あります。まだ間に合いますので、各複合の議長およびガバナーを通じて、代議員登録者数を1名でも多く増やしていただけるよう、ご協力をお願いします。

1. 本日の出席者確認
諏訪副理事長より各委員の出欠確認が行われた。
2. 議事録作成人の指名
MD334 委員の戸祭宏樹ライオンが指名された。
3. 議案および確認事項

「第108回香港国際大会（2026年7月3日-7日）」最新情報の確認

(1) 仁科国際理事より国際理事会のご報告

- ・登録状況: 香港大会の登録人数は全体で約16,000人と近年では過去最高規模。トップは中国、次いで香港、インド、日本、アメリカの順となっている。ただし、中国からの登録（約3,000名以上）については、現地の宿泊や交通の状況から、実際に現地へ来るのは2/3程度ではないかと推測される。
 - ・インターナショナル・パレード: 当局の許可が下りず、開催されない可能性が99%である。7月4日はアメリカ独立記念日（250周年）にあたり許可されず、5日も不可。代替案としてディズニースクワイアでの開催（2時間貸切）も検討されたが、準備を含め4時間必要なため周辺道路の使用許可が下りず断念した。
 - ・現在、代案として閉会式でのコスチュームイベントや国際役員との懇談会などを提案中。公的な決定は近日中に発表される見込みである。
- …資料1
- ##### (2) MD別参加予定者数および代議員数のご報告
- ・山崎副委員長の進行のもと、各MD委員から現状の参加予定者数と代議員数の報告が行われた。
 - ・ MD337: 登録100名、目標まであと5名と順調に推移。
 - ・ MD330: 参加235名、代議員49名（目標173名）。参加者数に対し代議員が少ないため引き続き募集する。
 - ・ MD331: 現状30名程度。複合会議等で追加の要請を実施した。

- ・ MD333: 複合合同会議で追加依頼済み。今後さらに複合の委員会を開催予定。
- ・ MD334: 前回から5名増。参加決定済みで代議員未登録のクラブへ働きかける。
- ・ MD335: 1クラブから多数参加するケース（ガバナーやエレクト輩出クラブ等）が多く、25名に1人の規定により代議員数が伸び悩んでいる。
- ・ MD336: キャビネット会議で再度募集予定。ただし、世界情勢や航空券価格の変動による不安の声もある。
- ・ 渡航の安全確保について: 江草委員より、中国・香港への渡航に対する安全性の懸念について、日本ライオンズとして安心できる情報提供ができない要望があった。公認旅行会社以外への個別対応は難しいため、外務省の「たびレジ」等への登録を促し、各自で安全情報を取得するよう周知することと対応することとした。
- ・ 代議員枠の追加確認: クラブの基本枠（25名に1人）とは別に代議員資格を持つ役職経験者（元国際会長、元国際理事、協議会議長など）の一覧表を各クラブに共有し、登録漏れがないか確認・追加要請を行うこととした。

(3) 最新の大会スケジュールの共有

7月4日の投票は実施されず、投票日は5日と6日の2日間のみとなる。非常にタイトなスケジュールとなるため、各MDで認識を共有することとした。

…資料2

(4) インターナショナル・パレード

- ・パレード頒布品の件（注文方法、納品日など）

…資料3

- ・パレード開催の可能性は極めて低いですが、開会式・閉会式や朝食会等での統一感（オールジャパンとしての目印）や記念品としての目的から、ブルーのポロシャツ等の頒布品の注文は予定通り受け付けることが全会一致で承認された。
- ・注文受付は従来通り、クラブからキャビネットへ取りまとめる形で行う。
- ・開会式や閉会式でのポロシャツの着用（ドレスコードとして認められるか）については、国際協会（現地委員会）へ確認中であり、着用可能な確認が取れ次第、各クラブへ案内を発信することとした。
- ・なお、過去の大会トラブル（ミラノ大会等）を背景に、会場での事前の場所取り（テープ貼り等）や、のぼり・横断幕の持ち込みは原則禁止されている。入場口に案内係を配置し、日本参加者がまとまって座れるよう誘導するなどの対応を検討する。

(5) 日本ライオンズ代議員朝食会

- ・参加人数お伺い文書（案）の配信について

- ・日時・場所: 7月4日（土）7:00-8:00、リーガルエアポートホテルにて開催。
- ・登録について: 参加は同伴者を含めた全員の事前登録制とし、目標人数は300名とする。MD別の割り当て人数（330:45名、331:24名、332:32名、333:25名、334:60名、335:60名、336:24名）

- 名, 337:30 名) をベースに確実な登録を要請する。
- 移動手段 (バスチャーター) について: 会場へのアクセスとして、主要な公認ホテル群 (インターコンチネンタル等)、DG ホテル、国際理事ホテルからそれぞれチャーターバスを運行する。
 - バス 1 台につき現地の日本語ガイド 1 名を手配する (見積り込み)。朝食会終了後、大会会場 (アジアワールドエキスポ) までの送迎も含まれる。
 - バスの 1 人あたりの利用料金は乗車人数によって変動するため、案内文書には「30 名乗車時: 約 4,000 円」「40 名乗車時: 約 3,000 円」などの目安料金を記載して各複合へ配信することとした。
 - 公認 TC を利用していない個人手配の参加者も、事前申し込みと支払いをすればバスへの乗車が可能である。
 - 朝食会およびバス利用の申込締切は、連休前の「4 月末」と決定した。

(6) 公認 TC 規定について

今後の参考とするため、各複合地区議長、国際大会委員、および公認ツアーコーディネーターに対しアンケートを実施する。来月末 (4 月末) までの提出を依頼することとした。

(7) その他

- 大会会場 (アジアワールドエキスポとコンベンションセンターの使い分け等) の具体的な開催場所や詳細なスケジュールについては、香港の現地委員会からの正式な発表を待つこととした。
- 松岡国際理事候補者のための応援等についても、今後のスケジュールやドレスコードの決定を待つて検討する。

次回、開催日程

次回委員会は 4 月 22 日 (水) 午前中が候補に挙がったが、都合の合わない委員が多いため、伊賀委員長の後帰を待って再度日程調整のアンケートを実施することとした。

◎開会宣言 国際大会委員会 副委員長/副理事長 山崎もとみ

以上

議事録作成人
MD334 委員 戸祭 宏樹

2025-26 年度 一般社団法人日本ライオンズ

第 10 回国際大会委員会 (WEB) 議事要録

◎日時: 2026 年 4 月 27 日 (月) 10:00-12:00

◎場所: Zoom システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 喜多 友一 (上田城南) 【対面】
副理事長 諏訪 昇三 (札幌時計台) 【WEB】
専務理事 廣田 晃一 (姫路中央) 【WEB】
国際大会委員会委員長 伊賀 保夫 (東京ビース) 【対面】
国際大会委員会副委員長/副理事長 山崎 もとみ (大田) 【WEB】
国際大会委員会副委員長/MD334 議長 浜 一平 (岡谷) 【WEB】

2025-26 年度 複合地区 国際大会委員

MD330 委員 細川 孝雄 (東京赤坂) 【WEB】
MD331 委員 須藤 敏幸 (伊達) 【WEB】
MD332 委員 高橋 寛 (和賀) 【WEB】
MD333 委員 岡野 良男 (土浦環) 【WEB】
MD334 委員 戸祭 宏樹 (鯖江王山) 【WEB】
MD335 委員 江草 長史 (和田山) 【WEB】
MD336 委員 日下 真二 (出雲中央) 【WEB】
MD337 委員 吉見 章一 (宮崎ひむか) 【WEB】

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属 仁科 良三 (長野みすず) 【WEB】

オブザーバー

2026-28 年度 国際理事候補者 松岡 勲 (京都南) 【WEB】
333-C 地区 国際大会委員長 杉本 潤哉 【WEB】

公認ツアーコーディネーター

MD330 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加藤 勉 【対面】
(幹事公認 TC)
MD331 公認 TC 近畿日本ツーリスト株式会社札幌団体旅行支店 佐藤 二也 【WEB】
※黒田様の代理出席

MD332 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加藤 勉
MD333 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加藤 勉
MD334 公認 TC 株式会社ウィントラベル東京営業支店 加藤 勉
MD335 公認 TC 株式会社 JTB 沼間 章作 【WEB】
MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト株式会社 金子 愛梨佳 【WEB】
MD337 公認 TC 株式会社 JTB 福岡支店 蘭田 花奈 【WEB】

以上

◎開会宣言 国際大会委員会 委員長

伊賀 保夫

◎2025-27 年度 国際理事 (本部大会委員会所属) ご挨拶

仁科 良三

国際本部・国際理事大会委員会が 2 週間前に開催され、すでに報告している通りパレード中止の代替案が提案された。

今後詳細を検討し決定に向けて協議を行っていく予定である。

◎一般社団法人日本ライオンズ 理事長 ご挨拶

喜多 友一

今回は急なスケジュール変更が多く大変な中、委員会において協議を行っていただいている。パレードは中止となってしまったが松岡国際理事候補者の応援のため、多くの方にご参加を頂きたい。

◎一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 ご挨拶

諏訪 早三

変更事項の多い大会ではあるがしっかりと対応して成功裏に終わるよう協力を呼び掛けた。

◎一般社団法人日本ライオンズ 専務理事 ご挨拶

廣田 晃一

国際大会まで二ヶ月迫っている。今回の会議においても協議・検討をお願いする。

◎2026-28 年度 国際理事候補者 ご挨拶

松岡 勲

喜多理事長はじめ役員の皆様には会議のたびに変更有り大変であると思われる。パレードは中止になってしまったが大会での予定や行事を精査し成功裏に終わるよう協力をお願いする。

1. 本日の出席者確認

リストに基づき、出欠状況が確認された。

2. 議事録作成人の指名

MD331 の須藤委員が指名される

「第 108 回香港国際大会 (2026 年 7 月 3 日-7 日)」最新情報の確認

(1) MD 別参加予定者数および代議員数のご報告

・今回の会議での報告は以下の通り。

MD	大会 登録者数	大会 現地参加者数	大会登録者数 内訳		代議員 目標数	備考
			一般	代議員		
330	255	237	190	57	166 330-A : 代議員 2 6 名+予定	
331	82	75	45	30	61	
332	137	130	103	46	90	
333	141	137	89	48	102	
334	309	274	211	98	219	
335	261	244	164	97	195	
336	106	93	42	51	74	
337	162	162	108	54	93	
大会登録者数 合計	1453	1352	952	481	1,000	

各委員より地区内の現況報告が行われた。

伊賀委員長より、各 MD 最新情報の集計一覧表の更新箇所について説明。

すでに説明している通り、大会現地参加者数の約 7 割を代議員と想定し、目標数を 1000 人としている件と、現在の代議員数は 481 人で前回の 500 名より減少していることについて説明。代議員数の数が減っている件については地区大会代議員数算出の計算と、国際大会代議員算出の計算が混同されていた件を修正した結果である。

また 330-A 地区の例として、各クラブの登録者名と代議員数を調べたところ新たに 26 名の代議員を登録できたことが報告された。

この様に各 MD においても登録者と代議員数について精査を行うことにより代議員を増やせる可能性があるとし、協力が呼びかけられた。

伊賀委員長より、各地区代議員登録数は参加人数の 7 割を目標数としているが、ガバナエレクト所属クラブからは多くの方に参加をいただくと思われるが「会員数 25 名ごと及びその過半の端数につき 1 名の代議員」という代議員選出の規程上、クラブからの参加人数は多くても代議員の数は限られてしまう、という懸念がある。目標の 5 割を超えることを最低目標とした上で、目標に出来るだけ近づくことができるよう、引き続きの協力の呼びかけ。

戸祭委員より、今大会は投票期間が 2 日間と短縮になったため、投票が込み合うことが予想され、投票を棄権する代議員が発生することが懸念される、と意見。

伊賀委員長より、3 日目の閉会式にはご参加の方が多いと思われるので、ぜひその当日の 9 時から 14 時 30 分の間に投票をお願いするよう呼びかけていただきたいと回答。

再度、伊賀委員長より各委員に対して登録・参加・代議員の増員へのご協力の要請。

(2) 最新の大会スケジュールの共有

・パレード中止について

資料を元に詳細のスケジュールを共有。

- ・7月3日9時から登録受付が開始。
- ・7月4日9時より開会式が行われ、開会式前に日本ライオンズ代議員会（朝食会）開催。

開会式当日は代議員投票が行われなため注意。

パレードは中止になったが国際協会が開催するインターナショナルショーは18時30分より開催される予定。

- ・5日は2日目総会が開催。9時から投票開始。
- ・6日は9時から14時30分まで投票が開催。閉会式は15時より開催。
- ・7日に予定していたインターナショナルパレードが中止。

それに代わるイベントが検討されている。

仁科国際理事より報告

7日のパレードが中止となり、代替となるイベントが現在、国際本部の国際理事大会委員会で検討されている。公式発表があり次第、報告を行う。

(3) 日本ライオンズ代議員朝食会 進捗の確認

- ・MD別参加予定人数およびチャーターバス利用予定人数のご報告（4/24現在）

7月4日、7時開催の代議員朝食会に現時点で301名が参加予定。

- ・代議員朝食会参加者名簿およびバス利用者名簿のご提出について

朝食会の参加者301名に対してバス利用が201名の申し込み。100名分のバス利用について不明。当日バスに乗れない事態が発生する可能性や、今後検討する1人あたりのバス料金の算定に支障があるため各MD委員長に対し、ホテル別バス利用者について再確認を行った。幹事公認TC・ウィントラベル加藤氏より、朝食会は日本ライオンズ主催行事であり、国際協会のイベントではないため国際協会のチャトルバスは手配されない。特にガバナー・ガバナエレクトの皆様には再度確認をいただけるよう依頼。

1人あたりのバス利用料金および利用台数については乗車人数の確定の後、利用台数及び料金を検討の上、通知を行う。

- ・バス乗車時の点呼確認担当者について

各ホテルからのバスに同乗し乗車確認を行っていただく担当者にについて、各MDの国際大会委員など、各MDからの参加者のことをよく理解している方が望ましい。バスの台数が確定した時点で早急に要請する

- ・日本ライオンズ代議員朝食会 式次第（案）について

資料に基づき確認。

第1部を代議員会とし、現国際理事より投票方法など説明を頂く。

第2部は朝食会とし、喜多理事長より開会の挨拶の後、山田元国際会長、仁科国際理事、田

名部国際理事、LCIF 国際理事よりご挨拶の後、26-28年国際理事候補者 MD335PCC 松岡薫 Lよりご挨拶。その後、ご来場された海外からの主要ゲストからプロトコール順にご挨拶を頂く予定。

- ・VIPへの招待状（案）について

前回オランダ大会において国際会長を初めとする国際役員VIPに対する日本ライオンズ代議員朝食会招待案内状の配布方法に混乱が発生。現職国際理事へ依頼し、確実に国際役員のメールボックスへ招待をお届けいただく。招待状は日本ライオンズにて作成。

(4) 大会記念頒布品について

- ・注文締切日および納品予定日の確認

各地区からの注文締め切りは当初4月30日としていたが、各公認業者へ頒布品購入受付期間の延長について確認を行った。

- ・閉会式、閉会式での頒布品（ポロシャツ）着用について

伊賀委員長より説明。各地区からパレードが中止となり、頒布品ポロシャツの着用する機会が無くなったが購入しななければならぬかの問い合わせが多く寄せられている日本からの参加者の一体感を出し、松岡国際理事候補者を応援するために閉会式、閉会式に頒布品（ポロシャツ）の着用を奨励したいと考えが示される。

仁科国際理事より、代議員朝食会において一般会員は、ポロシャツの上にジャケットを着用するスマートカジュアルでの参加で問題がないと見解が示される。

戸祭委員より、本日の大会委員会でポロシャツ着用の上、速やかに全国へ通知を出してほしいとの要望が出される

協議の結果、閉会式・閉会式ではガバナー・ガバナエレクトなど一部役職者を除く一般の会員の方は指定ポロシャツ着用、パンツ・スカートは白色系を着用、ジャケット着用は任意とし、代議員朝食会ではポロシャツの上にジャケットを着用するスタイルでの参加を呼びかけ、協力をお願いすることとする。

頒布品の注文受付延長の情報と共に、早急に理事長・委員長で全国に通知する

「第63回 OSEAL フォーラム in ベナン（2026年11月12日-15日）」

- (1) 最新情報の確認（ホテル情報）

公認 TC 幹事・ウィントラベル加藤氏より、現時点で発表されている会場等の情報や、ベナンの地理について等情報提供。

松岡国際理事候補者より、5月21日発、25日戻りの日程で、ベナンで第63回 OSEAL フォーラムスアリアリング委員会が開催されることが報告され、新しい情報が発表されると思われる意見。

次回、開催日程

次回委員会は6月4日午前中にWEB開催。

◎閉会宣言 国際大会委員会 副委員長/副理事長 山崎 もとみ

再度、皆様で代議員数の増員に向けてご努力をお願いいたします

国際大会委員会 副委員長/MD334 議長 浜 一平

国際大会の内容が明確になってきましたので参加者の皆さんに満足いただける大会にしていきたいと思います

以上

議事録作成人
MD331 委員 須藤 敏幸

2025-26 年度 一般社団法人日本ライオンズ

第 11 回国際大会委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時：2026 年 6 月 4 日 (木) 10:00-12:00

◎場 所：Zoom システム

出席者リスト

一般社団法人 日本ライオンズ

理 事 長	喜 多 友 一	(上田城南)	【WEB】
副理事長	諏 訪 昇 三	(札幌時計台)	【WEB】
専務理事	廣 田 晃 一	(姫路中央)	【対 面】
国際大会委員会委員長	伊 賀 保 夫	(東京ベース)	【対 面】
国際大会委員会副委員長/副理事長	山 崎 も と み	(大田)	【WEB】
国際大会委員会副委員長/MD334 議長	浜 一 平	(岡谷)	【WEB】

2025-26 年度 複合地区 国際大会委員

MD330 委員	細 川 孝 雄	(東京赤坂)	【WEB】
MD331 委員	須 藤 敏 幸	(伊達)	【WEB】
MD332 委員	高 橋 寛	(和賀)	【WEB】
MD333 委員	岡 野 良 男	(土浦環)	【欠 席】
MD334 委員	戸 祭 宏 樹	(鯖江王山)	【WEB】
MD335 委員	江 草 長 史	(和田山)	【WEB】
MD336 委員	日 下 眞 二	(出雲中央)	【WEB】
MD337 委員	吉 見 章 一	(宮崎ひむか)	【WEB】

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属	仁 科 良 三	(長野みすず)	【WEB】
-----------	---------	---------	-------

オブザーバー

2026-28 年度 国際理事候補者	松 岡 勲 (京都南)	【WEB】
333-C 地区 国際大会委員長	杉 本 潤 哉	【WEB】

公認ツアーコーディネーター

MD330 公認 TC (幹事公認 TC)	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	【対 面】
MD331 公認 TC	近畿日本ツーリスト株式会社札幌団体旅行支店	佐 藤 二 也	【WEB】
※黒田様の代理出席			
MD332 公認 TC	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	
MD333 公認 TC	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	
MD334 公認 TC	株式会社ウィントラベル東京営業支店	加 藤 勉	
MD335 公認 TC	株式会社 JTB	沼 間 章 作	【WEB】
MD336 公認 TC	近畿日本ツーリスト株式会社	金 子 愛 梨 佳	【WEB】
MD337 公認 TC	株式会社 JTB 福岡支店	蘭 田 花 奈	【WEB】

- ◎開会宣言 国際大会委員会 委員長 伊賀 保夫
- 香港国際大会が一ヶ月後に迫ったという状況でございます。資料もたくさんありますし、共有事項もたくさんありますので、よろしく願いたします
- ◎2025-27 年度 国際理事 (本部大会委員会所属) ご挨拶 仁科 良三
- インターナショナルバレードに代わる太極拳について、7月7日午前9時開催という情報が入ってきている。詳細は本日の資料で確認してほしい。
- 日本からの登録者数は1500人を超え、実際に現地へ行かれる参加者が1400を超えた。ここまて来ればもう確定ではないかと思う。代議員数500は目標には少し足りないが、国際理事の立場としてはクラブの総意を投票していただきたい。詳細は代議員朝食会にて説明を行う予定。
- ◎一般社団法人日本ライオンズ 理事長 喜多 友一
- おそろく最後の大会委員会となる。本日は短い時間の会議ではあるがしっかりと協議を行っていただき、香港では大会を楽しみましょう。そして松岡国際理事候補者への応援をしっかりと行

- っていきますので、よろしく願ひ申し上げます。
- ◎一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 ご挨拶 諏訪 昇三
- 台北の姉妹クラブ65周年に参加した所感と、大会では開会式などのイベントや投票をしっかりとこなしていきたいと述べ、約一か月後に迫った国際大会へ向けしっかりとした議論を行っていただくよう呼びかけた。
- ◎一般社団法人日本ライオンズ 専務理事 ご挨拶 廣田 晃一
- 本委員会はライオン誌委員会、社団創立10周年記念事業委員会と並んで毎月開催される重要な会議であると強調し参加者の労をねぎらった。
- MD335 から松岡勲 L が国際理事候補者として投票に附されるため、応援を頂くよう呼びかけ。
- ◎2026-28 年度 国際理事候補者 ご挨拶 松 岡 勲
- 毎月委員会が開催され参加者が真摯に協議を行ってきたことについて謝意を述べた。国際理事就任についての所信を述べ、ぜひ皆様にお力添えを頂きたいと挨拶された。

本日の出席者確認
出席者リスト参照。MD333 岡野委員が欠席。MD335 江草委員は遅れて参加。

1. 議事録作成人の指名
MD336 日下眞二委員を指名。
2. 議案および確認事項

「第 108 回香港国際大会 (2026 年 7 月 3 日-7 日)」最新情報の確認

- (1) MD 別参加予定者数および代議員数のご報告
- 資料に基づき確認。代議員数目標 1000 名に対し、大会登録者数は 1500 名、そのうちの代議員が 3 分の 1 強にあたる 540 名。おそらくガバナエレクトのクラブなど多くの方が 1 つのクラブから参加の場合、代議員数を伸ばしにくいことなどが考えられる。
- (2)最新の大会スケジュールの共有
- ① 香港国際大会 公式通達の確認
- 最新スケジュールを確認。
- 7 月 4 日 早朝 7 時から開催される代議員朝食会に参加される方で日本ライオンズ手配のバスを利用される方は、代議員朝食会終了後に同じバスへ乗車頂き開会式へ向かう。
- 当日は午前中に開会式が行われ、夜にはインターナショナルショー開催。
- 午後に行われるビジネスセッションでは国際理事候補者の紹介と本人と支援者が演説を行う。どなたでも参加できるので、ぜひ皆さまにもご参加を頂き、松岡候補者へ応援をいただければと思う。
- 7 月 5 日、2 日目から投票ができる。投票に附される議案のうち国際会則・付則改正案は重要な議案が 3 項目。

第1項は国際付則第9条第3項「クラブ代議員方式」を改正する決議案。投票を行うにはグッドスタンディングクラブの会員であることが要件となる。

編集註：国際付則第9条第3項に記された代議員は地区大会（単一・準・複合）における代議員を指す。

第2項 2028～29年度より5年間かけて段階的に半期国際会費を増額する決議案。小額の国際会費増額を段階的に行う。既存のプログラムやサービスを維持しながら、今後の新たな取り組みに投資し、会員へのサービスの提供を継続することができる。2028年度から1ドルずつ上の値上げとなり2032年には30ドルとなる。

仁科国際理事より：国際協会のマーケティング委員会では様々な研究を行っており、その成果として、会員をサポートするためのいろいろなツールやテクノロジーが成果として出てきている。会員のために資金が使われるのは良いことだと思う。条件に合致する方は終身会員の登録もメリットが大きいと思う。

第3項 国際理事の総数を1人増員し、理事会アポイントの数を1人削減する決議案。この決議案では、さらに理事数を再配分し、アメリカ合衆国、その領域、バミューダおよびバハマ諸島からの理事数を偶数年に1人、奇数年に1人削減し、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコおよびカリブ海諸島からの理事数を偶数年に1人追加し、インド、南アジアおよび中東からの理事数を奇数年に2人追加することとなる。

仁科国際理事より、この件に関して国際理事会でも質問したとの報告。APシン国際会長、田名部国際理事、マーズ佐子 OSEAL 調整事務局長と WEB 会議で議論し、しっかり理解している。10年に一度、会則地域ごとの国際理事定数を見直ししており、今回の見直しも各会則地域代表が集まって協議を行った結果であることや、会員数に比例し国際理事定数を決定していることにについて説明を受けたことを報告。

会議の間では自分の考えを国際会長にも伝えたことを述べ、次回国際理事定数の見直しの際には日本としての意見を国際協会に伝えるための代表としての国際理事をより多く出すことができるよう取り組んでいってほしいと伝えた。

伊賀大会委員長より、日本としての投票行動をどうするかについては7月4日の代議員朝食会で皆様へお知らせすることが示された。

投票は7月5日・6日の二日間であることから、閉会式の前など確実なタイミニングでの投票を呼びかけ。

② 太極拳イベント最新情報の確認および参加についての検討

最終日7月7日9時～11時に太極拳イベント開催。皆で集まり、ギネス記録に挑戦する。公式な告知はまだ出ていないが国際大会 HP Q&A コーナーの情報が資料として示された。参加費無料、事前申し込みの必要は無いが、大会期間中の展示ホールにブースがあり、事前にそこで登録ができる。

仁科国際理事より、できるだけ参加をいただきたいが、参加の可否を問わずぜひ登録はお願いし

たい。太極拳を通じて健康促進をいただければと呼びかけ。会場については屋内を予定しており、調整中。

(2) 日本ライオンズ代議員朝食会 進捗の確認

仁科国際理事より、他国の国際理事より参加希望を3件ほど頂いており、ヨーロッパからの国際理事候補者を紹介するなど水面下で交渉を進めている報告。

① MD 別参加予定人数およびチャーターバス利用予定人数の確認
チャーターバス利用者は現時点で212名。インターコンチネンタルスタンフォード140名、45人乗りバス4台必要。各バスにガイドを付けて計144名乗車となる。

フォーポイント（ガバナーエレクトホテル）発は45名利用のため、少し余裕のある49名バスを1台手配する。グラนด์ハイアット発27名、45名乗りバス1台。合計6台。

② 1人あたりのバス利用料金および利用台数について

6台のバスの合計とウィントラベルの手数料を合わせた見積もりが提示され、1人当たりのバス利用料金について検討。

社団でもコンブライアンスやルールを順守する必要があることから、金額の妥当性も含め検討のため、他の公認TCにも相見積もりを依頼している。

③ 乗車時の点呼確認担当者および会場受付担当者についての検討
ガバナーエレクトのホテル発と本部ホテル発は各1台となり、点呼は330-A 地区関係者に大会委員長から依頼。インターコンチネンタルスタンフォードから出発する4台のバスについては、各バスの点呼責任者を下記の通り決定。

1号車 MD330・331 (35名) MD330 細川委員、MD331 諏訪副理事長

2号車 MD332・333 (39名) MD332 高橋委員、MD333 L.杉本

3号車 MD334・337 (30名) MD334 戸祭委員

4号車 MD335・336 (36名) MD335 L.高松、MD336 日下委員

点呼責任者と国際大会委員が連絡取れるようグループラインを作成予定。

幹事TCウィントラベル加藤氏：朝食会のバスですが、各ホテルから私どもで今のところチャーターバス合計6台を用意する予定です。朝食会中はバスをスタンバイさせ、その後開会式会場までお送りします。朝食会場から開会式会場まではバスで5～6分です。開会式会場のどこに駐車ができるかは国際本部に確認中であり現在連絡待ち。

④ 式次第（案）の確認

【通訳について】仁科国際理事より OSEAL 調整事務局のマーズ佐子事務局長に依頼済。伊賀委員長からも改めて依頼予定。VIP到着時のお迎え担当で、少しでも英語ができる方を配置いただくよう仁科国際理事より要望。

【受付について】看板、受付に関しては例年通り。MD 毎に受付用テーブルを用意し、VIP の方
用と合わせて9 テーブルをセッティングしていただくよう、ホテル側に伝えてある。
各複合の国際大会委員長へ、誰が受付を担当するか（二人ずつ）のお伺いをする予定。VIP の方
は社団で担当予定。

会場は入口よりエスカレーターを上がったフロアであるため VIP ご到着時にどこでお出迎えを
行うか、段取りを決めておく必要がある。

【座席について】302 名参加予定。VIP 用テーブル 2 卓（テーブルクロスの色を変更する）を含
む、32 テーブルを用意する。1 テーブル 10 名掛け。席次表は日本ライオンズで作成。

資料などはモニター投射が可能。ブッフェ形式ではあるが、一斉に取りに行くことと混み合うので、
間を見て取りに行っていたりいただくようにご協力お願いしたい。

【次第について】2026 年 7 月 4 日（土）開催。

受付開始 6 時 30 分から 4 0 分ごろ、ドアオープン 6 時 5 0 分。7 時から 8 時をコアタイムとし、
8 時に終了とする。リーガルエアポートホテル 1 階グラントポートルーム 1 から 3 にて開催。
アルコール提供は無し。

第一部の代議員会司会を廣田専務理事にお願いしたい。通訳についてマーズ事務局長。開会挨拶
は伊賀委員長、議案説明は仁科国際理事に依頼。

日本としてどのように投票するか呼びかけについては、国際理事以外の方に行っていただく
よう検討。

朝食会時のステージ上の横断幕について、例年バナーをつけていたが香港も全部映像で映し出
すことができるので、パソコンから USB で投影予定。国際理事候補者の P R の掲示については
松岡国際理事候補者支援委員会で検討いただく。

ドレスコードは大会記念ポロシャツにジャケット着用（スマートカジュアル）。香港は暑いが建
物の中は非常に涼しいと思われる。

【その他】設営は前日に全て終える予定。

受付について、バス利用者については乗車確認時に同時に受付を行えばホテルでの人の流れが
スムーズなのではないかと提案あり。バス乗車の有無やテーブル番号がすべて記載された名簿
を作成する。

(3) 公認ツアーコーディネーター規定について

現在は各MDに1 社公認TC を選出いただいているが、そのあり方を含め、全国へアンケート
を示した結果が資料として提示された。

香港大会終了後に出てくるであろう反省点や、委員会での検討の結果今期は設置を行わないこ
とを申し合わせた日本ライオンズツアーデスク設置の件と共に、次年度への継続協議事項とし
ていきたい。

(4) その他

各MD大会委員の現地入り予定について、現地での連絡などのため情報を把握させていただく。
会議後配信予定であるので社団へお送りをお願いする。

【第 63 回 OSEAL フォーラム in ペナン (2026 年 11 月 12 日-15 日)】

(1) ステアリング委員会より共有事項 (第 11 回執理事務会 (6/2) からの議案)

① 各 MD 登録日標数の共有

ステアリング委員会会議報告書の抜粋版を元に説明。早期登録の割引、および登録内容変更期
限は 10 月 31 日に設定。フォーラム登録料等はマレーシアの通貨であるリンギット建てで行わ
れる。

予算と会場について：全体では 7000 名の参加登録を想定した中で、日本では 1500 名の要請
がある。会議、分科会はスパイスコンベンションセンターに集約され、開会式等は隣接するス
パイスアリーナで行われる。

登録日標数について、複合間の振り分け方法は会員数に基づく方法が望ましいのではないかと
の意見あり。もう一度検討する。

② ペナンフォーラム実行委員会の来日について (7 月 13 日 (月) 名古屋)

ペナンより FOC (フォーラム組織委員会) 関係者数名が来日し 7 月 13 日に日本の名古屋にて
PR 予定。

地区ガバナーの参加が困難な場合、来期の各 MD 国際大会委員会委員長の皆様にご参加いた
だくよう依頼する予定。決定次第ご案内する。

◎その他

MD335 江草委員より、複合地区国際関係委員会で製作された「参加者向け便利ガイド」の共有
あり。現地で必要なアプリや入国前のチェックなどの様々な情報が掲載されている。全国の配信
について、江草委員の快諾をいただいた。ウィントラベル加藤氏より追加や修正等の情報があ
ったため、改めて更新版を社団へお送りいただく予定。

◎閉会宣言 国際大会委員会 副委員長/副理事長 山崎もとみ

いよいよ 1 ヶ月と迫りました。新しい情報が入り次第お知らせしていく。

公認 TC の利用やツアーデスクなど今後検討を行う課題も多くある。

国際大会委員会 副委員長/MD334 議長 浜 一平

あと一か月を切って、色々なことが現実的に見えてきた。現地での協力をお願いしたい。本日は
ごくろうさまでした。

以上

議事録作成人
MD336 委員 日下 真二

2025-26年度
第7回ライオン誌日本語版委員会 議事要録

- ◎日 時：2026年3月6日（金）14:00～16:00
◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室（Zoom）
◎出席者：
国際理事 仁科 良三（長野みすずLC）
国際理事 田名部智之（青森県・八戸LC）
【一般社団法人日本ライオンズ】
理事長 喜多 友一（長野県・上田城南LC）●欠席
副理事長 諏訪 昇三（北海道・札幌時計台LC）
副理事長 山崎もとみ（島根県・大田LC）
PRマージャング 委員長 廣田 晃一（兵庫県・姫路中央LC）
PRマージャング 委員会副委員長 水沼 孝夫（栃木県・真岡LC）●欠席
事務長 増澤 義治（長野県・諏訪湖LC）
【ライオン誌日本語版委員会】
編集長／337複合地区委員 瀧野二三世（大分LC）
330複合地区委員 田中 明（埼玉県・和光LC）●欠席
331複合地区委員 馬場 哲也（北海道・函館東LC）
332複合地区委員 岡田 殉（青森県・五所川原LC）
333複合地区委員 後藤 一男（栃木うづまLC）
334複合地区委員 前田 磨（静岡県・三島LC）
335複合地区委員 秋山洋一郎（京都紫明LC）
336複合地区委員 山田 隆嗣（岡山県・津山栄楽LC）●欠席

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営
① 2025年7月～26年1月ライオン誌関係会計報告
廣田委員長より正味財産増減計算書を基に説明があり、上半期分の国際協会ライオン誌補助金と国際協会翻訳料がほぼ予算通りに入金されたこと、またライオン誌印刷版の3回目の発行が終わった段階で直接出版費支出の執行率74.8%と順調に推移していることが報告された。
② 2026-27年度計画と予算案
次年度発行計画について協議し、ライオン誌発行回数は今年度と同じウェブマガジン年12回、印刷版年4回とする計画を、委員全員の賛同により決定した。次年度予算に関しては、印刷版発送は次年度からクラブ一括発送とす

ることと大幅な経費削減となる予定で、発送業者選定に向け事務局で準備を進めていることを確認した。また、取材に関する費用について、今後の取材の進め方を含めて意見を交換した。次回委員会で更に検討してライオン誌委員会としての予算案をまとめる。

2. ウェブマガジン編集関係

- ① 2026年3月号（3月1日公開）出来
瀬野編集長からウェブマガジン2026年3月号の仕上がりについて各委員に意見や反響等を求めた。特に問題なし。

- ② 2026年4～7月号更新予定（案）
4月号「取材リポート」は前田委員（334）と廣田委員長が取材済みであることが報告された。5月号以降の「取材リポート」と「編集室」の担当委員を確認。担当が未定の取材対象候補については、次回委員会までに取材可否と担当を確認する。7月号「編集室」の担当は次回委員会で検討する。

3. 印刷版編集関係

- ① 2026年冬号読者感想
読者プレゼント応募者からの感想・意見を共有した。「獅子吼」の「白髪まじりでもヘアードネーション」記事が印象的だったとの感想が多数あった。また、ライオンズショップの公告掲載後に注文が増加したとの報告があり、反響が確認された。瀬野編集長から所属地区の元国際理事より地区の会合で、誌面に掲載された村上元国際会長の記事に言及があり会員への刺激となっておりとの意見が示された。更に、投稿を掲載したクラブから、新たなクラブ運営の取り組みをライオン誌で取り上げてほしいとの依頼が寄せられたことが報告され、資料を確認。さまざまなクラブの在り方を取り上げ情報を提供すべきとの意見で一致した。これに関連して田名部国際理事から、国際協会が新たに打ち出した「ライオンズネットワーク」に関する情報提供があった。

- ② 2026年春号（4月25日発行予定）台割（案）
前回確認した台割に、小児がんに関する講演記事を追加したこと、特集記事への協力を依頼したメンバー4人から伏諾を得たことが報告された。特集記事はインタビュ方式で取材を進める。前回、PRマーケティング委員会との合同委員会で動画撮影のアイデアが出たが、時間的な制約もあるため、今後動画の活用方法などが具体化した際に改めて検討する。また、前回委員会で仁科国際理事から出された「ライオンズクラブ分布図」ページにミッション1.5の進捗状況を掲載する提案について、レイアウト案を元に検討し、委員全員の賛同により掲載を決定した。

4. その他

- ① ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

2月と3月に配信したメールニュースの到達率や開封率、LINE公式アカウントの登録状況を確認した。今後のウェブマガジン普及対策について意見を交換し、ライオン誌例会の推進やLINE公式アカウントの登録促進、QRコードによるPRなどが提案された。メールニュースについては開始から1年間のデータも確認し、期待した成果が上がっていないことから、次回からはクラブ事務局に配信してクラブから各会員に転送してもらう方法に変更することとした。各クラブのEメールアドレスは各地区キャビネットから入手する。

- ② 複合地区PRマーケティング委員長との連携
2月4日に開催されたPRマーケティング委員会との合同委員会で、各複合地区マーケティング委員長と連携してライオン誌の編集を進めていく方向で進めることになり、具体的な連携の方法について協議した。テーマを絞って各複合地区から情報を集めるなどのアイデアが出た。連携によって更なるライオン誌の充実を図るべく、次回以降も協議を続ける。

＜次回開催予定＞

- 第8回委員会： 4月8日（水） 14:00～16:00（ウェブ）
第9回委員会： 5月8日（金） 14:00～16:00（ウェブ）

議事録作成：後藤一男（333複合地区委員）

2025-26年度

第8回ライオン誌日本語版委員会 議事要録

◎日 時： 2026年4月8日（水）14:00～16:00
◎場 所： 一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室（Zoom）
◎出席者： 国際理事
国際理事

仁科 良三（長野みずずLC）
田名部智之（青森県・八戸LC）

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長 喜多 友一（長野県・上田城南LC）●欠席
副理事長 諏訪 昇三（北海道・札幌時計台LC）
副理事長 山崎もとみ（島根県・大田LC）
PRマージング 委員会委員長 廣田 晃一（兵庫県・姫路中央LC）
PRマージング 委員会副委員長 水沼 孝夫（栃木県・真岡LC）

【ライオン誌日本語版委員会】

編集長／337複合地区委員 瀧野二三世（大分LC）
330複合地区委員 田中 明（埼玉県・和光LC）
331複合地区委員 馬場 柝也（北海道・函館東LC）●欠席
332複合地区委員 岡田 殉（青森県・五所川原LC）
333複合地区委員 後藤 一男（栃木うづまLC）
334複合地区委員 前田 磨（静岡県・三島LC）
335複合地区委員 秋山洋一郎（京都紫明LC）
336複合地区委員 山田 隆嗣（岡山県・津山衆楽LC）

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

- ① 2025年7月～26年2月会計報告
資料に基づき、前回の報告以降大きな資金移動はないことを確認した。

② 2026-27年度予算案

デジタル版関連費用等について、実態に即した金額で予算案を編成した旨の説明があった。

〈主な協議内容〉

- ・ 今年度は外注費削減により費用が減少している。
- ・ 委員の取材交通費が十分に申請されていない現状がある。

〈決定事項〉

- ・ 前年度委員会決定した通り、取材交通費は申請に基づき支給する。
 - ・ 支払いは委員長決裁を経る行う。
- 〈今後の対応〉
- ・ 事務局より申請書類を再送する。

- ・ 委員は適切に交通費申請を行う。

2. ウェブマガジン編集関係

① 2026年4月号（4月1日公開）出来

掲載内容について確認が行われ、特に問題はない事が報告された。

〈確認事項〉

- ・ 各地区に於いて閲読状況の確認を行う。
- ・ 国際会長メッセージは編集集中。

② 2026年5～7月号更新予定

〈取材担当確認〉

号	取材対象	担当
5月号	京都ライオンズクラブ	秋山委員
6月号	新潟ウエストライオンズクラブ	333-A地区PR・IT委員長
6月号	出雲広瀬ライオンズクラブ	山田委員
7月号	鳥取砂丘ライオンズクラブ	山田委員

〈決定事項〉

- ・ 7月号編集室は廣田委員長が担当。

3. 印刷版編集関係

① 2026年春号（4月25日発行予定）台割

台割に基づき編集された記事の内容について説明があった。

今号から掲載する「ミッション1.5勧誘ターゲット実績」の記載方法について協議が行われた。

〈主な意見〉

- ・ 現状把握として掲載する意義はある
- ・ ミッション1.5の目標達成と誤解されない表現が必要
- ・ 注釈を明示することで対応が可能

〈決定事項〉

- ・ 注釈を付記した上で掲載する
- ・ 表現については提案者の仁科国際理事と調整

② 印刷版広告掲載について

広告掲載の継続可否について協議が行われた。

〈現状〉

- ・ 広告掲載は会員企業1件（年2回）のみ
- ・ 一般企業の広告は社団の運営上、掲載不可

〈決定事項〉

- ・ 次年度以降、広告の掲載は行わない
- 〈今後の対応〉
- ・ 現在の広告代理店へ掲載終了を通知する
 - ・ 広告媒体料金は廃止する

＊10周年関連

日本ライオンズ設立10周年に関する広報対応について説明があった。

〈今後の対応〉

- ・ 夏号に10周年関連ページを設ける
- ・ 式典当日の取材及び事後報告を掲載する
- ・ 記念誌作成への資料提供に協力する

4. その他

① 印刷版発送方法と有料誌

資料6に基づき、次年度からの印刷版発送方法及び有料誌の取り扱いについて説明があった。

〈報告事項〉

- ・ 次年度よりライオン誌の発送方法をクラブ発送に統一することが理事会で決定済み

- ・ 発送業者は3社に見積り依頼中（4月末まで）

〈協議内容〉

- ・ これまでクラブの注文により有料で頒布していた年契約有料誌について見直しを行い、希望するクラブには1冊を上限として無償で追加交付する案が示された

- ・ これを行うには、発送管理に使用しているシステム（サバンナ）の機能追加が必要となり、見積が提示された

〈決定事項〉

- ・ 希望クラブには1冊を上限として無償追加発送する
- ・ システムの機能追加を行う

② ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

メールニュースは4月号分から配信先をクラブ事務局に変更した。資料7に基づき、メールニュース配信状況及びLINE公式アカウント登録促進について報告があった

〈現状〉

- ・ メールニュース開封率は約30%
- ・ LINE公式アカウント登録者は約6,200人

〈主な意見〉

- ・ QRコードの活用など、地道な登録促進活動を継続する必要がある
- ・ SNSの活用や表彰制度の導入など、新たな普及策の検討が必要
- ・ 新入会員への登録を標準化することが有効

＜次回開催予定＞

第9回委員会：5月8日（金）14:00～16:00（Zoom）

第10回委員会：6月4日（木）14:00～16:00（Zoom）

議事録作成：田中 明（330複合地区委員）

2025-26年度

第9回ライオン誌日本語版委員会 議事要録

◎日 時：2026年5月8日（金）14:00～16:00

◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室（Zoom）

◎出席者：

国際理事 仁科 良三（長野みずすLC）

国際理事 田名部智之（青森県・八戸LC）

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長 喜多 友一（長野県・上田城南LC）●欠席

副理事長 諏訪 昇三（北海道・札幌時計台LC）

副理事長 山崎もとみ（島根県・大田LC）●欠席

PRマージング 委員会委員長 廣田 晃一（兵庫県・姫路中央LC）

PRマージング 委員会副委員長 水沼 孝夫（栃木県・真岡LC）

【ライオン誌日本語版委員会】

編集長／337複合地区委員 瀧野二三世（大分LC）

330複合地区委員 田中 明（埼玉県・和光LC）

331複合地区委員 馬場 哲也（北海道・函館東LC）

332複合地区委員 岡田 殉（青森県・五所川原LC）

333複合地区委員 後藤 一男（栃木うづまLC）●欠席

334複合地区委員 前田 磨（静岡県・三島LC）

335複合地区委員 秋山洋一郎（京都紫明LC）

336複合地区委員 山田 隆嗣（岡山県・津山紫楽LC）●欠席

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

① 2025年7月～26年3月ライオン誌関係会計報告

資料1に基づき、2026年3月31日現在の収支状況について報告が行われた。大きな変動はないことを確認した。

〈報告事項〉

前回委員会での指摘を受け、委員取材の交通費精算手続きを進めていることが報告された。委員の取材交通費は委員長確認後、事務局にて四半期ごとに精算する。

② 制作業務の現状と課題

印刷版の制作に関する問題点を共有し、検討した。
レイアウトを担当していた前事務長の退職に伴い、春号は緊急対応が可能
な会員企業の制作会社社にレイアウトを委託した。次号・夏号以降の委託先と

共に、現在事務局が担っている制作実務の継続性について協議した。

〈主な協議内容〉

- ・ レイアウト委託先は3社以上の見積りを取り、エビデンスを残すべきとの意見があった。
- ・ 企画・編集業務を含めた外部委託など、今後の制作業務について意見を交換した。
- ・ 職員の追加・育成のための予算措置を含め、継続的に制作を行うための体制作りを社団に要望すべきとの意見があった。

〈決定事項〉

- ・ 夏号以降のレイアウト業務は3社から見積り取得し決定する。

〈今後の対応〉

- ・ 次回委員会に3社の見積りを提示する。
- ・ 安定的な制作業務継続のため人材育成・体制整備を検討する。

2. ウェブマガジン編集関係

① 2026年5月号（5月1日公開）出来

5月号の掲載内容について確認し、問題なく公開されたことを報告した。

〈報告事項〉

- ・ 「取材リポート」は秋山委員、「編集室」は馬場委員が担当。
- ・ 国際大会関連の指定記事は配信され次第掲載する。

② 2026年6～7月号更新予定（案）

6、7月号の掲載予定と取材担当を確認した。

〈取材担当確認〉

号	取材対象	担当
6月号	出雲広瀬ライオンズクラブ	山田委員
6月号	新潟西ライオンズクラブ	333-A地区PR委員長
7月号	鳥取砂丘ライオンズクラブ	山田委員

③ 「取材リポート」取材対象候補

クラブから寄せられた取材依頼と、7～8月実施予定の奉仕活動リストから、取材対象候補を検討した。

〈今後の対応〉

- ・ 候補に挙げた奉仕活動の具体的な予定を確認し、次回委員会で更に検討して取材対象を決定する。

また、スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲームの取材対応について協議した。

〈決定事項〉

- ・ 取材申請を行い、公式写真の提供も活用して記事を構成する。
- ・ ライオンズが支援するプログラムを重点的に紹介する。

3. 印刷版編集関係

① 2026年春号（4月25日発行／79,800部）出来

発行済みの春号について、内容・体裁ともに良好との評価があった。

② 2026年夏号（7月25日発行予定）台割案

資料4に基づき、夏号の台割について協議した。

〈主な協議内容〉

- ・ 指定記事「国際会長テーマ」のページ数
- ・ 「地区ガバナー紹介」の掲載内容

〈決定事項〉

- ・ 「国際会長テーマ」は4ページで掲載する。
- ・ 「地区ガバナー紹介」は例年通りとし、各ガバナーが掲げるスローガンまたはテーマも掲載する。

4. その他

① 印刷費値上げ要請

資料5に基づき、印刷会社からの印刷費値上げ要請について説明が行われた。2025年11月に値上げ要請を受け、同年12月の第4回委員会で値上げを了承していたもので、2026年度から適用される。

〈主な協議内容〉

- ・ 値上げ率は約7.49%。
 - ・ 社会情勢を踏まえ、値上げはやむを得ないとの意見が示された。
- 〈決定事項〉
- ・ 提示された見積の内容を了承し、2026年度より新単価を適用する。

② 印刷版発送方法に関する通知

資料6に基づき、2026年7月号から実施する印刷版のクラブ一括発送について、クラブ向け通知文書案が示された。

〈報告事項〉

- ・ 5月20日に各複合地区へ通知を発送予定。
- ・ 社団理事会において各地区議長を通じて全クラブへの周知を依頼する。

③ ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

資料7に基づき、ウェブマガジンのアクセス状況およびLINE公式アカウント登録者数の推移について報告が行われた。

〈報告事項〉

- ・ メールニュースやLINE配信の直後にアクセス数が増加する傾向が確認された。
- ・ LINE公式アカウント登録者数は再び増加傾向に転じた。
- ・ 登録者数6,500人達成に向け、引き続き普及活動を行う。

〈主な意見〉

- ・ 各地区の会長・幹事セミナーや合同会議で登録促進を実施。
- ・ 委員の名刺裏面のQRコードを活用した案内が効果的。
- ・ ライオン誌例会の開催や、活用事例の紹介・コンテンツ企画などの提案があった。
- ・ 取材をきっかけにライオン誌例会を実施することが有効との意見が示された。

〈今後の対応〉

- ・ LINE公式アカウント登録促進を継続する。
- ・ ライオン誌例会や活用事例の紹介方法について検討する。

＜次回開催予定＞

第10回委員会： 6月4日（木） 14:00～16:00（Zoom）

第11回委員会： 7月10日（金） 14:00～16:00（Zoom）

議事録作成：馬場 哲也（331複合地区委員）

2025-26年度
第10回ライオン誌日本語版委員会 議事要録

◎日 時： 2026年6月4日（木） 14:00～16:00

◎場 所： 一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室（Zoom）

◎出席者：

国際理事 仁科 良三（長野みずずLC）
国際理事 田名部智之（青森県・八戸LC）

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長 喜多 友一（長野県・上田城南LC） ●欠席
副理事長 諏訪 昇三（北海道・札幌時計台LC） ●欠席
副理事長 山崎もとみ（島根県・大田LC） ●欠席
PRマーケティング委員会委員長 廣田 晃一（兵庫県・姫路中央LC）
PRマーケティング委員会副委員長 水沼 孝夫（栃木県・真岡LC）

【ライオン誌日本語版委員会】

編集長／337複合地区委員 洲野二三世（大分LC）
330複合地区委員 田中 明（埼玉県・和光LC）
331複合地区委員 馬場 哲也（北海道・函館東LC）
332複合地区委員 岡田 殉（青森県・五所川原LC） ●欠席
333複合地区委員 後藤 一男（栃木うづまLC） ●欠席
334複合地区委員 前田 磨（静岡県・三島LC） ●欠席
335複合地区委員 秋山洋一郎（京都紫明LC）
336複合地区委員 山田 隆嗣（岡山県・津山紫楽LC）

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

① 2025年7月～26年4月ライオン誌関係会計報告

2026年4月末現在の会計状況について報告が行われた。

〈報告事項〉

- ・ ライオン誌直接出版費の予算執行率は100.2%で、ほぼ年間計画どおりに推移。
- ・ 2026年夏号から印刷版発送方法の変更により、発送費および発送事務費の大幅な削減が見込まれる。

② 次年度委員会への引き継ぎ事項

前年度委員会から引き継がれた「ライオン誌日本語版委員会の手引き」の今期中の変更・追加箇所を確認した。また、次年度への引き継ぎ事項について協議した。

〈委員提案の引き継ぎ事項〉

- ・ 委員による取材活動の継続。
 - ・ 月1回の委員会出席の徹底。
 - ・ ライオン誌例会の推進。
 - ・ アーカイブを活用した研修資料の整備。
- 特に委員会出席について、「各複合地区から推薦された委員で構成された委員会であり、欠席があると各地区の状況や情報をライオン誌に反映することができなくなる。月1回の開催であり、できる限り欠席のないようにしてほしい」との意見があった。

〈今後の対応〉

- ・ 修正した「ライオン誌日本語版委員会の手引き」と、委員提案の引き継ぎ事項を次年度委員会へ伝達する。

2. ウェブマガジン編集関係

① 2026年6月号（6月1日公開）出来

6月号記事の仕上がりを確認した。

〈報告事項〉

- ・ 国際大会関連の指定記事については本部からの配信が未着のため、配信後速やかに掲載する。

② 2026年7～8月号更新予定（案）

7月号及び8月号の掲載予定について確認した。

〈主な協議内容〉

- ・ 香港国際大会の写真は、過去4回の大会で協力をお願いした333-C地区のメンバーに写真提供を依頼する。ライオン誌公式版用のプレスパスについて必要枚数を確認して期日までに申請する。

③ 「取材リポート」取材対象候補

8～9月号の取材候補について協議した。

〈決定事項〉

- ・ 候補に挙がっていた3件の奉仕活動のうち2件について、担当委員による取材の調整を進めることを決定した。

3. 印刷版編集関係

① 2026年春号読者感想

春号「読者プレゼント」応募者から寄せられた感想・意見を確認した。

〈主な感想・意見〉

- ・ 記事内容への評価が高く、多数の好意的な意見が寄せられた。
- ・ LCIF活用事例、会員増強事例、クラブ活動紹介などの掲載要望があった。
- ・ 有名ライオンへのインタビュー企画や地域イベント紹介などの提案が寄せられた。

〈今後の対応〉

- ・ 読者からの意見は今後の誌面づくりの重要な参考資料であり、今後の企画立案に活用するため、次年度委員にもこの内容を共有する。

② 2026年夏号（7月25日発行予定）台割案

40ページの台割案と記事内容について協議した。

〈主な報告及び協議内容〉

- ・ 「地区ガバナー紹介」は全地区から原稿及び写真が提出された。
- ・ スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームはHAPの撮影許可を得て取材を行う。
- ・ 一般社団法人日本ライオンズ設立10周年関連記事として、10周年のPRと、記念誌用原稿募集の告知を掲載する。

③ 印刷版制作業務

夏号以降のレイアウト制作の委託先を選考するため、3社から提出された見積を検討。協議の結果、委託先として「有限会社チャロキー」を選定した。

4. その他

① 印刷版発送方法に関する通知

2026年夏号から実施される印刷版のクラブ一括発送に関するクラブ宛て通知の発信後、事務局に寄せられた意見の報告を受けた。

〈報告事項〉

- ・ 「クラブの負担が増えるため、これまで通り個人発送の選択肢を残してほしい」「クラブ発送となる場合は会員数分の送付は不要」「会員個人に配る術がない」といった意見があった。
- ・ クラブ発送開始に伴い案内した1冊無料追加制度については、約400クラブから追加送付の申請があった。

〈今後の対応〉

- ・ 寄せられた意見や各クラブの状況を継続して把握し、今後の運営の参考とする。

② ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

メールニュースおよびLINE公式アカウントの運用状況を確認。LINE公式アカウント登録者数は5月末現在6,281人となり、前回報告時から増加した。

〈今後の対応〉

- ・ LINE公式アカウントの普及、登録促進活動を引き続き継続する。

＜次回開催予定＞

第11回委員会： 7月10日（金）14:00～16:00（Zoom）

* 新旧合同開催：新年度委員にオブザーバーとして出席を要請

◎日	時：2026年1月27日(火) 14:00-17:00
◎場	所：兵庫県姫路市「ホテルモントレ姫路」(HB開催)
出席者リスト	
理事長	喜多 友一 (上田城南) 【欠席】
副理事長	諏訪 昇三 (札幌時計台)
副理事長	山崎 もとみ (大田)
副理事長	廣田 晃一 (姫路中央)
専務理事	伊賀 保夫 (東京ビース) 【Web】
常務理事	倉田 雅史 (小田原白梅)
常務理事	設楽 幸子 (札幌アカシヤ) 【Web】
常務理事	車田 信彦 (玉川)
常務理事	水沼 孝夫 (真岡)
常務理事	浜 一平 (岡谷)
常務理事	津田 勝之 (大阪桜之宮)
常務理事	武永 健治郎 (都城きりしま)
理事	渡邊 俊弥 (仙台五城) 【Web】
理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
理事	藤井 信英 (岡山みらい)
理事	濱田 浩平 (長崎南)
理事 (前理事長)	松浦 淳一 (岩見沢はまなす) 【欠席】
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟 (札幌北の杜) 【欠席】
理事 ('25-27 国際理事)	仁科 良三 (長野みすず)
理事 ('25-27 国際理事)	田名部 智之 (八戸)
理事 ('25-26 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二 (札幌中島) 【欠席】
監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦 (男鹿) 【欠席】
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞 (足利西) 【Web】
監事 (MD335 元議長)	小林 聡 (姫路広陵)
監事 (MD337 元議長)	栗田 泰 (伊万里)
オブザーバー	
法律顧問	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】
日本ライオンズ事務局長	増澤 義治 (諏訪湖)
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦 (上田城南) 【Web】
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹 (岡谷)

※出席者の役職は第7回理事会開始時点での情報となります。

◇会議冒頭

増澤事務長より喜多理事長の手術により入院中であるため、本日欠席であることが報告され、本来、議長は理事長であるが定款 24 条 3 項に記載された「副理事長は、理事長を補佐し、この法人の業務を執行する。また理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事会が予め決定した順序によって、その業務執行に係る職務を代行する。」に基づき、諏訪副理事長が議長を務めることが説明された。

◇会議冒頭あいさつ

諏訪副理事長代理：雪が多く交通機関の状態から今日の会議に間に合わないかと考えましたが到着できて良かったとあいさつ。理事長代理ですが本日はよろしく願います

◇出席確認

増澤事務長：書面に基づき確認。定款 4 1 条により理事の過半数が出席しているため本理事会が成立していることを確認。

◇緊急議案(人事)

喜多理事長が2月中入院のため休職となり、その間諏訪副理事長が代行を務めることと、伊賀専務理事より体調不良のため、理事としては残るものの専務理事辞任届が提出されたことを受け、定款第 2 3 条 4 項に基づき、新専務理事として廣田副理事長を選出することについて協議。全員一致で承認。

◇開会宣言

議事録作成人の指名

MD334 浜常務理事、MD335 津田常務理事を指名。

専務理事 廣田 晃一

◇あいさつ

・仁科国際理事：国際大会のスケジュール変更にふれ、このあと行う国際理事大会委員会に出席することから、今後変更が無いようにしっかりと意見交換をしていく約束をして情報開示につなげることを伝えた。また一般社団法人立ち上げと、ライオンズにおける法人格理由にふれ、日本に 8 つの MD が存在する強みを活かし、オールジャパんで頑張ろうと呼びかけを行われた。

・田名部国際理事：昨年度会費値上げが社員総会で承認された件に触れ、また自身が理事長として全国のガバナー協議会を訪ねた経験から日本ライオンズとして今こそ一致団結し、会員の理解を得るため努力する必要性について話された。
続いて自身が参加している国際本部会員増強委員会の報告を行った

◆審議事項

1.第 108 回香港国際大会

・伊賀理事より説明：香港国際大会のスケジュール変更の説明と、代議員朝食会開催概要の説明。

◇スケジュール変更

変更後は 7/4 が開会式、7/6 が閉会式、7/7 にパレードが開催される予定である。代議員朝食会について開会式開催日程変更に伴い、当初予定していた 7/5 より一日早い 7/4 に変更。

◇開催規模について

・多くの方に投票を行っていただく目的で、参加人数は 300 人を想定。仁科国際理事より、重要議案が投票に附されるため多くの代議員による投票が必要であると補足説明。

◇費用等

・幹事公認 TC より提出されている代議員朝食会会場候補のホテル詳細と、現時点での見積もりについて大会委員長より口頭報告。

・大会委員長・仁科国際理事ともに会場・音響に係る金額など、ある程度日本ライオンズでの費用負担が必要であると考えていることが説明された。さらに詳細な見積もりについては大会委員長より公認 TC へ確認中である。

・代議員朝食会の開催

・スケジュール変更に伴い代議員朝食会を当初の 7/5 から 7/4 へ変更すること
以上 2 点について審議の結果、全会一致にて承認。詳細については今後検討。

2.日本ライオンズ職員の出張要請(執行理事会継続審議)

第 108 回香港国際大会への職員派遣の件。

増澤事務長より、前回執行理事会で質問があった菅原前事務総長の出張について報告あり。菅原前総長については高齢であったこともあり海外での OSEAL フォーラム、国際大会への出張は行われていなかった。

事務長の出張についても理事会で必要性について協議をお願いすると発言。
諏訪理事長代理より現地での監督者は必要であると思われる意見。
人選については出張要請承認後にしっかりと検討する。
賛成多数にて承認。

3.複合地区議長選任について(執行理事會継続審議)

- ・諏訪理事長代理より説明：第6回執行理事會で承認された通り、次年度議長とガバナーの兼任は避けていただくようお願いする文章を喜多理事長と議長全員の連名で全国へ配信を行う。賛成多数で承認。

4.APシン国際会長公式訪問 収支報告

- ・諏訪理事長代理より説明。

前回の執行理事會で質問のあった、ウィントラベル請求書に記載されている札幌フォーラムでのジャパンレセプション費用についてはフォーラムでの行事であるため、APシン国際会長公式訪問の収支報告には記載されていない件の説明。

また、10月28日に行われたJCI会頭と国際会長との対談の際に発生した飲食費については、主催である日本ライオンズが招待したことを考慮し関係者13名を負担。

A.Pシン国際会長公式訪問の収支報告については賛成多数で承認。

ジャパンレセプションの会場費負担を日本ライオンズが行うことについて参加者に意見が募られた。

今回はすでに終了していることから、今後のことを検討するべきであるという意見や、賛助会費を値上げしたことを考慮し社団である程度の負担をしてもよいのではという意見。理事會の議事録に記載はないが支払いについて執行部より言及があった、という意見もあったが、次回よりあらかじめお見積りを提出いただき協議を行うことや、社団としての立ち位置をはっきりとさせることが重要であるという件が共通して出された。

今後引き続き検討を行う。

◆協議・確認事項

1.議長選任に関する内規案の検討

- ・諏訪理事長代理より説明。参加者より内容について意見あり。
意見全てを踏まえて増澤事務長が訂正する。

2.第108回香港国際大会関係

- ・伊賀専務理事より説明：
まずは変更後のスケジュールについて再度説明。

開会式から閉会式の日程が一日前倒しになり開会式は7月4日、バレーードは閉会式後の7月7日へ変更予定。各MD大会委員長にも共有と、行事についての協議を行う予定。

続いて1/9に行われたバレーード頒布品コンベの結果として、交換ピンと缶バッジの最終デザインやサイズ、価格など詳細報告。

参加者の負担を軽減し多くの方に国際大会へ参加をいただく目的で、前年度理事會で日本ライオンズが負担すると承認されたツアーデスクについては、今回幹事公認TCが手配し日本からの参加者に宿泊いただくホテルが国際協会との兼ね合いで複数なる可能性があることから一番部屋数が多く確保できるホテルへの設置を考えている。

必要であるか否か、またなるべくコストを抑える方法を検討の上、必要があれば理事會へ上程予定である。

参加者からはツアーデスクを一本化する弊害としてのサービス低下の懸念や、ホテルが決まらないとツアー案内が出せないで早急にお願しいたい、など意見が出された。大会委員会において今後も協議を行う。

◆その他

1.社団賛助会費について

24-25年度第3回社員総会で承認され、各MD年次大会への上程をお願いしていた日本ライオンズ賛助会費値上げについて、現状の確認がなされた、

倉田常務理事：2年にわたり40円の値上げを上程する予定。ガバナー協議会で地区ガバナーの同意を得ている。問題はないと思われる。

水沼常務理事：今年度はMDが値上げ分を捻出している。値上げについて各地区ガバナーの理解を得ている。

2.複合地区年次大会への共通提案事項の確認

廣田専務理事説明：大会日程を読み上げ全員で共有。喜多理事長の出席要請がある場合は、早めに案内だけするように願いたい。

3.総務人事関係 増澤事務長より説明

- ・昨年度12月に支給された職員賞与について増澤事務長が病欠だったため事後報告となるがすでに総務人事委員会で承認をいただいていた件の説明と財務担当理事確認の報告。承認。

職員1名の退職について報告。

非正規職員の就業規定は労働顧問・羽鳥社労士と相談しつつ引き続き行っている事を報告。

・日赤との協定案報告：可能であれば3月に行われる第3回社員総会にて、協定の締結と調印まで待って行きたい。添付の資料を見て頂き、2月理事会に上程する。

・インドからの来日について、先方からのスケジュールと、訪問予定MDでの予定の報告が各議長より行われた。

MD334 3/3 名古屋での懇親会を予定している

MD330 東京地区については各クラブに確認中。箱根滞在時の夜 懇親会を考えると

MD335 先方の予定に合わせ3/5に懇親会を予定している

MD337 3/8 合同懇親会を計画。懇親会で発生した費用はどうするのか、地区ガバナーから質問があった件が報告された。

増澤事務局長より返答：日本側の参加者の費用は自己負担してほしい。インド側の費用は自己負担されるので、会費制にしたいだけか出発前に精算いただいてください。

各MDより出された質問については先方へ確認する。

4. SON 東京大会ユニファイドラン詳細と今後の対応について

増澤事務局長より説明：今年6月・9月に開催されるSON東京大会に先だって開催される、ユニファイドランの説明と参加の呼びかけ。参加費は一名5,000円。

SONの今後の対応をMD330とするか社団の委員会とするかはMD330でも検討いただく。

なお社団に残っているSON特別口座残金はトリノ大会の交通費援助の残金である。参加費等の負担を自己負担とするか社団からの援助とするかについては理事会での検討が必要。

5. 各種報告

・公益財団法人日本ライオンズ報告：倉田常務理事より、1/26に行われた公益財団法人日本ライオンズ理事会について、1-3号議案までの報告が行われた。

各委員会報告

・1/8開催 第5回ライオン誌委員会：水沼常務理事

333-B地区での取り組みである子供みらい支援シンポジウムへの支援など、記事作成中である。多くの方にライオン誌を見て頂けるように進めている。

・1/13開催 国際理事候補者資格審査委員会意見交換会：倉田常務理事

池田顧問を含めて意見交換会を行った。オセアルのガイドラインに従った内規のよくな立ち位置のものを作成予定である。引き続き打ち合わせを2月中に行い、引き続き検討とガイドラインの作成などを行う。

・社団10周年記念行事実施委員会：山崎副理事長

今年12月、遅くとも1月に3～500人規模で式典を開催する旨を報告。

今後事業内容など検討すべき部分は多いが、委員会で協議を行い、順次報告を行う。

倉田常務理事より：会場候補のホテルについては確認中。

設楽常務理事より現議長であるMD332車田議長・MD333水沼議長の参加について提案があり、今後委員会で検討を行う。

・会則委員会：渡邊理事

ライオンズ必携・役員必携をA4版合冊として内容を編集集中である。現在の記載事項をすべて盛り込むと400ページ近くになってしまうため、印刷版においてはライオンズ必携、役員必携に重複して掲載されている内容を削除するなど、大幅な内容の変更を行うことを検討中。また、年表や地区データ、歴代ガバナー名簿など毎年更新するものについてはデータ版へ移行し、印刷版から削除。製本版は新三役セミナー後になる予定であるためデータ版を先に作成予定。

田名部国際理事より

内容は理事会構成員としてもしっかりと精査が必要であり一度確認させていただきたい。

渡邊委員長：次回会則委員会(2/16)を目標に、皆様へ提供できるよう目指したい。また変更箇所については明記し、変更箇所を抜粋してお渡しする。

津田常務理事より

MD335の会計監査を行い資産について調べていたところ「漫画でわかるロボバート議事規則」の掲載を発見。3年ほど前にMDの会則委員会で作成し、各MDへ販売を考えていることが分かった。大変役に立つわかりやすいマンガであるので渡邊委員長にも確認いただきぜひ各MDで取り上げていただきたい。金額は今後相談させてもらいたい。

註：日本ライオンズでは2025年7月2日に開催された24-25年度第12回理事会で会則委員会からの申し合わせとして編集権一式を5万5000円で買い取ることを打診しており、値段についてはMD335で再度打ち合わせをお願いする内容が当時の議事録に記載あり。

◇開会宣言

諏訪理事長代理

社員総会に向けての審議事項をはじめ審議・承認事項が多い会議であるとして、スムーズな進行への協力を呼び掛けた

◇出席確認

専務理事 廣田 晃一

出席者確認。欠席者より委任状が提出されていることの報告の後、定款41条により理事の過半数が出席しているため理事会成立を宣言。

◇議事録作成人の指名

専務理事 廣田 晃一

山崎副理事長 武永常務理事 2名を指名

◇あいさつ

・小野寺公益財団理事長：悪天候にも関わらず社団理事会に多くの方が参加されていることに感謝の意を表されあいさつされた。

・仁科国際理事：まずは3月15日よりシカゴにて国際理事会・その後ニューヨークでの国連奉仕デーへの参加を田名部国際理事と行うことを話された。

ミッシン1.5関係として、香港国際大会においてミッシン1.5において優れた結果を残した地区・会員を対象に表彰を行うほか、国際大会への招待などを含めた各種特典を用意する予定であることを報告。地区内へぜひお伝えしてほしい。

香港大会での投票事項について、すでに呼びかけている国際理事の会則地域ごとの定数変更を行う内容について再度説明し、投票を通じて日本としての意思を示すことへの協力を呼びかけた。その他の重要な投票事項も予定されており、国際大会後にライオン誌記事などで詳細をお知らせすることをお話された。

また、3月12日に今年度2度目となるPDGセミナーを実施することに伴い、参加促進と、地区への情報伝達を行うことの重要性を指摘しあいさつされた。

・田名部国際理事：一般社団法人全国高等学校PTA連合会の会長として先ほどまで文部科学省にて記者会見を行っていたことを報告。

現在のミッシン1.5ではレオクラブ会員は対象とはならないが、レオクラブ会員プログラムを通じて奉仕の強化や将来の会員増強を見据えることと、将来的に日本ライオンズと文部科学省や子供たち、保護者や地域の方が提携することでライオンズと子供たちの取り組みにより、地域全体をよくすることができると考えていることを話された。

国際理事会では日本の意見を必ず国際本部へ届け、同時に国際本部からの声も日本へ届けると決意を表しあいさつされた。

・鶴嶋 LCIF 理事：午前中に行われた10周年記念事業委員会で大変良い協議が出来た報告と、悪天候にも関わらず理事会へ参加を頂いたことへの感謝を伝えられた。

続いて LCIF 理事として各地区の今年度 LCIF 目標達成に触れられ、議長の皆様にもぜひご協力をお願いすることと、名古屋にて明日、来日中の LCIF 事務総長と会議を行うことをお話された。

◆審議事項

1.第3回社員総会(全国ガバナー会)開催について

・諏訪理事長代理より資料に基づき説明。

日程：2026年3月23日(月) AP 日本橋 G ルーム 13:30-16:00 にて開催。

当日午前中に日本ライオンズ事務所で理事会を行い進行について確認を行う。

審議事項については無し、報告事項のみとする。

総会前に日本赤十字社との協定締結・調印式とあいさつを行い、第1部：社員総会 第2部：名誉理事長・山田元国際会長の基調講演を予定。基調講演のテーマについては山田元国際会長に一任とさせていただく。

各委員会からの報告事項について事前に書面にて提出いただくよう、後日各委員長へ依頼。

その他報告事項の詳細や出席対象者、ストリーミング・総会後の懇親会開催について資料に基づき確認がなされ、全会一致にて第3回社員総会(全国ガバナー会)開催について承認。

2.議長選任ガイドラインについて

・諏訪理事長代理より説明：

前回の執行理事会での意見を受け、池田法律顧問にリーガルチェックと修正をいただいた案が示された。文書のタイトルについても法的効力の観点から内規ではなく、ガイドラインへ変更。

渡邊会則委員長より、田名部国際理事より会則委員会へ提案があった内容を考慮しても(編集註：詳細は会則委員会報告事項にて後述)会則委員会としても問題がないと思われる意見。

賛成多数にて承認。

3.札幌オセアリアルフォーラムジャパンレセプション費用負担について

・諏訪理事長代理より説明：

第7回執行理事会で承認された、札幌オセアリアルフォーラムで開催されたジャパンレセプションの費用を一部社団負担することについて説明。

現在すべて松岡国際理事候補者に負担を頂いているが、日本として国際理事を選出し、日本のために今後活躍を頂くことを考慮し、日本ライオンズが費用のうち会費及び音響等設備費負担にあたる¥213,400を負担することについて理事会へ諮られた。

賛成多数により承認。社員総会では報告事項となる。
増澤事務局長より、今回はオセアルフォーラムと理事会のスケジュールの兼ね合いにより審議がフォーラム後となったが、今後もオセアルフォーラムでの会場費等を日本ライオンズが負担することを理事会において統一見解としていただきたい、と呼びかけられた。

4.総務人事委員会上程審議

増澤事務局長より説明。
まずは規定2種の改訂について審議を行った。

- ・一般社団法人日本ライオンズ 会費規定(修正版) 案
2026年度より160円を乗じた額とすることを記載した
- ・一般社団法人日本ライオンズ 会費規定およびパートタイム・有期雇用職員 非正規職員就業規則(案):

労働顧問である羽鳥社労士と協議の作成した最終案を示し内容について説明。
なお管理職は除く、と第1章第1条に記載されている通り、日本ライオンズ事務局長については規則の対象外となる。

一般社団法人日本ライオンズ 会費規定およびパートタイム・有期雇用職員 非正規職員就業規則について、賛成多数により承認。

続いて、再雇用となる職員の場合、今後の契約・待遇等をどのようにすべきかについて増澤事務局長より理事会に意見が求められたが、まずは総務人事委員会にて検討を行うこととした。

- ・赤字との協定締結の件
増澤事務局長より報告。社員総会概要で示された通り、第3回社員総会にて調印を行う。先方との打合せを重ねた上、理事会で出された要望も相手方にお伝えしお受けいただいた。奉仕の増強に繋がる協定を目指す。

- ・日本ライオンズウェブサイトを改定について
ライオン誌日本語版・PRマーケティング委員会委員長である廣田専務理事より説明。日本ライオンズウェブサイトの設置後より小さな更新のみ行われているが、国際協会や各MD/地区のHUB(ハブ)サイトとして繋がりを中心となる役割を持ち、一般市民の皆様がライオンズへのイメージを向上するサイトを目指して完全な改訂を行いたい。

改訂について理事会の承認を頂いた後、理事会参加者にも業者を紹介いただいた上で、業者選定のコンペを開催することや、次年度9月までの改訂を想定したスケジュール案などを示して説明され、参考までに過去の日本ライオンズウェブサイト設置・ライオン誌WEB版

システム改訂の際の金額が伝えられた。改訂後の更新や変更は事務局で行うことができるようにしたい。

コンペや業者との打ち合わせは増澤事務局長が担当する。
ライオン誌委員会の中のウェブサイト制作・運用や、10周年記念事業の周知とウェブサイトにリニューアルをどのように平行して行うべきか検討が必要である等、意見が出される。理事会での意見については理事会で詳細に報告を行う予定。
議内容については理事会で報告を行う予定。
まずは示された方向性に合わせて改訂を行うことについて、賛成多数にて承認。

◆協議・確認事項

- 1.第7回執行理事会からの協議・確認事項
- 1.一般社団法人日本ライオンズ上半期監査報告

予定を変更し、まずは2月24日に行われた上半期監査報告について渡邊財務担当責任者より口頭報告。

特に大きな問題はなく完了したが、会費値上げと決算の整合性が分かるようにするべきであると意見が出たと報告。

監査に参加した下間監事より、とくに問題はないと思われる意見。
経理担当職員より上半期の主なポイントとして受け取り賛助会費の改定と事務所家賃の更改があった件のほか、計算書については予算との乖離について指摘があり、今後の決算の課題となると思われる件と、賛助会費値上げの影響として、今後のために社団の在り方・あるべき姿を説明できるようにするべきであるという意見が監査委員より出されたことについて報告。

1-1.第108回香港国際大会 最新情報と進捗報告

- ・国際大会委員長・伊賀理事より説明:
先日国際大会HPで公開されたパレード行進順の説明。OSEAL地域はかなり早い順番の予定であり日本は6番目となっている。

仁科国際理事より説明を頂いている通り、3月の国際理事会でパレード開催が最終決定される予定であることから、頒布品などパレード詳細は国際理事会後に全国へのお知らせを予定している。

国際大会委員会では引き続き多くの代議員の方にご参加をいただくために取り組んでおり、国際協会が手配したホテルへの名簿提出締め切りとなる2月末まで呼びかけを行い、その後は各クラブへ代議員登録の呼びかけを行う。2/3に開催された第7回国際大会委員会の時点では854名の登録。3月6日の大会委員会で登録数・ホテル利用室数の取りまとめ後に執行理事会・理事会でも報告の予定。

1-2.次期第1回社員総会 日程及び開催場所案

- ・増澤事務局長より次年度第1回社員総会会場および日程の予定について説明。

2026 年 8 月 3 日 ベルサール八重洲 ルーム B+C 13:00-17:00 【予定】
提出された見積もりに機材等の使用料金が追加される予定。現在金額を確認中であることと、おおよその最終金額が説明された。

第 7 回執行理事会で各議長に依頼を行った、社員総会予定日における MD 内行事等の確認の進捗報告。一部未定・未回答となっている MD については次回理事会で報告を頂く。

◆その他

2/10 開催第 2 回総務人事委員会からの報告については審議事項にてすべて説明済のため省略。

1.インドよりライオン訪日関係

334-A 主催により名古屋で 3 月 3 日に夕食会を開催することと、3 月 9 日に MD337 にて 337-A 地区ガバナーと朝食後に交流を行うことの確認。

2.ダイナースカード関係

クラブでカードを作る場合は会長名で作成いただくが、利用の際はクラブにポイントが還元される仕組みである。年会費やポイント還元について変更がある。利用申し込みや問い合わせは直接ダイナースカードへ問い合わせをお願いする。

◆各種報告

・委員会報告

・会則委員会：渡邊理事

現在 MD330 委員が中心となりライオンズ必携・役員必携合本版の編集を進めている。年表や各種データなど変更が多いと想定される部分は WE B の収録とし、印刷版は 300 ページ以下を想定。次回会則委員会までに各委員で手分けして内容確認を行っており、新三役研修ではデータでのお渡しを行うことを目標としている。

田名部国際理事より、会則委員に参加し、協議会議長・第 2 副地区ガバナー・リジョンチエアパーソン・ゾーンチエアパーソンの選任においてローテーションを行わないことを促す記述をライオンズ必携に記載いただくよう要望を行った報告。

ローテーション制度の存在を理由に希望者が役職に就くことが妨げられるなどの事例が発生しており、国際協会でも問題視されている状況であることから、今回の要望を出すことに至った。

提案にあたり国際理事会でも確認を行ったほか、山田元国際会も同様のご意見である。渡邊委員長をはじめ、今回の必携編集の中心となっている MD330 委員にもかなり前向きに調整を頂いている。最終的には必携に記述される内容を理事会で皆さんに確認を頂きたい。

・アラート委員会：藤井理事

次年度アラート委員会組織図案を提示。日本ライオンズ班長・副班長職は昨年度で廃止されているが、今年度はすでに任命を行った地区があったため、次年度は各 MD・地区へ班長・副班長職を選任しないよう依頼を出す。

3/13 大阪で開催される全国アラートフォーラム登録状況を報告。

	MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337
目標	30	20	30	30	40	450	80	30
登録数	39	10	33	14	49	492	50	18

ライオンズ計 705 名・一般の方計 29 名が登録。各 MD については目標数達成のため引き続きご協力をお願いする。

田名部国際理事より、アラート委員会構成員の選任基準について質問と、複合・準地区を通じての選任が行われていないなど、一部構成員の選任基準が不透明な部分があると感じられると意見。

委員長より、東西リーダーについては基本的にはアラートに精通している方を選出しているがトラブルが発生したこともあり、現在慎重に規約の見直しを進めている最中であると回答。アラート委員会組織の変遷についても説明され、今後委員会でさらに検討を行った上、理事会の承認を得て次年度アラート委員会組織図を確定することが確認された。

・YCE 委員会：濱田理事

すでに完了した冬季事業の報告と、夏季事業予定の共有、事業を通じ発生した問題や課題について検討を行った。

冬季派遣 24 名、受入 56 名。中国の情勢により一部空港発の中国系航空会社のフライトが中止になるなど問題が発生。

2 年前より採用しているユニフォーム（白いベスト）が一部の国ではフォーマルではないと意見がある。今後検討する。

昨年度より引き継ぎ事項である日本ライオンズで YCE 窓口を一本化する件について、各国からの問い合わせが激増し MD 事務局・委員の負担が大きくなっていること等、各複合地区委員からの意見を鑑み、時間はかかるものの来期へ向け検討チームを作り前向きに進めていく予定である。

YCE デイレクトリのエクセルが使いにくい件については再度委員会で意見をまとめた上で、国際理事を通じて国際本部へ改善をお願いしたい件が報告された。

・日本ライオンズ 10 周年記念事業委員会：山崎副理事長

現在までの委員会で申し合わせた内容を報告。

委員会正式名称：「一般社団法人日本ライオンズ創立10周年特別委員会」
開催予定場所：横浜ベイホテル東急 参加人数は4～500人程度を予定（MAX580名収容可能）
日時：11月29日（日） 翌日11月30日（月）東京で社員総会を行いたい。
記念事業について労力奉仕月間とし、期間は10/1～の一ヶ月間、全国で一斉に奉仕活動へ取り組んでいただく案を検討している。

記念式典、記念誌の発行、記念祝賀会を行う。それぞれ3部会を立ち上げ分担して進める。
テーマは「これまでに感謝、つなごう未来の奉仕へ」
アワードについても今後検討していく
予算関係は、委員会の中に総務委員会を立ち上げ、きちんと管理を行う。
早急に組織図を作成し、役割分担を明確にする。3月の社員総会でも発表を行い、なるべく早く書面にて全国へ周知を徹底、奉仕月間に繋げたいと考えている。

月次監査報告

経理担当事務局員より、2月20日に行われた月次監査の報告と詳細の説明が行われた。
理事会参加者より異議や質問については無し。

◆公益財団法人日本ライオンズ報告

・小野寺公益財団理事長より報告。
財団の事業である全国特別支援学校フットサル地区大会について、全九州各県で教育委員会より後援となっていた。去年11月1日に東京で開催した第4回国際特別支援学校フットサル全国大会では河合スポーツ片長官にお越しいただくなど、財団の地道な取り組みが一つ一つ実っており、奉仕団体としてのあるべき姿ではないかと感じている。
児童養護施設の子供たちへの支援事業である寺子屋事業では全国の大学生を含むボランティアと提携して進めており、全国51ヶ所を達成。児童養護施設への支援は全国のライオンズクラブでも多く行われているが、イベント時だけでなく、継続的な取り組みが効果的であると実感している。
しかし財団の取り組みがクラブまで浸透していないと感じる。理事会構成員・議長の皆様の理解と協力、ガバナークラブ会長への周知を引き続きお願いする。
MD335 津田議長より、やはり財団について会員の皆様への周知が必要であると感じ、複合内でのWEB説明会開催や、次回フットサル全国大会への協力の準備などを進めていることが報告された。
MD330 倉田議長より、今年度複合地区年次大会でチャリティーコンサートを行い、LCIF/公益財団日本ライオンズへ同額の寄付を行うことを決定したことを報告。

追加議案：SON関連

倉田議長より発言。SONユニファイドランに330A地区より子供を含む9名が参加することになった。交通費を社団より支援いただきたいと相談。
1名2,000円程度、計18,000円を予定。

理事長代理である諏訪副理事長より、日本ライオンズから倉田議長へ依頼した件であることも考慮し、経費として日本ライオンズのSON積立金より拠出を行うことについて理事会へ諮られた。全員の賛成により承認。

MD330各地区へSONより届いているボランティア募集・広告協費のお願いについては次回理事会へ資料を提出し、地区・社団での取り組み方について検討する予定。

・ライオン誌クラブ発送切り替えの件

昨年度理事会で決定した、ライオン誌個人発送をクラブ発送に切り替える件について廣田専務理事より発言。

クラブでのライオン誌例会開催の依頼と、来期夏号より個人発送を廃止し、すべてクラブ発送へ切り替える予定であることを理事会へ周知。この件は社員総会でもお話しする予定である。

◇今後の予定

- ・2/26（木）13:30-16:30 第2回クエスト・薬物乱用防止委員会（対面・2部制）
薬物乱用防止委員会では公益財団法人薬物乱用防止センターの方に講演をいただく。
- ・3/6（金）10:00-12:00 第8回国際大会委員会（WEB）
- ・3/6（金）14:00-16:00 第7回ライオン誌委員会（WEB）
- ・3/9（月）13:30-16:00 第8回執行理事会（WEB）
- ・3/13（金）全国アラートフォーラム大阪
- ・3/15（日）-3/18（水）国際理事会（シカゴ・オークブルック）
- ・3/23（月）第9回理事会・第3回定時社員総会

◇監事講評

下間監事より

スムーズな審議が行われた理事会であったと思う。
理事会前に執行理事会を行っているかと思うが、執行理事の皆様は執行理事会・理事会にご参加・ご発言をいただく機会がある。
一方で理事の方は理事会のみにご参加であるので、理事会を機会にとらえていただき、積極的なご発言をいただければ良いと思う。

石橋監事より

理事会参加者へのねぎらいと、10周年記念事業への期待を述べた。

乗田監事より

日本ライオンズ発行<2025-26-理-M08>
理事会の議事録作成について意見を述べた。内容に間違いがないよう、作成者が確認を丁寧に行うよう依頼。

- ◇閉会のあいさつ 山崎もとみ副理事長
今後の理事会への引き継ぎの協力の呼びかけを行った。
- ◇最後に田中事務局補佐より喜多理事長の近況が報告され、予定通り3月より復帰される事が伝えられた。
- ◇閉会宣言 廣田専務理事

議事録作成人：
常務理事 山崎もとみ
常務理事 武永 健治郎

議事録署名人
理事長代理 副理事長 諏訪 昇三【押印省略】
監事 下間 俊悦【押印省略】
監事 石橋 貞【押印省略】
監事 小林 聰【押印省略】
監事 乗田 泰【押印省略】
以上

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 第 9 回理事会議事要録

◎日 時：2026 年 3 月 23 日(月) 11:00-12:00
◎場 所：日本ライオンズ事務所+ZOOM (HB 開催)

出席者リスト	
理事長	喜多 友一 (上田城南)
副理事長(理事長代理)	諏訪 昇三 (札幌時計台)
副理事長	山崎 もとみ (大田)
専務理事	廣田 晃一 (姫路中央)
常務理事	倉田 雅史 (小田原白梅)
常務理事	設楽 幸子 (札幌アカシヤ)
常務理事	車田 信彦 (玉川)
常務理事	水沼 孝夫 (真岡)
常務理事	浜 一平 (岡谷)
常務理事	津田 勝之 (大阪桜之宮)
常務理事	武永 健治郎 (都城きりしま)
理事	伊賀 保夫 (東京ビース)
理事	渡邊 俊弥 (仙台五城)
理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
理事	藤井 信英 (岡山みらい)
理事	瀨田 浩平 (長崎南)
理事	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	【欠席】
理事 (25-27 国際理事)	小野寺 眞悟 (札幌北の杜)
理事 ('25-27 国際理事)	仁科 良三 (長野みすず)
理事 ('25-26 LCIF 理事)	田名部 智之 (八戸)
	鶴嶋 浩二 (札幌中島)
監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦 (男鹿)
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞 (足利西)
監事 (MD335 元議長)	小林 聰 (姫路広陵)
監事 (MD337 元議長)	乗田 泰 (伊万里)
【Web】	
オブザーバー	
法律顧問	池田 和司 (東京桜門)
会計顧問	吉田 宗一郎 (東京武蔵野)
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦 (上田城南)
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹 (岡谷)

◇開会宣言

喜多理事長

自身の現状を報告し、休職期間のお礼と、今回の理事会は社員総会に向けての最終確認など短い時間内での協議になるが、スムーズな進行をお願いし挨拶された。

◇出席確認

出席者確認、理事会成立を宣言

◇議事録作成人の指名

MD330 伊賀理事・MD332 渡邊理事 2名を指名

◇あいさつ

・仁科国際理事・田名部国際理事・鶴嶋 LCIF 理事より、ご挨拶を頂いた。

・小野寺公益財団理事長：

・スポーツ庁・全国の教育委員会のほか、こども家庭庁に後援をいただくべく交渉を行っていることを報告された。

◇議事

1.第3回社員総会(全国ガバナー会)進行要点の確認

・廣田専務理事説明より説明。社員総会前に開催する日本赤十字社との協定締結調印式や社員総会報告事項の大きな時間配分や報告担当者等、全体の流れについて確認。

2.国際理事・LCIF 理事からの意見書について

・喜多理事長より次回執行理事会で報告予定であることが報告された。

3.香港国際大会最新情報・国際大会委員会からの上程議案(代議員朝食会・公認 TC アンケート)

・仁科国際理事より報告

国際理事会へ参加した所感と、所属する国際大会委員会での協議内容について報告。
委員長であるフランク・ムーア元国際会長もインターナショナル・パレードの開催に向けて尽力されているが、開催について正式決定はまだなされていないことが伝えられた。

編集註：理事会後の 3/26、LCI ホームページ上でパレード中止が正式に発表された。

・伊賀国際大会委員長より

・3/6 の国際大会委員会時点での参加者数、ならびに登録人数を発表。

日本全体の代議員数目標を 1,000 人とし、各 MD の目標を、参加者数を元に人数設定を行ったことを報告。

・代議員朝食会について

7 月 4 日(土) 午前 7 時～8 時 (開会式当日) を予定している。

会場は国際大会会場であるアジア・エキスポの側にあるリーガルエアポートホテル IF グラントボールルーム I ～III、300 名規模で開催予定。

大会委員会では、開催が早朝であることと、日本からの参加者が利用する 3 か所のホテルから代議員朝食会場まで距離があることを考慮し、代議員朝食会参加者向けに日本ライオンズにてバスを手配することを申し合わせた。

まずは各 MD に対し、本部ホテル・DGE ホテルを含む各ホテルからのバス利用人数アンケートを実施し、その後委員会で詳細を検討する予定。

朝食会登録料は会場ホテルからの見積もりを示し、前回と同じ金額 (10,000 円) で検討中であることを報告した。

前回同様、一部料金 (会場代) を社団負担する形になるかと思われる。

バス利用料金については利用者の負担とすることを検討中。

特に異議の声なし。

・公認 TC アンケートについて

現在の各 MD 公認 TC 規定の運用状況について、現在の状況に即しているかどうか、必要であれば改訂を行うことも考えているが、まずは現状の確認のため、アンケートを実施したい。

アンケートは誰が回答するか質問があり、議長 (ガバナー協議会を代表)・MD と地区の大会委員会・公認 TC と、さまざまな観点からの意見をいただきたいと伊賀大会委員長が回答。

鶴嶋 LCIF 理事からは現職だけではなく、過去に関わった方にも意見をいただくのがよろしいのではと提案。

公認 TC 規定について現状と違う内容が記載されている件について指摘があり、気が付いたところはアンケートを通して意見を出してほしいと回答。締め切りは一ヶ月以内になると思われる。

アンケート配信について異議の声なし。

・喜多理事長より、パレード頒布品について質問。伊賀大会委員長より、すでに MD 大会委員長には共有しているものの、今後パレードの開催状況を鑑みて再度委員会で検討することが回答された。仁科国際理事よりパレード頒布品を開会式・閉会式で着用する提案があり、頒布品については 3/25 に開催される国際大会委員会で検討を行う予定。

4.各種報告

・シカゴ国際理事会

午後からの第 3 回社員総会で報告を行うため割愛。

・第 3 回総務人事委員会

廣田専務理事報告

まずは職員の雇用契約案について協議と共有を行ったことを報告。

次年度以降については今後の委員会で検討。

職員雇用契約書更新について現時点の問題点の確認と改善を行い事務処理の改善につなげる
ことと、非正規職員雇用規約の確認、総務人事委員会で行う内容を再度確認したことを報告。

日本ライオンズ発行<2025-26-理-M09>
6月までに次年度へ向けての人事や日本ライオンズ運営について検討を行うため、4月・5月ともに委員会を開催する予定である。
鶴嶋LCIF理事から過去の経験より、事務所職員の業務内容の掌握を委員会で言い適切な人事を行うよう求められた。

・第5回10周年記念事業委員会
午後からの第3回社員総会で報告を行うため理事会では割愛。

・3/17実施 2026年2月度月次決算報告
経理担当事務局員より報告。異議の声なし。

・公益財団法人日本ライオンズ活動報告
午後からの第3回社員総会で報告を行うため、割愛。

◇その他

・山崎副理事長より
第1・第2副地区ガバナー立候補の条件としても含まれている「グッドスタンディング」を会員へわかりやすくした上で、日本ライオンズとして第1・第2副地区ガバナー選出についてのガイドラインを制定したいと提案。
拘束力・強制力はなく、採用は各MDへ委ねるものの、今期中に慎重に協議の上で完成を目指したい。
対象となる範囲について質問があり、社団へ入社するガバナー・議長のみでなく、会員への指針としたいと回答。ガイドラインとする場合は拘束力・強制力をもたない分、ある程度明確に記載をいただきたいと意見が出された。

・諏訪副理事長より提案と協議
5月19日(火)第11回日本ライオンズ理事会開催地について
諏訪副理事長より、北海道での開催を予定していたが、事情により開催地変更を行いたいと依頼。東京開催に変更することが決定された。

・バックパネルのフレームについて
本日社員総会前の日本赤十字社との調印式で使用する日本ライオンズバックパネルのフレームについて、鶴嶋LCIF理事のご厚意により札幌オセアラム実行委員会から頂いた報告と、謝意が示された。

◇閉会のあいさつ 諏訪副理事長
大変短い時間であったがご協力を頂き理事会を時間内に終了することができた。

◇閉会宣言
廣田専務理事
日本ライオンズ発行<2025-26-理-M09>
以上

議事録作成人
一般社団日本ライオンズ
理事 伊賀 保夫
理事 渡邊 俊弥

議事録署名人
一般社団日本ライオンズ
理事長 喜多 友一 【押印省略】
監事 下間 俊悦 【押印省略】
監事 石橋 貞 【押印省略】
監事 小林 聡 【押印省略】
監事 乗田 泰 【押印省略】

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 第 10 回理事会議事要録

◎日 時：2026 年 4 月 21 日(火) 14:00-17:00

◎場 所：日本ライオンズ事務所+ZOOM (HIB 開催)

理事長
副理事長
副理事長
専務理事

出席者リスト

喜多 友一 (上田城南)
諏訪 昇三 (札幌時計台)
山崎 もとみ (大田)
廣田 晃一 (姫路中央)

常務理事
常務理事
常務理事
常務理事
常務理事
常務理事
常務理事

倉田 雅史 (小田原白梅)
設楽 幸子 (札幌アカシヤ)
車田 信彦 (玉川)
水沼 孝夫 (真岡)
浜 一平 (岡谷)
津田 勝之 (大阪桜之宮)
武永 健治郎 (都城きりしま)

理事
理事
理事
理事
理事
理事 (前理事長)
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)

伊賀 保夫 (東京ビース)
渡邊 俊弥 (仙台五城)
佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
藤井 信英 (岡山みらい)
濱田 浩平 (長崎南)
松浦 淳一 (岩見沢はまなす)

【Web】

理事 (25-27 国際理事)
理事 (25-27 国際理事)
理事 (25-26 LCIF 理事)

小野寺 眞悟 (札幌北の杜)
仁科 良三 (長野みすず)
田名部 智之 (八戸)
鶴嶋 浩二 (札幌中島)

【Web】

【Web】

監事 (MD332 元議長)
監事 (MD333 元議長)
監事 (MD335 元議長)
監事 (MD337 元議長)

下間 俊悦 (男鹿)
石橋 貞 (足利西)
小林 聡 (姫路広陵)
乗田 泰 (伊万里)

【欠席】

【Web】

【欠席】

オブザーバー

法律顧問
会計顧問
25-26 理事長事務局補佐
25-26 理事長事務局補佐

池田 和司 (東京桜門)
吉田 宗一郎 (東京武蔵野)
田中 俊彦 (上田城南)
小口 恒樹 (岡谷)

【Web】

◇開会宣言

喜多理事長

今期の理事会議開催予定も残り少しとなった。その中でしつかりやっていくことを宣言し挨拶された。

◇出席確認

専務理事 廣田 晃一

出席者確認。理事が過半数出席していることにより、理事会の成立を宣言。

◇議事録作成人の指名 専務理事 廣田 晃一

水沼常務理事 浜常務理事 2 名を指名

◇あいさつ

・仁科国際理事：香港国際大会でのインターナショナルパレードが現地当局の許可が下りず中止となり、他のイベントを検討していることと、代替イベント詳細については今後の会議で正式決定へ向け協議が行われる予定であると報告。代替イベントではSDGs 目標達成（不平等の削減）を掲げ、参加人数ギネス記録達成を目指す予定。

・田名部国際理事：会議前日に地元である青森で発生した地震について地区内の状況を報告。ベナンで行われるステアリング委員会に向けて日本ライオンズとしての意見をまとめてほしいことや、次年度へのスムーズな引き継ぎ体制の強化について話された後、国際理事として現在理事会・会則委員会でも協議されている件など、日本からの意見を国際本部に届けたいと考えていると述べられ、挨拶された。

・鶴嶋 LCIF 理事：日本に於ける今年度 LCIF 目標が残り 3%になっているが、実際には地区ごとに差が大きいことを説明し、目標達成へ向け 1 人 1 人の協力を呼びかけられた。また先日行われた GAT 会議の報告として、6 月に全世界一斉開催となる M1.5 サミットについて、参加対象者となる第 1 副地区ガバナーの中に欠席、返信がないといった方がいることは問題であると述べ、役職者の選任基準や、議長の責任や立ち位置について再度確認し次期予定者にもきちんと引き継いでいくよう呼びかけた。

・松浦前理事長：来月には東京での会議に対面での出席可能であると報告。皆さんと一緒に日本ライオンズの運営に努めていく、と宣言し挨拶された。

◇議事及び確認事項

1.外部監査報告

(1)外部監査報告

・廣田専務理事より監査法人による外部監査結果報告。資料については理事長指示により回覧での共有とされた。調査の結果、定款に違反する事実認められなかったことを報告。

ただし社団運用において一部に改善の余地があることが判明したことから、今後整備を進めていくとし改善計画を示した。

今回の監査結果と、年3回の外部監査を実施することにおいて理事会の承認を得る。

なお少なくとも一年は今回外部監査を行った法人へ依頼することについても理事会へ確認され、異議なし。

- ・主な改善計画として
 - ・プロセスの明確化：取引先選定ルールの既定化、一定額以上の外注に於ける相見積もりの義務化
 - ・管理対象の拡大：利益相反取引の管理を理事だけでなく、職員まで拡張すること
 - ・適正な会計処理：実態に即した勘定科目や、理事会への報告・承認プロセスの透明化
 - ・今後の方針
 - ・今期中の対応：整合性の取れる規定作りを今期中に進める
 - ・次期への引継ぎとして、質疑応答でも出されましたが、次期の役員も交えて問題点を洗い出し、内部統制を構築すべきとの意見が出され、その方針で進めることが確認された。

2.第108回香港国際大会(2026年7月3日-4日)最新情報

- ・国際大会委員長 伊賀理事より報告
 - ・仁科国際理事より冒頭の挨拶にて説明されたパレード代替イベントについては、国際本部より正式に案内された後に即時通知を行う。
 - ・現在の日本からの代議員登録者数の確認として、現在計 500 名であることを報告。さらなる登録を呼びかけた。
 - ・現時点での代議員朝食会参加予定人数及びバス利用予定者の報告がされた。バス利用予定者人数が代議員朝食会参加人数より少ないことについて、申込みに抜けがないよう、特に DGE とその同伴者の乗車について確認をいただくよう議長へ共有を行った。バス台数など詳細については今後の大会委員会で検討を行う。
 - ・大会記念頒布品(ポロシャツ)について、開会式、閉会式にて着用に推奨し、文書にて全国へ発信を行いたい旨を報告。国際大会委員会にて詳細を検討後に通知を行う予定。

3.4月4日 SON 第8回ユニファイドエールラン関係

- ・諏訪副理事長より説明
 - ・これまでの参加費及び参加者交通費の経緯を説明。交通費補助一人当たり 2,000 円の支払いについては2月に開催された第7回理事会で承認が行われていることを確認。登録料一人当たり 5,000 円については事後承認ではあるが、支払いについて承認。
 - 登録料各 5,000 円、交通費各 2,000 円、9 名分の支払いとなる。
 - ・SON 東京大会(2026年6月、9月)について
 - ・昨年より開催案内は届いており理事会でも共有を行っているが、MD330 内準地区には協力要請が届いているものの社団には具体的な協力要請は出されていないことが確認さ

れた。社団としては、先方より正式な協力要請がない以上、こちらから協力の申し出等は行わないこととする。ただし、今度なんらかの要請が出された場合には理事会での承認の上、必要に応じて SON 残余金から支援を検討する可能性は残すこととする。

4.年末から新年度の流れの確認

- ・廣田専務理事より説明
 - ・次年度執行理事会、理事会構成員の案が共有され異議なし。
 - 5月12日(火)に現・次期予定者打ち合わせ会議を開催のため、次期議長予定者の参加についての確認を現議長へ呼びかけ。
 - ・第63回 O S E A L フォーラムステアリング委員会参加者の確認(ベナン：5/22～5/24) MD地区年次大会と予定が重複していない MD331, MD333, MD335 新議長予定者及び津田次期副理事長予定者の参加が共有される。各議長には参加予定者が間違いなくステアリング委員会への参加登録を行っているか確認するよう呼びかけがなされた。

5.新年度予算案について

- ・廣田専務理事より報告
 - 4/20 に第1回目の財務会計資産管理委員会を行い、事業報告書を作成中であることが口頭報告された。

・仁科国際理事より提言：予算作成について、算出根拠を明確にして報告できるように組み立ててほしいことと、事業計画案についても予算との関係を説明できるように作成してほしいと発言。

6.総務人事関係

- ・廣田専務理事より報告
 - ・日本ライオンズ増澤事務長がかねからの体調不良のため3月31日付けで退職されたことが報告された。
 - 増澤事務長とは業務委託契約であったため、退職届を受理した事で委任契約を解除することを報告。
 - ・日本ライオンズ職員1名が5月10日付けで退職することが報告された。

7.各委員会からの協議及び報告

(1)会則委員会 渡邊会則委員長

- ・ライオンズ必修・役員必修の合本版の改訂・編集が概ね終了したことが報告された。
- ・田名部国際理事から要望を受けた、役員選出に於けるローテーションの扱いについて、推奨しないことを会則委員会の見解として、明文化し記載を行う予定であると報告。
- ・全320ページほどになるため、変動の激しい情報(名簿、統計資料、クラブ一覧、会費関係、連絡先等)はデータ版・印刷版ともに除外し、ウェブ掲載を予定。
- ・4月27日会則委員会で最終チェックを行い、承認後、データ版の配信を予定している。
- ・印刷版については発行を検討している段階。各地区に必要な部数を確認し、それに基づき印刷会社3社へ見積もりを実施する。
- ・現在編集された家の中で誤り等があれば、委員長まで連絡をお願いされた。

・今後の必携の修正・編集等の作業については専属の事務局員を置くことが望ましいが、今後委員会でも検討し理事会へ上程する。

(2)ライオン誌日本語版委員会 廣田委員長

・ライオン誌の発送業者の選定と承認
すでに承認されている、ライオン誌をすべてクラブ発送へ切り替える件について発送業者の選定を行なうべく、3社からの見積もり結果を提出。宛名商會に委託する事で承認。個人発送をすべてクラブ発送へ切り替えることで、約250万の経費削減につながることを報告された。

(3)国際理事候補者資格審査委員会 諏訪委員長

・4/13に開催された第3回委員会について議事録に基づき報告。
今年度の委員会を経て、委員会内におけるガイドラインの制定と、候補者に提出いただく誓約書を作成する件について池田法律顧問の協力の下、案を作成したことを報告。来期以降の実施へ向け、まずは次回執行理事会にて議案とする。

(4)アラート委員会 藤井委員長

・アラートフォーラム事業報告：3/13に大阪で開催。過去最高になる800名以上が登録され、参加者からも大変有意義なフォーラムであったと声が上がったことが報告された。

・今後の改善点として、雪による交通機関の乱れを考慮した開催日時の検討や、会費徴収方法については課題が挙げられた。

・次年度からは「日本ライオンズアラート委員会」ではなく「一般社団法人日本ライオンズ」主催での開催も検討。そのためアラート委員会では次期開催地は未定とした。

・収支報告として、赤字については開催地議長・アラート委員長により補てんを行った。
・第5回理事会にて承認されていたリーダー研修会会費として18万円を上限とした支払いを日本ライオンズより行うことについて、最終的な金額である169,950円の支払いを承認。

・次年度アラート委員会組織図について
アラート委員会での協議の結果を報告し、東日本・西日本統括リーダーの選任について理事会に意見を求めた。

協議の結果、東日本・西日本統括リーダー職は設置しない事で決定された。

(5)YCE委員会 濱田委員長

・春・夏季交換についてはMD間にて連絡を取り合い、調整を行っていた。
・「YCEの手引き」に掲載されている、YCEユニフォーム着用図の内容変更が報告された。
YCEベストについて、下に着る服装についての文言を追加。

服装、身だしなみのガイドラインを現代に即した表現に改訂し、「日本の親善大使らしい清潔感のある身だしなみを心がける」の文言で統一。

・前年度からの継続協議事項であった、日本ライオンズにてYCE事業・窓口を一本化する事については各MD委員より、難しいとの意見が多数であった。

今後のYCE事業の在り方として、キャンプのしおりをMDで作成・共有し、日本ライオンズで各地の受入や派遣状況を把握・共有を行うことから始めていく予定である。

・YCEの運営についてある程度統一したガイドラインを設け、情報交換やノウハウ共有、意見交換が出来る場を設けることについて理事会より提案。

YCE委員会内でも検討チームの設置の案が出ていることが報告され、次回委員会にて検討を行う予定である。

(6)10周年記念事業委員会 山崎委員長

・10周年記念事業として10kmマラソンイベントを行うことが報告された。
イベントのタイトル等、詳細については今後の委員会にて引き続き検討を行う。
・もう1つの事業として、1ヶ月にわたり全国8複合地区にて、8大重点項目に関する奉仕事業を全国同時に行うことを計画中。

・記念誌等制作についても予算や費用の概算が算出されており、調整が進んでいることが報告された。

8.グッドスタンディングガイドライン案の検討

・山崎副理事長より説明

・MD336 ガバナー協議会において、資料として提出されたガイドラインが承認され、4月30日より適用されることが報告された。

目的として、近年見られる組織内の乱れを正し、役員や会員がグッドスタンディングな状態であるための明確な基準を設けることであると説明され、各MDでも必要に応じて活用していただきたいと提案。今後も改正を重ねていくことを複合地区内で説明を行っている。

・グッドスタンディングについて明確な基準を設けることについて同意する意見が出る。
一方で、「一般社団法人日本ライオンズに意見を求め」という文言について、日本ライオンズが複合地区・地区での問題に直接的な裁定を下すことは大変難しく、日本ライオンズの立場としては理事会・執行理事会での相談、助言や提案を行うが、最終決定権はあくまでも当該複合地区にあることを明確にしたほうが良いという意見が出され、「一般社団法人日本ライオンズに相談を求め」等、変更案が提案された。

MD336では本理事会での協議を元に訂正決議を行い、理事会へ報告を行う予定。
・国際理事からの見解として、国際協会の理事会方針書では、具体的な不祥事(暴力事件、公序良俗に反する行為等)への対応が、各国の文化やローカルルールに委ねられている分がある。

これを踏まえ日本としてのスタンダードとして、公序良俗やコンプライアンスを重視したより厳格なガイドラインを構築し、グッドスタンディングの基準をより具体的にしていくことについて国際理事を通じて日本から国際協会へ働きかけを行っていくことも可能であるとし、まずは日本の意見をまとめることが重要であるので、しっかりと協議を行ってほしいと呼びかけられた。

また、各役職者選任基準のガイドラインについても言及があり、今後例会委員会とも検討を行ういつ社団としてのガイドラインを模索していく。

9. その他

- ・廣田専務理事より説明：
財務会計資産管理委員会での意見として、現在、各委員会が対面開催の際に各MD委員には旅費補助があるが、委員会委員長として参加する理事会構成員の旅費補助支給の可能性については総務人事委員会にて精査・検討していくことが報告された。
- また、今後の資産運用についての委員会設置が承認され今期中のスタートを目指す。

10.各種報告

(1)国際理事会(3月)決議要録 要約版の確認

- ・資料に基づき確認。田名部国際理事よりレオ会員をプロトコールへ追加を行った件など、特に重要である事項について補足説明が行われた。

(2)LCIF 報告

- ・鶴嶋 LCIF 理事より、LCIF の新しい取り組みである定額寄付プログラムについて説明と活用の呼びかけが行われた。

(3)公益財団法人日本ライオンズ活動報告

- ・小野寺公益財団理事長より報告
 - ・全国特別支援学校フットサル大会について
今年度の地区大会日程について説明。150 校程度の参加が見込まれる。スポーツを通じて知的障がいを持つ子供達の社会進出のベースを作ることが目的の事業であり、5 年をかけて軌道に乗ってきたと感じている。
 - 2026 年第 5 回全国特別支援学校フットサル大会全国大会は廣田専務理事の地元である姫路市で 11/6～7 に開催予定。
 - ・児童養護学校への学習支援(寺子屋事業)
現在 50 ヶ所の児童養護施設で NPO 法人・家庭教師と提携し学習支援を行っていることを報告。今後検討している事業として知的障がいのある方への就労支援を挙げ、支援体制の維持、強化が急務であるとし、財団への支援について協力を呼び掛けた。

(4)月次監査報告 森田事務局員

貸借対照表、正味財産増減計算書を元に、4 月 2 0 日に行われた月次監査について報告。特に異議の声なし。

◇閉会のあいさつ 諏訪副理事長

◇閉会宣言 廣田専務理事

議事録作成人：

常務理事 水沼 孝夫
常務理事 浜 一平

議事録署名人：

理事長 喜多 友一【押印省略】
監事 石橋 貞【押印省略】
監事 小林 聡【押印省略】

以上

一般社団法人日本ライオンズ 第11回理事会 議事録

1. 日 時： 2026 年 5 月 19 日 (火) 14:00 ～ 17:00
2. 場 所： 日本ライオンズ事務所 + ZOOM (ハイブリッド開催)
3. 出席者： (敬称略)

理事長	喜多 友一	(上田城南)	
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台) 【欠席】	
副理事長	山崎 もとみ	(大田)	
専務理事	廣田 晃一	(姫路中央)	
常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)	
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ)	
常務理事	車田 信彦	(玉川)	
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)	
常務理事	浜 一平	(岡谷)	
常務理事	津田 勝之	(大阪桜之宮)	
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)	
理事	伊賀 保夫	(東京ビース)	
理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
理事	濱田 浩平	(長崎南) 【WEB】	
理事 (前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	
理事 ('25-27 国際理事)	仁 科 良三	(長野みすず)	
理事 ('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸)	
理事 ('25-26 LCIF 理事)	鶴 嶋 浩二	(札幌中島)	
26-28 年度国際理事候補者	松 岡 勲	(京都南)	
監事 (MD332 元議長)	下 間 俊悦	(男鹿)	
監事 (MD333 元議長)	石 橋 貞	(足利西)	
監事 (MD335 元議長)	小 林 聰	(姫路広陵) 【欠席】	
監事 (MD337 元議長)	乗 田 泰	(伊万里)	
オブザーバー	池田 和司	(東京桜門)	
法律顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	
会計顧問	田中 俊彦	(上田城南)	
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷) 【WEB】	
25-26 理事長事務局補佐	(※出席状況：全 30 名中 28 名出席、委任状提出 1 名)		

議長： 喜多 友一 理事長
議事録作成人： 津田 勝之 (常務理事)、武永 健治郎 (常務理事) を指名。

【開会および事前報告】

開会挨拶: 喜多理事長

今年度の理事出席率が非常に良好であることへの感謝と、残り任期における職務を全うすることへの決意表明を行った。次期への引き継ぎおよび地区内の会員への日本ライオンズ・公益財団法人日本ライオンズの活動周知について協力の要請があった。また、小野寺理事長からも公益財団法人の認知度向上に向けた協力依頼があった。

国際理事挨拶:

田名部国際理事

5/22 より行われる第 63 回オセアニアフォーラムステアリング委員会 (マレーシア・ペナン) へ参加することを報告し、残りの任期も職務へ真摯に取り組んでいただきたい旨と、引き継ぎの徹底を呼びかけた。

仁科国際理事

香港国際大会におけるバレーの代替案となるイベントについて説明と、多くの方の参加を呼び掛けた。

鶴嶋 LCIF 理事

シカゴ本部での LCIF 理事会の参加報告。
交付金申請 180 件中 178 件が承認され、日本の申請手続きについて高く評価されている旨の報告があった。一方、交付金が出た後の完了報告書の提出徹底の要請と、およびライオンズクエスト関連の申請 (11 件) については実際にルールにのっとり運営が行われているか、対象となる学校の先生方が参加しているか等、議長が確認を徹底するように呼びかけられた。

また、今年度各委員会委員長に対し、資料を 2 部作成し一部は次期委員長へ渡し一部は社団へ残しておくことの提案を行い、次期への引き継ぎを間違いないと行っておりと呼びかけた。

公益財団法人日本ライオンズ 小野寺理事長

5 月で財団が設立から丸 5 年を迎えた報告と感謝が伝えられた。日本における寄付の事例を説明し、海外では同じように独自の財団を持っている国も多いことを説明し、日本における財団の存在について理解と協力を呼び掛けた。

松岡国際理事候補者

LCIF アンバサダーを務める立場から、現時点での日本国内の目標達成状況について報告。今期も残り少なくなったが、目標達成へ向けての協力の呼びかけを行ったあと、次年度に社団理事となる意気込みを述べられた。

松浦前理事長

治療が無事に完了し久々の参加となったことを報告。昨年度作成されたが治療のため第 4

回社員総会での発表とはならなかった 24-25 年度報告書を紹介し、昨年度・今年度と 40 円ずつの値上げを行い、次年度は社団としての真価が問われる年であるとし、慎重に運営を行っていくよう呼びかけた。

【協議および確認事項】

1. 第 10 回執行理事会 (5/7) からの審議事項

(1) 6/8 (月) 第 4 回定時社員総会 開催概要と議案の決定
内容および決議: 6 月 8 日開催予定の第 4 回定時社員総会の開催概要、および 4 つの審議議案について説明が行われ、原案通り異議なく承認された。

(2) 国際理事資格審査委員会 ガイドライン案および誓約書案の承認

内容および決議: 国際理事候補者資格審査の透明性向上のため、池田法律顧問と諏訪副理事長・倉田議長で協議を重ねた上で作成された「ガイドライン案」および「誓約書案」、同時に添付する国際会則等について説明され、原案通り異議なく承認された。

(3) アラート委員会運営規則改訂の承認

内容および決議: 藤井アラート委員長より前回第 10 回理事会での承認の通り、組織ス마트化の目的のため全域統括リーダー、統括リーダー、班長、副班長などの役職を削除する規則改訂案が説明され、拍手をもって承認された。

(4) 日本ライオンズ公式ウェブсайт 担当業者の決定

内容および決議: 各 MND を通じて募集し応募のあった制作会社 2 社による見積もり・PR マーケティング委員会でのアンケート実施結果を元に検討した結果、導入コストを抑えつつ WordPress による今後のカスタマイズが可能な「A 社 (株式会社ヒニアタ)」に決定した。新 H P については 9 月頃の完成を目指す。

2. 5/12 開催 現・次期議長打ち合わせ報告

(1) 次年度構成案

(2) 次年度スケジュール案

次期役員体制: 理事長予定者に山崎もとみ現副理事長、副理事長予定者に津田勝之現 MD335 議長・森川直之 MD334 次期議長予定者、専務理事予定者に倉田雅史現 MD330 議長、ほか常務理事として MD330、331、332、333、335、336、337 新議長予定者が報告された。

スケジュール案について、当初新旧理事会が予定されていた 7/14 にレベッカ・ダウ LCIF 事務総長が来日予定であることから、同三部制会議を 7/17 へ変更。

(3) 次年度事業計画および予算案

前回執行理事会後に寄せられた意見を反映し再度作成した案について経理担当職員より説明のあと、協議が行われた。

事業計画内に含まれる「還元」という文言について質問が出る。具体的な内容は今後の検討事項であると説明。松浦前理事長からは昨年度・今年度と賛助会費値上げを行なったばかりであることを考慮し、慎重に議論を行うべき内容であると指摘。

3. 第 108 回香港国際大会 (7/3-7/7) 最新情報の確認

仁科国際理事より香港国際大会最新情報: インターナショナルパレードが中止見込みとなり、代替行事として 7 日朝に太極拳を取り入れた世界記録への挑戦イベントが企画されている旨が報告された。

代議員朝食会参加予定者のうちバス利用を希望する 207 名に対し、チャーターバス 6 台 (総額約 85 万円・1 人あたり 4,000 円となる見込み) を手配。

代議員朝食会の次第案および役割分担を確認。司会は廣田専務理事が務める。通訳の手配については執行部で協議する。

その他: 大会記念ピンバッジについて、最低ロット数まで不足している数は国際理事候補者に追加購入いただくことを依頼し、頒布単価 520 円を維持する。

4. その他協議・検討事項

(1) 新議長セミナー開催の検討

決議: 日本国内 (日本ライオンズ事務所) にて、6 月 25 日 (火) 13:30 より開催する方向で承認された。対象は新議長、新/次期理事長・副理事長・専務理事。講師として設楽議長・OSEAL 調整事務局マーズ佐千事務局長へ依頼を出し、山田元国際会長にもご参加をお願いする。

当日の内容詳細については執行部にて検討。

(2) 第 9 回スベシヤルオリンピックックス日本 夏季ナショナルゲーム・東京 開会式 (6/5) 参加者の確認

確認事項: 現時点で仁科国際理事、小野寺理事長、喜多理事長、廣田専務理事、鶴嶋 LCIF 理事の計 5 名が出席することを確認した。

5. 総務人事関係

事務所セキュリティ強化: 現在別々になっている日本ライオンズとライオン誌の回線を統合し、相見積もりの結果、株式会社ルーマン社の提案 (5 年保証付帯) が妥当として契約を進めることが承認された。

その他 5/18 に開催された第 5 回総務人事委員会報告として、消防署への防災関係係届出の対応や災害時備蓄品について協議を行った結果や、出張命令書の改定 (役員補助対象に法人理事長等を追加)、夏季賞与 (1.5 ヶ月分 回覧にて確認)、給与改定の検討、職員面談の報告などが行われた。

香港大会へ派遣予定であった職員が退職のため、田崎職員を派遣する。飛行機のキャンセル手数料等についての説明を行った。次回総務人事委員会は 6/22 14 時から開催。

次年度給与改訂を検討するため、対面開催予定。

6. その他報告事項等

LCIF 理事会報告:冒頭で報告のため、省略。

公益財団法人日本ライオンズ活動報告:小野寺理事長より、全国特別支援学校アットサル大会地区大会（7～9月）および全国大会（11/6開催 姫路）日程の周知と、お近くの方にはぜひご来場いただきたいと呼びかけ。次年度の事業計画として、就労支援事業計画などが報告された。

月次監査報告:5/14に行われた監査について、経理担当職員より説明。異議の声なし。

委員会報告:

ライオン諮委員会:3月に退職した増澤事務長が担当していた誌面レイアウトについて春号は緊急対応が可能な企業に依頼。夏号以降は3社相見積もりにて発注先を決定する。その他今後掲載される記事の取材担当者を確認したなどが報告された。

10周年記念事業委員会:11月29日（日）に横浜ベイホテル東急にて式典（約400名対象）、また翌日には東京で社員総会を行う予定である。

10月31日（土）には都内で「フリーテンチャリティーション」としてチャリティーイベントを計画。総合プロデュースを第62回札幌オセアルフォーラム実行委員会にてフォローアップを成功裏に導いた実績から、331-A地区・寺町氏へ依頼することを満場一致で承認。

引き継ぎの徹底:全委員長に対し、1年間の活動履歴を文書化し次期担当へ確実引き継ぐことが提案・合意された。

今後のスケジュール確認:新旧理事会は7月17日（水）に開催する方向で最終調整に入った。第11回執行理事会（6/2）、第4回社員総会および第12回理事会（6/8）、最終理事会（6/17）の日程を確認し、閉会した。

以上、議事の経過および結果を明確にするため本議事録を作成する。

2026年5月19日
一般社団法人日本ライオンズ 第11回理事会

議事録作成人：津田 勝之
議事録作成人：武永 健治郎

議事録署名人：
議長（理事長）喜多 友一
監事 下間 俊悦
監事 石橋 貞
監事 乗田 泰

(2025-26 年度)
一般社団法人日本ライオンズ 25-26年度 第12回理事会議事要録
時：2026年6月8日(月) 11:00-12:30
場 所：日本ライオンズ事務所+ZOOM (HB 開催)

出席者リスト

理事長 喜多 友一 (上田城南)
副理事長(理事長代理) 諏訪 昇三 (札幌時計台)
副理事長 山崎 もとみ (大田)
専務理事 廣田 晃一 (姫路中央)

常務理事 倉田 雅史 (小田原白梅)
常務理事 設楽 幸子 (札幌アカシヤ)
常務理事 車田 信彦 (玉川)
常務理事 水沼 孝夫 (真岡)
常務理事 浜 一平 (岡谷)
常務理事 津田 勝之 (大阪桜之宮)
常務理事 武永 健治郎 (都城きりしま)

【Web】

理事 渡賀 保夫 (東京ビース)
理事 渡邊 俊弥 (仙台五城)
理事 佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
理事 藤井 信英 (岡山みらい)
理事 瀨田 浩平 (長崎南)
理事(前理事長) 松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
理事(公益財団法人日本ライオンズ理事長) 小野寺 眞悟 (札幌北の杜)

【欠席】

理事(25-27 国際理事) 仁科 良三 (長野みずず)
理事(25-27 国際理事) 田名部 智之 (八戸)
理事(25-26 LCIF 理事) 鶴嶋 浩二 (札幌中島)
国際理事候補者 松岡 勲 (京都南)

監事 (MD332 元議長) 下間 俊悦 (男鹿)
監事 (MD333 元議長) 石橋 貞 (足利西)
監事 (MD335 元議長) 小林 聡 (姫路広陵)
監事 (MD337 元議長) 乗田 泰 (伊万里)

【欠席】

【欠席】

オブザーバー

法律顧問 池田 和司 (東京桜門)
会計顧問 吉田 宗一郎 (東京武蔵野)
25-26 理事長事務局補佐 田中 俊彦 (上田城南)
25-26 理事長事務局補佐 小口 恒樹 (岡谷)

◇開会宣言

喜多理理事長

一年間の感謝の意を述べられ、社員総会での審議事項への協力を求め開会宣言した。

◇出席確認

専務理事 廣田 晃一

出席者の確認が行われ、理事会成立が宣言された。

◇議事録作成人の指名

専務理事 廣田 晃一

倉田常務理事 設楽常務理事 2名を指名。

◇あいさつ

- ・仁科国際理事：本日、午後の総会で話す予定のため、簡潔に挨拶した。
- ・田名部国際理事：一年間の理事会活動に対し感謝を述べた。
- ・鶴嶋 LCIF 理事：来期への提案を後ほど行う旨を述べ、LCIF 理事会報告書に基づきライオンズクエスツ関連交付金申請の注意事項を共有した。次期理事長予定者へ健康に留意して活動するよう伝えた。
- ・小野寺公益財団理事長：公益財団日本ライオンズ発足から6月10日で丸5年を迎えることへ感謝を述べ、5月末時点での寄付金額を報告した。
- ・松岡国際理事候補者：後半からの参加への感謝を述べ、国際理事就任への抱負と、次年度理事会について、力を合わせて進めていくことを呼び掛けた。
- ・松浦前理事長：理事長経験から、情報伝達や国際会長公式訪問などの課題および改善点に言及し、今後しっかりと議論を行い、日本ライオンズとして適切な運営を進めていくよう求めた。

◇審議

①香港国際大会 代議員朝食会バス利用料金の承認

伊賀国際大会委員長より説明。

- ・幹事公認 TC のウィントラベルの見積もりに基づき、代議員朝食会バス利用者について1人4,000円の負担金額を提示。妥当性を確認するため他 TC にも合い見積もりを依頼中。現状の金額で承認し、6月17日の最終理事会にて最終審議することとした。

②次年度事業計画案・予算案の承認

廣田専務理事より説明。

【事業計画】

- ・第11回執行理事会の協議を踏まえ経て、以下2点について変更。
 - (5)の国際大会、フォーラム関連費用の内訳修正。
 - (8)10周年記念事業予算の変更。

渡邊財務担当責任者より今回の予算案作成の意図の説明があり、全員賛成で承認された。

2

◇報告および確認

③6/8 第4回定時社員総会(全国ガバナー会)進行確認

廣田専務理事より説明。

- ・本人出席 53名、議決権行使書7名により、定款に基づき社員総会成立。
- ・議事録作成人は水沼常務理事、浜常務理事。議事録署名人は後ほど検討。
- ・審議事項 1-4 号議案と報告事項の内容・担当者・時間配分を確認。
- ・池田法律顧問より第4号議案「理事の任期満了に伴う改選案に関する件」については「案」と付く通り、理事候補者の選任と承認であり、正式な理事としての選任は新年度第1回の総会であるため、新理事長をはじめ役職者の選出もその後になる旨が補足された。

④7/13 第63回 OSEAL フォーラム実行委員会訪問の件

津田常務理事より5/22-24に開催されたステアリング委員会の報告。

- ・テーマは「Bridging the World（世界を架け橋をつなぐ）」。
- ・全体登録目標 7,000人のうち、日本には1500名登録の要請。
- ・日本からベナンへの直行便がない点が懸念事項。
- ・登録等はマレーシアリングビットでの決済。（早期登録は10/31まで）

【7月13日(月)フォーラム実行委員会が来日訪問】

- ・PRを行うため、ベナンよりフォーラム実行委員会より数名が来日予定。
 - ・場所は、名古屋で行われる LCIF セミナー後に時間を設ける。
- LCIF 日本のご厚意により会場は無償提供され、通訳は鶴嶋 LCIF 理事よりマーズ事務局長へ依頼済み。

- ・社団からの出席者は、新年度総会前であることから、今期執行部（理事長・副理事長・専務理事）、今期国際大会委員長と次期執行部予定者を検討。

LCIF セミナーに参加している次期複合地区議長、地区ガバナーへ出席を依頼する。

【その他】

- ・OSEAL フォーラム国際会長晩餐会（11/14に開催）出席者については、過去の参加数を見、日本からは200名程度を想定し、次期理事会で検討。

第63回オセアルフォーラムのホームページが開設されているので各自で確認をお願いする。

⑤香港国際大会最新情報

伊賀国際大会委員長より説明。

- ・国際大会公式通達および国際会則及び付則改正案第1項から第3項までを共有。
 - ・仁科国際理事からは改正案に関する意見が述べられた。
 - ・代議員朝食会にて仁科国際理事より詳細説明を行う予定。
 - ・日本としての投票行動をどのように行うかについては必要があれば喜多理理事長から代議員朝食会にてお知らせする。
 - ・6/4 第11回国際大会委員会開催の報告。
 - 各複合地区へ代議員朝食会受付者の依頼を行った。
 - 6/4時点で代議員登録者数は540名。大会登録者は1,570名。
- その他委員会で協議された事項について報告を行った。

3

⑥各種委員会報告

【ライオン誌委員会】

水沼ライオン誌副委員長より報告

- ・次期に向けた委員会の目的、意義、役割、発行のガイドラインを確認。
- ・7月号、8月号の台割りを作成
- ・春号の読者ブレゼントに多数応募。
- ・紙媒体のライオン誌作成を担当する事業者について3社見積もりを行い、事業者を決定。

【YCE 委員会】

濱田 YCE 委員長より報告。

- ・派遣人数の報告と調整を行ったほか、今期の振り返りと来期への課題を確認。
- ・今後の課題として、各地キャンペーン情報を日本ライオンズHPで共有したい旨の要望あった。
- ・YCE 事業の受付やキャンペーン検索に使用されている、国際協会ウェブサイト「国際ディレクトリ」が使いにくいとの意見が多く、OSEAL 調整事務局へ相談予定。
- ・昨年度より進めていた YCE 事業一本化を含む今後の YCE 委員会の在り方について、YCE 事業に精通した方数名を特別委員の形で委員会に関わっていただこうと検討。
- 仁科国際理事より、日本からの派遣国、受入れ地域の偏りを避けるよう要望。
- ・廣田専務理事より、日本ライオンズ事務局で Y C E に興味関心のある職員がおり、ぜひ委員会に関わっていただくことを提案。

⑦その他

【鶴嶋 LCIF 理事より来期への上程事項】

1. 入院している子供たちとその家族への支援を行っている公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウスと、LCIF、一般社団法人日本ライオンズの3団体パートナーシップについての提案。→異議なく承認。提携に必要文書等については LCIF にて作成を進める。
2. 国際大会での代議員朝食会の開催時間の変更について
国際役員は早朝からの会議など大変多忙である。国際役員の負担軽減のため、次年度より晚餐会形式とし、夜の開催を提案。→異議なく承認。
3. 議長とガバナーの兼任は受け付けないことと社団としての取扱いについて
今年度、議長とガバナーは役割が異なることと、大変多忙であり重要な役職であるため、それぞれの業務に専念してということから、議長とガバナーの兼任は避けていただきたい旨を文書で各複合へ通知済である。最終的には MD が決めることであるが、執行理事となる議長とガバナーを兼任する場合は執行理事として別の方を出していただく旨を提案。
現在、国際理事からも理事会方針書へ、役職者選任におけるローテーションを推奨しない内容と同時に、役割の違いから議長・ガバナーの兼任を推奨しないことを記載することを国際理事会へ提案していることが共有された。
社団においては、役割の違いを明記するため、定款や内規・ガイドラインの整備を検討する。
→異議なく承認。

【6/5 SON 開会式報告】

参加者は、仁科国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、松岡国際理事候補者、喜多理事長、廣田専務理事の5名が日本ライオンズより参加。
喜多理事長より開会式が盛大に実施された旨が報告された。

- ◇今後の予定
記載の通り
- ◇閉会の挨拶
諏訪副理事より閉会の挨拶が行われた。
- ◇閉会宣言
廣田専務理事より閉会が宣言された。

議事録作成人：
常務理事 倉田 雅史
常務理事 設楽 幸子

議事録署名人：
理事長 喜多 友一【押印省略】
監事 石橋 貞【押印省略】
監事 小林 聰【押印省略】

以上

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 最終理事会議事要録

◎日 時：2026 年 6 月 17 日(水) 16:00-17:00

◎場 所：旧軽井沢 ホテル音羽ノ森

出席者リスト

理事長

副理事長(理事長代理)

副理事長

専務理事

喜多 友一 (上田城南)
諏訪 昇三 (札幌時計台)
山崎 もとみ (大田)
廣田 晃一 (姫路中央)

常務理事

常務理事

常務理事

常務理事

常務理事

常務理事

倉田 雅史 (小田原白梅)
設楽 幸子 (札幌アカシヤ) 【欠席】
車田 信彦 (玉川)
水沼 孝夫 (真岡)
浜 一平 (岡谷)
津田 勝之 (大阪桜之宮) 【欠席】
武永 健治郎 (都城きりしま)

理事

理事

理事

理事

理事

理事 (前理事長)

理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)

渡賀 保夫 (東京ビース)
渡邊 俊弥 (仙台五城)
佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
藤井 信英 (岡山みらい)
濱田 浩平 (長崎南)
松浦 淳一 (岩見沢はまなす)

小野寺 眞悟

仁科 良三

田名部 智之

鶴嶋 浩二

松岡 勲

(札幌北の杜)
(長野みすず) 【欠席】
(八戸)
(札幌中島)
(京都南)

監事 (MD332 元議長)

監事 (MD333 元議長)

監事 (MD335 元議長)

監事 (MD337 元議長)

下間 俊悦 (男鹿) 【欠席】
石橋 貞 (足利西)
小林 聰 (姫路広陵) 【欠席】
乗田 泰 (伊万里) 【欠席】

オブザーバー

法律顧問

会計顧問

25-26 理事長事務局補佐

25-26 理事長事務局補佐

池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】
田中 俊彦 (上田城南)
小口 恒樹 (岡谷)

◇開会宣言

喜多理事長

遠方からの出席に対する謝意が述べられた。また、この 1 年間は様々な課題もあったが、理事各位の協力により無事に運営することができたことへの感謝が示された。理事長として多くの学びを得た 1 年であったと振り返るとともに、本理事会が年度最後の理事会となることから、参加者に対し懇親会や軽井沢での滞在を楽しんでいただきたい旨が述べられ、1 年間の支援・協力に対して改めて感謝の言葉があった。

◇出席確認

出席者確認、理事会成立を宣言

専務理事 廣田 晃一

◇議事録作成人の指名

専務理事 廣田 晃一

車田常務理事 水沼常務理事 2 名を指名

◇あいさつ

・仁科国際理事

本理事会の開催される軽井沢の自然環境や歴史、景観保全への取り組みについて紹介があった。また、軽井沢の魅力を感じていただき、今後も訪れてほしいとの歓迎の言葉が述べられた。

本年度は様々な課題があったが、理事会が一致団結して乗り越えてきたことに敬意が表され、その経験と勢いを来年度の 10 周年事業、さらには将来の発展につなげてほしいと挨拶を行った。

・鶴嶋 LCIF 理事

今年度理事会に対し、この 1 年間の労をねぎらう言葉があり、多くの課題を一つずつ解決しながら活動を進めることができたことと振り返りと、日本ライオンズの活動を通じて、友情や交流が築かれており喜ばしいことであると述べた。

今期で退任する理事には今後の地区活動での活躍を期待するとともに、継続して務める役員には新任者への指導と社団のさらなる発展への協力をお願いした。

・小野寺公益財団理事長

公益財団法人日本ライオンズ設立以来の経緯について説明があり、設立から 5 年を経て徐々に理解が深まり、活動が定着してきているとの認識が示され、財団の活動に対する理解と協力への謝意が述べられた。

さらに、世界の多くの国や地域で独自の財団を有していることに触れ、世界各国で財団の果たしている役割について説明。

・松岡国際理事候補者

日本ライオンズ発行＜2025-26-理-M13＞
2020 年から社団に関わってきたことを振り返り、日本ライオンズ 10 年間の中で一時期的に理事会と国際各役職者との連携が希薄となった時期もあったが、近年の関係者の努力により、本来あるべき連携体制が再構築されつつあると話した。

これまで積み重ねられてきた活動が今後の社団の発展につながるとの期待を示し、今後も力を合わせて社団と財団の連携の重要性を各地域へ伝えてほしいとの要請があった。香港国際大会終了後、次年度から新たな立場で日本ライオンズの活動に携わる予定であることが報告され、今後も引き続き協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

・松浦前理事長

社団設立 10 年を迎えるにあたり、今後も意識を統一し連携しながら、理事会構成員へ地区ガバナーのうち数名に加わっていただくことなど、より良い組織運営のための検討を行っていただき、今後の発展を目指して進んでいただくよう呼びかけた。

◇審議

1. 香港国際大会 代議員朝食会バス利用料金最終審議

・伊賀国際大会委員長より説明

代議員朝食会会場へのバスの手配について 3 社見積もりを試みたが、新たに見積もりを依頼した 2 社が辞退を申し出たことを報告。

前回の理事会で承認された通り、バス利用料金として、一人あたり 4,000 円とすることを決定。

2. 旅費規程関係

・ANA 料金体系変更に伴う旅費計算方法の検討

・廣田専務理事より資料に基づき説明：5/19 搭乗分より ANA が従来の料金体系を変更したため、現在の旅費補助規程で定められている航空運賃計算方法について再度検討が必要。協議の結果、新料金体制のうち「シンブル」を旅費計算の基準として適用することを決定。

◇報告及び確認事項

①香港国際大会直前情報

最新情報について分かり次第お知らせを行う。特に役職に就いている方は公式で設定されている行事へ積極的に参加をいただきたい。

②公益財団法人日本ライオンズについて

小野寺公益財団理事長より説明。

全国特別支援学校フットサル大会について、次回は全国大会を姫路で開催。150 校位の参加があると予想される。ぜひ観覧をお願いしたい。

日本ライオンズ発行＜2025-26-理-M13＞
養護施設の子供たちへ学習機会を提供する寺子屋事業についても順調に規模を拡大中であり、この 2 つの事業については完全に軌道に乗ることができた。

既存の事業での実績を元に、特別支援学級の子供たちを対象とした就職支援を行う新規事業を準備中であることが説明され、まずは MD331 にてパイロット事業を行う予定であることを報告した。続いて現時点での寄付の状況を確認し、お礼と今後の協力を呼び掛けた。

③次年度関連事項

(1) 新議長セミナー(6/25)開催概要

廣田専務理事より資料を元に当日の概要を説明。特に異議は出なかったため、本日説明した通りの方向性で進める予定。

(2) 新年度への引き継ぎ事項

(2-1)議長・ガバナーの兼任について

一般社団法人日本ライオンズ 複合地区議長選任について今年度理事会で制定したガイドライン案を再確認。議長とガバナーの兼任を避けていただくことの理由について説明。

最終的に人事を判断するのは複合地区であるが、議長・ガバナー、そして社団理事会構成員の兼任は大変負担が重くなるため、兼任の場合は執行理事としては別の方を選出いただくことを検討することも視野に入れる等、再度理事会構成員で共有と意思統一を行った。

(2-2)マークライオン次期国際会長 公式訪問会場について

松岡国際理事候補者より報告。

公式訪問および晩餐会は京都で 12 月 7 日に予定していることが周知された。

会場は 3 社見積もりを行った結果、過去の実績なども考慮し、ホテルオークラ京都を予定している。

(2-3)オセアラルレオフォーラム 2026 ペナン 案内配信について

MD335 レオ委員会委員長より、ペナンで行われるオセアラルレオフォーラム 2026 について、案内通知発信の依頼があったことが報告され、日本ライオンズより各複合地区へ通知を行うことを共有。

④各種委員会・行事等報告

(1) 6/9 資産運用委員会 (旧：投資委員会)

喜多理理事長より今回は 6/25 開催であり、そこで詳細な検討を行うことを報告。

(2) 6/16 第 10 回 10 周年記念事業委員会

山崎委員長より：総合プロデュースを担当する寺町氏にも出席を頂き、委員長からも現在の懸念点など質問を行い不安点などが解消された。今後スピード感を持って進展していくと思われる。

(3) 6/10～11 ミッション 1.5 サミット報告

日本ライオンズ発行<2025-26-理-M13>
山崎副理事長より報告：キャンペーンを通じての奉仕というテーマで、実例をあげて話し報告。GAT 関係者、新議長、ガバナーエレクトを交えての会議は非常に良かったと報告された。

(4)月例監査報告

渡邊財務担当理事より資料に基づき報告

森田事務局員から補足説明

特に意見なしであった。

◇その他

公益財団法人日本ライオンズ 小野寺公益財団理事長より報告

・公益財団法人日本ライオンズ事務所を移転する計画があることが報告された。

◇今後の予定

時間の都合上見ておいてくださいと専務理事より通達

◇閉会のあいさつ

副理事長として理事長を支える立場でしたが、実際には理事長をはじめ、国際理事、LCIF 理事、そして理事会の皆様を支えられながら務めることができました。心より感謝申し上げます。来期はまた違った立場となりますが、日本ライオンズのさらなる発展のため、引き続き力を尽くしてまいります。一年間、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

◇閉会宣言

廣田専務理事

議事録作成人：
常務理事 車田 信彦
常務理事 水沼 孝夫

議事録署名人：
理事長 喜多 友一【押印省略】
監事 石橋 貞【押印省略】

以上

第5回アラート委員会 (WEB) 議事要録

2026 年 4 月 13 日 13:30-15:00

ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2025-26 年度 理事長	喜多 友一	(上田城南 LC) 【欠席】
2025-26 年度 副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC) 【欠席】
2025-26 年度 副理事長	山崎 もとみ	(大田 LC)
2025-26 年度 専務理事	廣田 寛一	(姫路中央 LC)
2025-26 年度 アラート委員会委員長	藤井 信英	(岡山みらい LC)
2025-26 年度 アラート委員会副委員長	車田 信彦	(玉川 LC)

2025-26 年度 アラート委員

330 複合地区	大屋 保	(川越 LC) 【欠席】
331 複合地区	浅野 敬一	(北見中央 LC)
332 複合地区	門馬 弘	(原町 LC) 【欠席】
333 複合地区	三枝 久夫	(佐野西 LC) 【欠席】
334 複合地区 (MD 兼任委員会委員長・GST CN)	山本 基博	(恵那 LC)
335 複合地区	坂本 恵市	(松原 LC) 【代理出席】
336 複合地区	廿日出 一晴	(東広島あきつ LC)
337 複合地区	高野 裕子	(熊本平成 LC)

2025-26 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	新里 正雄	(沖縄 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畑中 隆之	(岡山みらい LC)

以上

1. 開会宣言 一般社団法人 日本ライオンズ・アラート委員会委員長 藤井 信英
2. 一般社団法人 日本ライオンズ副理事長 挨拶 山崎 もとみ
3. 出席者の確認
4. 議事録作成人の指名 MD336 廿日出委員を指名
5. 議題 確認事項および協議事項
議題1：アラートフォーラムIN大阪の報告
坂本アラートフォーラム大会委員長からの報告
(元西日本統括リーダー)

1. 開催趣旨とテーマ

- ・ テーマ：「オールライオンズの力」
- ・ 狙い：＊大規模災害に備え、組織の「縦割り」を排し、アラート委員会、LCIF（ライオンズクラブ国際財団）、各委員会が連携する体制の布石とする。
 - 参加者が「自ら考え、どう動くか」を意識するきっかけ作り。
 - 「オールライオンズ」として総力を挙げた災害支援のポテンシャルを最大限に引き出す。

2. プログラム構成と実施内容

【午前：分科会】

- ・ リーダー研修会（ガバナーチーム、LCIF・アラート関係役員対象）
 - 全国のガバナーチームに参加していただいた地区が、地区ごとの参加率に差があり、参加ゼロの準地区が6つあった一方、多数の参加者のある地区など、熱意の差が課題となった。
- ・ マッチング分科会（ZC、RC、一般会員対象）
 - 210名が参加。具体的な活動事例の発表が行われ、実りある研修となった。

【午後：メインフォーラム】

- ・ 参加規模：登録者800名超（過去最大・満席）。
- ・ 基調講演：山口大学名誉教授・三浦先生による「巨大災害のリスク」
 - リアルなデータに基づいた講演により、参加者の危機感を醸成。
- ・ 第2部：事例発表
 - 全国のLCの先進的な取り組み（クラブ・ゾーン単位）の紹介。
 - アラート活動におけるLCIFの具体的な活用法（準備・フォローへの適用）を提示。
- ・ 第3部：パネルディスカッション
 - テーマ：日本ライオンズのリーダーによる本音の議論。
 - 一般社団法人、公益財団法人、LCIFなど、各立場の考え方の違いを「あえ

で浮き彫りにする」ことで、参加者に問題意識を持たせ、一歩踏み出す刺激を与えた。

【交流会】

- ・ 参加者367名。地区の垣根を越えた活発な交流が行われた。
3. 反省点と今後の課題
 - ・ 開催時期の検討：降雪により北海道からの参加者がフライトキャンセルに見舞われたため、冬期を避けるなどの配慮が必要。
 - ・ 登録・入金システムの改善：個人の直接申し込みを推奨したが、企業名等での振り込みにより照会が困難な事例が発生。地区取りまとめ方式の利便性を再検討する。
 - ・ QRコードによる入場管理が徹底されず、正確な人数把握に課題が残った。
 - ・ ユニバーサル対応：＊身体障害者（5名）への配慮が不足していた。今後は案内文にサポートの要否を確認する項目を設け、席の確保や誘導体制を整える。
 - ・ 運営組織の明確化：実行委員会のカテゴリー（役割）ごとに責任者をより明確に設定すべきであった。
 4. 結びと決算
 - ・ 総括：マンネリを打破し、各地区の温度差を解消して「オールライオンズ」として結束する大きなきっかけとなった。
 - ・ 決算：未収金の回収をもって確定。数万円の赤字分については、MD335 津田議長・古川アラート委員長の両名で補填することで解決済み。

議題2：次年度（来期）のアラートフォーラム開催について

1. 主催および決定権の所在

- ・ 主催の変更：今期の日本ライオンズ・アラート委員会主催から、来期は一般社団法人日本ライオンズ本体の主催で開催したいという意向が出た。
- ・ 決定時期：喜多理事長からの伝言により、来期の新委員8名が揃ってから、開催地などの詳細を決定する方針。

2. 開催時期に関する検討事項

- 例年通りの時期（2月～3月）が望ましい反面、来期特有の事情を含め以下の懸念点が挙げられた。
- ・ 社団10周年の影響：来期は社団の設立10周年にあたるため、その行事とも兼ねたい。
 - ・ 会場確保の難しさ：社団日本L主催の場合、来期からの会場確保は物理的に厳しい可能性がある。
 - ・ 気象リスク：2月～3月は雪害（飛行機の欠航等）のリスクがある。

- スケジュール鑑合： 4月～5月は各地区・複合地区の年次大会が重なる繁忙期。
6月は期末間近のため、開催タイミミングとして適切か議論の余地あり。
- 3. 今後のスケジュール（見直し）
次期体制への移行に伴い、以下のステップで進む予定。
 1. 4月～5月：次期議長により、次期委員の内定が進められる。
 2. 7月以降：期が変わり、新体制へ移行。
 3. 8月以降：第1回社員総会を経て、第1回委員会を開催。
 4. 協議：次期理事長との打ち合わせや、東西のリーダー選出に関する社団内での意見集約を行い、次の理事会で判断を仰ぐ。

議題3：次年度の組織体制および規約改正について

1. 審議の背景

次年度に向けた組織の簡素化の一環として、班長・副班長の廃止は概ね合意されている。一方で、現行の「東日本・西日本統括リーダー」のあり方、およびその選任基準について、委員長より検討課題が提示された。

2. 主な発言内容

【組織のあり方と必要性について】

- 藤井委員長：統括リーダーがアラート委員会の正式メンバーではなく「アラートチーム」の構成員という位置付けである点に触れ、各MDから選出される委員（4名ずつ）の中からリーダーを選任する形（組織のインライン化）も1つの案として提示。

喜多理事長の意図は「廃止」ではなく「スマート化（効率化）」。各地区・MDにアラート委員会が整備された現状、社団独自の役職（東西リーダー等）が重複しているのではないかとという問題提起。能登の震災時の対応を踏まえ、国際理事等からも組織のあり方について声が上がっている。

- 山本委員：組織はできるだけシンプルにすべきである。
- 浅野委員・廿日出委員・高野委員・新里アドバイザー・畑中リーダー・木村リーダー・坂本元リーダー：災害発生時の対応を考慮すると、東西のリーダーは引き続き必要である。
- 廣田専務理事：事務局としては統括リーダーに動いてほしいという要望がある。ただし、委員会内での位置付け（委員長・副委員長との連携ライン）を明確にする必要がある。

【専門性の維持と人材選定の課題】

- 木村リーダー・廿日出委員：アラートは専門性が高く、レベルを落とすべきではない。MD 委員長の中からリーダーを選ぶ案は良いが、精通していない人が入るこ

とで組織が後退することを懸念。

- MD335 委員長代理・坂本元リーダー：最終的には各地区の支援力が高まれば社団の委員会は不要になるかもしれないが、現在はまだその段階にない。精通した人間が継続して関わる仕組みが必要。

【選任基準（精通度）について】

- 廿日出委員・高野委員・新里アドバイザー：アラート業務や災害支援に精通した人物が担当しなければ、有事の際に適切な機能が果たせない。
- 木村リーダー：規約上の「目的」が啓発・啓蒙なのか、直接支援なのかによって必要なポジションが変わる。現状、後任東日本リーダー適任者の選出、適正者がいない難しい状況もある。

【社団理事会および選出方法の懸念】

- 山崎副理事長：過去の理事会にて「複合地区の組織外から委員を出すべきではない」との指摘があった。選出人材については社団側との確認が必要。また、ライオンズの使命は「後方支援」であるという基本方針を再認識すべきである。
- 廣田専務理事：過去に他地区から組織運営について厳しい意見が出た経緯もあり、組織内の合意形成が重要である。

3. 結論および今後の進め方

本件については、本日欠席の委員も多いことから、この場での決定は避け、以下のプロセスで継続審議とすることとした。

1. 社団理事会への提案：藤井委員長より社団理事会へ本件を諮り、意見を聴取する。
2. 次期理事長予定者との協議：統括リーダーの選任権は理事長にあるため、次期予定者と協議を行う。
3. 来期への引き継ぎ：資金規定や細かな規約改正については即時決定が困難なため、次期委員長候補（車田副委員長）を含め、来期も継続して検討を行う。

決定事項

- 班長・副班長職：来期より原則廃止の方向。
- 東西統括リーダー職：存続を含めた組織図の整理および選出基準について、社団理事会と調整の上、継続審議。

議題4：地区の活動やその他

地区の現在の活動や今後の（社）日本Lアラート委員会についての報告や意見。

1. 準地区アラート委員会存続への懸念

- 浅野委員：331 各準地区アラート委員会の縮小・廃止への危惧を表明。現場（ガバナリー等）はフォーラムを通じてアラートの重要性を再認識していただき、委員会を大事にしてほしいと要望。

2. MD アラート委員長の人選

- 人選の現状: 議長との人間関係だけで選ばれるケースや、知識がないまま委員長になるケースもある。
 - 習熟した頃に任期が終わってしまうという構造的課題。
 - 委員会レベルを落とさず後継者に引継ぎの問題。
3. 役割の明確化と実務上の提案
- 山本委員: * 支援金と義援金の区別: 一般会員に浸透していないため、運営規則で明確に打ち出すべき (支援 = 実働や物資への活用、義援 = 被災者への分配)。
 - 高野委員: MD 内での災害レベル判定の統一など、大規模災害に備えた基準作りを検討。

4. 今後の方向性

- 啓蒙活動へのシフト: 社団の役割は、各 MD・準地区の自立を促し、その支援力を高めるための啓蒙活動に専念すべきという意見 (坂本元リーダー)。
- 次期理事会での協議: 藤井委員長がこれらの意見(専門性の維持、選任方法の改善、組織のあり方) を集約し、来週の理事会で指示を仰ぐ予定。

6.次回開催日は6月中旬を予定。

7.閉会の挨拶 日本ライオンズ・アラート委員会副委員長

車田 信彦
以上

議事録作成者: MD336 廿日出

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第4回 YCE 委員会【対面】議事要録

◎日 時: 2026 年 2 月 18 日 (水) 14:30~17:00
◎場 所: 一般社団法人 日本ライオンズ 会議室

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長	喜 多 友 一	(上田城南)	【欠席】
理事長代理 (副理事長)	諏 訪 昇 三	(札幌時計台)	【欠席】
副 理 事 長	山 崎 も と み	(大田)	
専 務 理 事	廣 田 晃 一	(姫路中央)	
YCE 委員会委員長	濱 田 浩 平	(長崎南)	
YCE 委員会副委員長	津 田 勝 之	(大阪桜ノ宮)	

25-26 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員	田 代 哲 也	(南足柄)
MD331 委員	佐 藤 豪 一	(帯広かしわ)
MD332 委員	渡 部 政 介	(郡山西)
MD333 委員	星 野 勝 美	(太田)
MD334 委員	今 泉 雅 雄	(豊橋南)
MD335 委員	団 英 男	(神戸みなと)
MD336 委員	住 吉 孝 文	(玉野)
MD337 委員	中 川 誠	(宮崎フェニックス)

オブザーバー

日本ライオンズ事務長 増 澤 義 治 (諏訪湖)

以上

1. **開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会 委員長 濱田 浩平**
一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 濱田 浩平が開会を宣言。
・今期の活動を踏まえ、今期の活動状況と来期に向けた引継ぎ事項を検討したい。
・MD335 の団員が、トップ 10YCE 委員長を受賞された件について改めて祝意を表明。
2. **一般社団法人 日本ライオンズ 副理事長挨拶 山崎 もとみ**
・欠席の喜多理事長に代わり、山崎副理事長が挨拶され、YCE 委員会の各委員へ日頃の YCE 活動への取り組みに感謝を伝えられた。
3. **出席者の確認**
濱田委員長により、出席者が確認された。
・喜多理事長、諏訪副理事長は欠席。
・MD330 佐藤委員、MD333 星野委員は交通事情により少し遅れて出席。
新たに就任された、廣田専務理事（前年度前期 YCE 副委員長）より挨拶。
4. **議事録作成人の指名**
濱田委員長から、MD334 今泉委員が指名された。
5. **議題 確認事項および協議事項**
(1) **前回議事録の確認**
・12月4日に Zoom で 実施された前回の議事録内容を確認し、承認された。
・主な議題は以下の通りであった。
今年度冬季派遣の最新状況と問題点の協議および春夏の交換予定の共有。
(2) **冬季派遣の振り返り**
① 最終交換数の確認
資料に基づき、冬季派遣・受入の最終人数を確認した。
【冬期派遣実績：合計人数：24 名】
MD332：マレーシア (2 名)
MD334：イタリア (4 名)、ドイツ (4 名)、台湾 (4 名)
MD335：マレーシア (2 名)
MD336：台湾 (4 名)
MD337：台湾 (3 名 / 337C・337E 地区より MD336 へ)
マレーシア (1 名 / MD335 へ)
MD330、MD331、MD333 は派遣なし。
【冬期受入れ実績：合計人数：56 名】
MD330：マレーシア (3 名)
MD332：マレーシア (1 名)

- MD334：イタリア (5 名)、ドイツ (4 名)、マレーシア (10 名)
MD335：マレーシア (15 名)
MD336：台湾 (10 名)
MD337：シンガポール (8 名)
MD331、MD333 は受入れなし。
② 各 MD より情報共有・今後の申し送り等
MD334 より、冬期のヨーロッパからの来日生の帰国フライト便が、政局の影響から中国系航空会社のフライトキャンセルが相次ぎ、対応に苦慮したとの報告があった。新しいチケット料金は相手国が負担し無事に帰国。
この問題は成田や羽田では影響は少ないがセントレアや関空の便については当分続くと思われる為、今後の派遣・受入計画において、該当する中国系航空会社を避けるよう通知する方針。
航空券代の上昇が懸念されるが、香港経由であれば価格変動は少ないとの見解が示された。
- (3) **次年度春・夏季事業交換予定の共有**
① 各 MD 交換人数の確認
資料に基づき、春・夏季派遣・受入の予定人数を確認した。
MD330：春期の派遣は、タイへ 4 名、サイパンへ 2 名。
受入れは、タイから 3 名。
夏期は、MD4 に 4～6 名を調整中。受入れは、計 18 名を計画。
MD331：派遣は 3 名（フィンランド・フランス・スイス）、残り 2 名検討中。
受入は、現在 5 名だが、15 名分の枠を確保している。
MD332：派遣はノルウェー 3 名、フランス、イギリス各 1 名だが 6 名を目指す。
受入は、スペイン、ノルウェー、フランス、イギリスで約 8 名。
MD333：派遣は、フィンランド、チェコスロベキア、ドイツ、フランス、ルーマニアで 6 名確定。米国ウィスコンシンに 1 名追加の可能性あり。
受入は 9 名で確定済み
MD334：派遣は、ヨーロッパに 10 名、マレーシアに 9 名の 19 名を予定。
受入は、ヨーロッパ 16 名、台湾 4 名の、20 名の予定。
MD335：派遣は 未定。
受入は、335B 主催の国際キャンプで 16 か国 19 名の希望あり。
MD336：派遣・受入共に、台湾にて 10～15 名を予定。台湾とは日程調整中。
MD335、MD337 分もまとめて調整する。
MD337：派遣はシンガポールへ 12 名決定。受入れはない。
② 各 MD より現状報告 その他共有事項など報告
【MD 間の派遣・受入枠の調整】
・MD335 より、東マレーシア (308A2) から夏期に 6 名の受入れ希望があり。

同人数の派遣も可能。MD336、MD337に打診中。

同じくマレーシア（308B2）地区から、7月に10名前後の派遣可能との提案があった。

・MD337より、シンガポール派遣枠12名に対し、25名の来日希望者があり他MDに支援の依頼があった。

【海外からの YCE プログラム 現状と課題 問い合わせへの対応】

- ・海外からの問い合わせ窓口が統一されておらず、各複合地区が個別に対応。
- ・各MD共に、YCE公式リストにない国（例：北インド）や、LINE、親族経由など非公式ルートからの申し込みがあり、対応に苦慮している。
- ・特に、国際ディレクトリに掲載の、MD332、MD333は顕著である。

※対応策として

- ・スポンサーがライオンズクラブではない案件は受入ない方針を確認。
- ・各地区での個別対応は継続するが、緊急時はLINEグループで相談する。
- ・提携外からの問い合わせには「キャンプは満席です」と回答し、やりわりとお断りする。
- ・各MDが個別に対応した場合の日本ライオンズYCE委員会における「報告」についで目的が不明確との指摘もあった。

【ユニフォーム（YCE ベスト・ジャケット 現状と課題）に関する検討】

- ・MD330より、派遣生の統一ユニフォームについての質問があった。
- ・MD335より、現在の白ベストタイプのユニフォームが、マレーシアなど服装に厳しい国では「だらしない」と相手国より不評。
- ・ブルージャケットは高価（一着2～4万円）だが、YCEメンバーと判りやすい。
- ・白ベストは安価でサインを書き込めるなど利点を考え、コンペを行った上で導入された経緯がある。寄せ書きなど好評な面もあり、現在のマニュアル（YCEの手引き）にはユニフォームとしてジャケット・ベストの両方を記載している。

※対応策として

- ・ポロシャツやYCEエンブレムを統一する案や、ポロシャツの上にベストを着用する案が提案された。
- ・マレーシア派遣メンバーには、各自でブルージャケットを用意してもらう暫定対応をとっている。
- ・今回は結論に至らず、次回までに各地区で意見を持ち寄り、全員が統一感を持てる着用方法を再検討することになった。

【国際ディレクトリのシステムに関する問題点】

- ・現在のExcelベースの国際ディレクトリは、入力が難しく情報反映も遅いと多数の意見有り。
- ・以前は地図上でキャンプ地を確認できる判り易いシステムだったが、変更になった理由が疑問である。

※対応策として

- ・LCIの問題であるので、国際理事を通じてLCIへ改善を働きかけるべきとの意見で一致した。

【各MDから寄せられた YCE 業務の問題点】

- ・海外からの問い合わせ対応や調整業務が、各MDの事務局や委員長への負担増大となっている。
- ・担当事務局員の不在や退職により、委員長が業務を抱え込む状況。
- ・委員長が毎年交代する為の引き継ぎの困難さが指摘された。
- ・現在の窓口担当国の一覧は原則として維持し、フリー国での派遣希望には個別対応する方針を確認。

※対応策として

- ・MD332が既に対応用に英語での断り文の雛形を作成しており対応を進めていることが確認され、各MDにて共有する。各MDにて雛形の使用については判断する。

(4)今後の YCE 委員会方向性について

- ①現状の総括と次年度へ向けての引き継ぎ事項について

【ユースキャンプの運営について】

- ・MD333よりユースキャンプ運営における日本人青少年の参加について、各MDの事例の確認があった。
- ・MD336：レオクラブを持つクラブでは、レオクラブのメンバーをキャンプに参加させている。冬のキャンプでは受入10名に対し、レオクラブから8名が参加した。
- ・MD337：派遣経験者であるYCサポーターが主体となりキャンプを運営。
来日生8名対し6名のサポーターが付き、常に参加者と行動を共にし、交流を深めた。
- ・MD332：来日生1名に対し、レオやボーイスカウト、地元の高校生・大学生などを複数名配置する形式でキャンプを実施。
最終日には、来日生が日本語で感想を発表する交流も行っている。
- ・MD334：20年以上前から存在する「ユースキャンプ 連絡会」のルールに基づき、OB/OGのスタッフが中心となって運営。
各地区からOB/OGを1名ずつ出し、主体的に活動させている。
- ・MD331：授業の単位取得を目的として参加する高校生もあり、食事中やスポーツなど、運営側の手が届かない部分でのサポーター役として貴重な存在となっている。
- ・以上の事例のように、英語が堪能な日本の若者をオブザーバーとして参加させた結果、通訳などで活躍し、本人たちにも良い経験となった。
今後はOB/OGだけでなく、一般の若者も積極的にキャンプに参加させる案が提起された。

【ユースキャンプの費用負担と資金調達について】

- ① ユースキャンプ参加サポーターの費用
- ・キャンプに参加する日本人サポーター（OB/OG、学生など）の費用は、多くの

MD では準地区の予算から捻出している場合が多いが、MD の予算を活用している事例もあった。

- ・交通費を準地区で均等に負担している MD もある。
 - ② ユースキャンピングプログラムの運営費用。
 - ・基本的に費用は準地区が負担するが、現状厳しい予算である。
 - ・MD330 の主な財源は、送別会（フェアウェルパーティー）の会費収入である。
- なお、東京ではオリンピックセンター等の安価な宿泊施設を利用し、費用を抑えている報告があった。

【ホストファミリー確保の現状と対策】

- ・MD331 より、ホストファミリー探しに苦労しているとの報告。（各 MD 共通である）
- ・高齢化の影響で集まりにくい状況にある。
- ・クラブ内での YC 活動の認知度が低く、世代交代も課題となっている。

※対応と事例

- ・若いクラブ会員への理解を促進するため、YC 活動の PR を重点的に実施した結果、世代交代が進み、快く引き受けてくれる家族が増えている。
- ・MD330 では、小さい子供がいる家庭も積極的に活動に参加している。
- ・MD337 では、冬の受入の場合、夏の段階で募集を開始している。

【YCE プログラムに関する手引きの確認】

- ・昨年 2025 年 6 月 22 日改定分の手引きが確認された。

【WhatsApp（メッセージアプリ）のセキュリティについての問題】

- ・MD332 から、マレーシアで WhatsApp の不具合（詐欺メッセージ）が発生。ショートメール経由のリンクからアカウントが乗っ取られる事案が報告された。
- ・MD335 からは、マレーシアのホストファミリーが金銭を要求する偽の指示が出た事例も共有された。

※対応策として

- ・LINE など別の連絡手段への変更や、オリエンテーションでの注意喚起が必要との意見が出された。

【将来的な体制に関する提案】

- ◆ YCE プログラムに関する窓口の一本化
- ① 現状の課題
 - ・各 MD、準地区で対応がバラバラである。
 - ・YCE 委員が単年交替の為、専門知識が蓄積されにくい。
- ② 窓口一本化のメリット
 - ・担当者が固定化され、事務処理が簡素化される。
 - ・海外からの申し込み窓口が一本化され、各国との調整がスムーズになる。
- ③ 窓口一本化の課題
 - ・専門事務局員の教育・育成に時間が費やされ、数年をかけての取組みとなる。

- ・委員会と事務局の業務分担を明確にする必要がある。

④ 委員会での確認事項

- ・業務負担軽減のため、将来的に社團（日本ライオンズ）に問い合わせ窓口を一本化し、情報を集約・共有する案が提案された。
- ・業務の一元化は即時実現が難しい為、まずは情報共有の方法から始めるのが現実的との意見が出た。（例として、定型文の共有、リスト作成 等）
- ・ユースキャンピングについては、各 MD の対応とする事が確認された。
- ・社団に窓口を一本化した場合、社団からの各 MD への一方的な振り分けに対しては、慎重な意見も出された。
- ・中長期的な構想として実現の為に、経験者を集めた検討チームを発足させて、システムの構築、運営費用の検討、専門人材の育成等を担う事も提案された。
- ・本委員会は以上の事を踏まえて、来期より検討チームを立ち上げ、社団での問い合わせ窓口の一本化に向けての取組みに進む方向性を確認した。

(5)次回委員会日程の調整

- ・4 月 14 日（火）10:00 ～ 12:00 Web 会議（zoom 対応）

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ YCE 委員会 副委員長

津田 勝之

- ・YCE 事業は、未来を担う青少年の為に寄与する事業であり、委員会メンバーの益々の活躍をお願いしたいとの挨拶で閉会となった。

以上

議事録作成人
MD334 委員 今泉 雅雄

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第5回 YCE 委員会【WEB】議事要録

◎日 時：2026 年 4 月 14 日（火） 10:00-12:00
◎場 所：Zoom システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長	喜 多 友 一	(上田城南)	【欠席】
副 理 事 長	諏 訪 昇 三	(札幌時計台)	【欠席】
副 理 事 長	山 崎 も と み	(大田)	
専 務 理 事	廣 田 晃 一	(姫路中央)	
YCE 委員会委員長	濱 田 浩 平	(長崎南)	
YCE 委員会副委員長	津 田 勝 之	(大阪桜ノ宮)	

25-26 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員	田 代 哲 也	(南足柄)
MD331 委員	佐 藤 豪 一	(帯広かしわ)
MD332 委員	渡 部 政 介	(郡山西)
MD333 委員	星 野 勝 美	(太田)
MD334 委員	今 泉 雅 雄	(豊橋南)
MD335 委員	団 英 男	(神戸みなと)
MD336 委員	住 吉 孝 文	(玉野)
MD337 委員	中 川 誠	(宮崎フェニックス)

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 濱田 浩平

一般社団法人日本ライオンズ YCE 委員会委員長 濱田 浩平 L が開会を宣言。

・議題は次第の通りだが、最後の「今後の YCE 事業に向けての検討事項」は活発な意見をいただいて次期に引き継いで行きたい。

2. 一般社団法人 日本ライオンズ副理事長挨拶

山崎 もとみ

・ YCE 事業に関して日頃から精力的に活動していることについて感謝している。

・ 今期初めに社団で YCE 専任の事務員を置く方針と聞いたが、ヒアリングなどを行った結果、個人的には社団では専属は必要ないのではないかと感じており、この件は皆さんの意見を聞きながら、進めたい。また津田副委員長には来期も引き続きよろしくお願しいたい。

3. 出席者の確認

濱田委員長により出席者が確認された。

- ・ 喜多理事長、諏訪副理事長は欠席
- ・ 廣田専務理事は少し遅れて参加。

4. 議事録作成人の指名

濱田委員長から、MD333 の星野委員が指名された。

5. 議題 確認事項および協議事項

(1)前回会議内容の確認

①前回議事録の確認

- ・ 前回議事録を確認し、承認された。
- ・ 前回の主な協議内容は、日中関係の悪化から中国系の航空会社のフライトキャンペーンに苦勞した件、海外からの問い合わせが殺到して苦勞した件、派遣生のユニフォームの検討、国際ディレクトリの問題点、今後の YCE 委員会の方向性・将来的な体制、等。

② YCE ディレクトリお断り定型文の検討

- ・ 前回の委員会で検討された、海外からの問い合わせが集中した時のお断りメールの定型文の実例が MD332 渡部委員より提供された。内容については自由に使用可、地区の実情に即して変更することも可。

- ・ 例文の使用について全員の了承と得る。

③ WhatsApp（メッセージアプリ）詐欺メールへの注意喚起

- ・ MD332 渡部委員から提出された。来日生とのコミュニケーションには WhatsApp が多く使用されているが、詐欺メールが横行しており、実際に被害にあった YCE 生もいるので、実例を挙げて皆に注意を喚起してもらうために作った。活用してもらいたい。
- ・ 台湾の YCE 生に関しては LINE を使用するようには勧められていることが報告された。

(2)次年度春・夏季事業交換予定の共有

- ①各 MD 交換人数の確認、②各 MD より現状報告等

- ・ MD330：

春はタイに 4 名、サイパンに 2 名を派遣。受け入れはタイから 3 名。

夏季は【受入】18 枠用意、現在 MD4（カリフォルニア）6 人、ロシア 2 人、スペイン 1 名、計 9 名。ロシアより入国の場合はビザが必要になる。【派遣】MD4 の 5 名枠あり、2 人申込、残り 3 人分。（今月末まで受付）。MD4 でのキャンプは 18 歳以上の参加のため日本の大学生の夏休みに合わせ 8/1-20 を予定。

- ・ MD331：【派遣】フィンランド・フランス・スイス各 1 名、スペインへ 2 名。
- 【受入】フィンランド・スペイン各 4 名・スイス 3 名・フランス 2 名・チェコ・ハンガリー各 1 名。

- ・ MD332：【派遣】ノルウェー 1 名、イギリス・台湾各 2 名。【受入】イギリス・スペイン・フランス各 2 名、ノルウェーと台湾各 1 名。派遣で 3 人が MD4 に予定したが、アメリカ・イランの戦争の影響で見送った。受入生もまた戦争の影響でヨーロッパでは飛行機の減便による航路変更など混乱が予想される。

- ・ MD333：【派遣】8 名【受入】8 名で表のとおり。前回からの変更点は、派遣では前回 6 人だったが、その後ウィスコンシンが決まり、オーストラリアも決まり合計 8 人となった。受入ではインドネシアが派遣生を見つけれず 1 名減の 8 名となった。これで確定。

- ・ MD334：今のところ【派遣】18 名【受入】21 名。表のとおり。受入で、ハンガリーからの申し込み（11 月に来ていた）がスバムメールフォルダーに入っまま事務局が気付かなかったことがわかり、この 1 名も追加で受け入れる方向で準備中。

- ・ MD335：【派遣】春季サイパンへ 1 名、夏季エストニア・イギリス・マレーシアへ計 11 名。【受入】台湾から 2 名を MD336 へ依頼中。335-B キャンプに 19 名。派遣先は不明だがマレーシア 6 名を予定している。ウィスコンシンが女子受入枠を 1 名分空きがあるので、希望があれば直接連絡してください。

- ・ MD336：締め切りは 5 月末なので人数は確定していない。【派遣】台湾に 15 名、【受入】台湾から 15 名を予定している。

- ・ MD337：複合単位では【派遣】シンガポール 12 名【受入】なし。337-B 地区が MD335 とマレーシアとの交換を進めており、337-E 地区も現在地区内で協議中である。

③最近派遣受入の人数が減っているようだが何か原因があるのか？（濱田委員長の質問）

- ・高齢化によるホストファミリーの減少
- ・コロナで流れが変わった。再開したが相手国の担当者と連絡が取れなくなるなどが発生し、その過程で相手国も変わった。
- ・ヨーロッパでは大量交換から YCE 生の質を求める方向に変化してきた。相手国に高い関心のある、英語がきちんと話せるなど条件が求められるようになった。

などの意見が出た。

(4)今後の YCE 事業へ向けての検討事項

- ① YCE ユニフォームの件
- ・前回ユニフォーム（ベスト）について、服装などに厳しい派遣先から、だらしなく見えると意見があった、等の問題提起があったが、各複合で検討した結果を報告いただきここで統一の方針を決めたい。

- ・従来の青色のジャケットが高価であるということから、3 年前に安価な白のベストに変えようという提案があり現在の形となったことが説明されたのち意見が募られた。MD 委員長からは、現在のユニフォームで良いという意見が大半だった。

また、ベストが問題ではなく、下に来ている服装がバラバラでありだらしなく見えるという意見が相手国よりあったことが報告された。

- ・現在 YCE の手引きへ記載されている、「過度な化粧・茶髪・ピアス禁止 日本人らしい身だしなみを心がける」という文言は今の時代に合わないのではないかと思意見が出、削除することと全員の意見が一致。「日本の親善大使らしい清潔感のある身だしなみを心がける」の文言については引き続き記載する。

- ・ベストの下に着る服装について対応を協議した。統一すべきとの意見もあったが、襟付きの服を着用が望ましい、清潔感のある身だしなみを心がける、程度にとどめることで話が落ち着いた。

- ・本日の協議を受けて、YCE 手引きに記載されている「YCE ユニフォーム着用図」を濱田委員長が修正して提示することになった。

②ディレクトリ改善要望箇所のまとめ

- ・意見のある複合は後日まとめて事務局へ提出することとした。

- ・また、ディレクトリの変更は国際本部の管轄となり相当ハードルが高いので、「キャンプ情報の共有化」を日本ライオンズで行うのはどうかと提案が出、これをまず社団の一本化の最初の取り組みとすることで同意した。

③今後の YCE 事業について

- ・窓口の一本化の前に各複合で行われている事務について実情を報告してもらおう
- ・330…窓口の一本化は考えていない。副委員長が国ごとエリアごとに分担しており自分たちで事務作業を行うことに問題はない。
- ・331…今回の受け入れ人数は 15 名だがこの申請書類を集めて、受け入れのための書類を返す労力は大きく、一本化を行ったとして、日本ライオンズで行うことは難しいと考える。しかしキャンプの一覧表の共有することから始めるのがいいと思う。
- ・332…現実的には一本化は難しいと思う。332 は渡部委員が多くメール処理をして慣れてきて、来期も事務局に残り YCE を担当することとなったため、自分たちで対応可能。
- ・333…キャンプの紹介がたくさん来るようになったので事務負担が増えた。キャンプの一覧表とその最新の状況がわかれば改善すると思われる。キャンプや窓口振り分けなどの業務は複合が責任を持って行うことである。
- ・334…できれば一本化はやっていただきたいが、現在複合では専任の事務局員を含め十分に人員を確保できており今の体制で十分やっていける。但しピーク時は大量のメールが来て、受け答えの事務負担が多く改善が望まれる。来季から MD としては冬季はやめて夏季一本にする方針。
- ・335…一本化はすぐには無理だと思う。委員長やクラブ同士でやりとりし日本ライオンズ YCE 委員会の場で調整を行い、派遣は個々でやってもらうのが良いと思っている。

- ・ 3 3 6 …現在では台湾との交換が主なので考えていない。但し台湾以外から来た場合などは、各地区のキャンプ情報の一覧と日程などがあると参考になる。YCE 委員会を情報共有の場とすればよいのでは。
- ・ 3 3 7 …社団で一本化できるに越したことはないと思うが、派遣先情報などを委員会会議にて共有いただければ嬉しい。
- ・ 専務理事・副理事長…各複合・準地区で現在対応ができているので社団が主体的にすることは無いと思われる。ただ委員会からお手伝いを要望があれば可能であると思われる。
- ・ キャンプ情報の共有化について、「キャンプの栗」（来日生向け、英語）を作成した方がよい。MD 3 3 0.MD 3 3 2.MD 3 3 5ではすでにキャンプの案内を作成しているものがあるので参考にしてほしい。来期は各複合ともキャンプの栗を作成し共有を進めたい。
- ・ 中長期的構想のために経験者を集めた検討チーム（特別委員会）の発足の要求がある。その件は YCE 委員会の決議がなされれば社団として検討する。→次回に検討する。

(5)次回委員会日程の調整

6 月 5 日（金） 1 4 : 0 0 ～対面開催。対面が難しい人は WEB 参加。

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ YCE 委員会委員長

津田 勝之

- ・ 本日は多岐にわたる議論で充実した協議がなされた。各地区の状況なども共有できた。年次大会の準備で多忙な時であるが大会が盛会になるよう祈念する。また 5 月にマレーシア・ペナンで開催される OSEAL フォーラムのステアリング委員会に参加するので、国際的動向や現地の状況について機会があれば報告する。益々のご健勝ご発展を祈念して閉会とする。

以上

議事録作成人

MD333 委員 星野 勝美

2026 年 3 月 23 日（月） 13 : 30-16 : 30

AP 日本橋 G ルーム

出席者リスト

<正社員> 2025-26 年度

330-A 地区ガバナー 上野 繁幸
330-B 地区ガバナー 森川 吉孝
330-C 地区ガバナー 三浦 宏仁
331-A 地区ガバナー 山崎 巖
331-B 地区ガバナー 大島 尚久
331-C 地区ガバナー 高橋 伸介
332-A 地区ガバナー 藤田 鉄哉
332-B 地区ガバナー 廣田 清実
332-C 地区ガバナー 齋藤 孝一
332-D 地区ガバナー 酒井 富也
332-E 地区ガバナー 横山 昭子
332-F 地区ガバナー 野宮 加代子
333-A 地区ガバナー 林 隆行
333-B 地区ガバナー 前原 正義
333-C 地区ガバナー 廣瀬 直樹
333-D 地区ガバナー 荻野 匡司
333-E 地区ガバナー 若林 純也
334-A 地区ガバナー 速水 清朗
334-B 地区ガバナー 加藤 謙一
334-C 地区ガバナー 杉山 節雄
334-D 地区ガバナー 森川 直之
334-E 地区ガバナー 飯田 重光
335-A 地区ガバナー 栗栖 正明
335-B 地区ガバナー 笹部 美千代
335-C 地区ガバナー 田端 俊三
335-D 地区ガバナー 船橋 佳照
336-A 地区ガバナー 向 和人
336-B 地区ガバナー 榎 本 明
336-C 地区ガバナー 宮 本 浩二
336-D 地区ガバナー 日 下 真 二
337-A 地区ガバナー 松 村 誠
337-B 地区ガバナー 増 田 勝也
337-C 地区ガバナー 川 原 保治
337-D 地区ガバナー 脇黒丸 一典
337-E 地区ガバナー 熊 宮 敏

(2025-26 年度)
一般社団法人日本ライオンズ前理事長 松浦 淳一【欠席】
公益財団法人日本ライオンズ理事長 小野寺 真悟

(2025-26 年度 協議会議長)

MD330 議長 倉田 雅史
MD331 議長 設楽 幸子
MD332 議長 車田 信彦
MD333 議長 水沼 孝夫
MD334 議長 浜 一 平
MD335 議長 津田 勝之
MD336 議長 山崎 もとみ
MD337 議長 武永 健治郎

(2024-25 年度 協議会議長)

MD330 議長 伊賀 保夫
MD331 議長 諏訪 界三
MD332 議長 渡邊 俊弥
MD333 議長 佐藤 裕幸
MD334 議長 喜多 友一
MD335 議長 廣田 晃一
MD336 議長 藤井 信英
MD337 議長 濱田 浩平

(2025-26 年度 理事)

2025-27 国際理事 仁科 良三
2025-27 国際理事 田名部 智之
2025-26 ICIF 理事 鶴嶋 浩二
(2025-26 年度 監事) 2 年任期の 2 年目
MD332 元議長 下 間 俊悦
MD333 元議長 石 橋 貞
MD335 元議長 小林 聰
MD337 元議長 栗田 泰

【欠席】

【欠席】

正社員総数 60 名（出席 55 名・欠席 5 名）

オブザーバー

【国際協会】

一般社団法人日本ライオンズ名誉理事長・元国際会長 山田 實敏

【2025-26 日本グローバル・アクション・チーム】

GAT エリアリーダー（統括/MD334/MD335）	鈴木 誓男
GAT エリアリーダー（MD330/MD331）	小川 晶子
GAT エリアリーダー（MD332/MD333）	川島 正行
GAT エリアリーダー（MD336/MD337）	識名 安信 【欠席】

【2026-28 年度 国際理事候補者】

松岡 勲

【OSEAL 調整事務局】

事務局長 マーズ 佐子

【顧問】

法律顧問	池田 和司
会計顧問	古田 宗一郎

【理事長事務局補佐】

田中 俊彦
小口 恒樹

以上

◇日本赤十字社・一般社団法人日本ライオンズ 協定締結調印式

第3回社員総会に先立ち、一般社団法人日本ライオンズと日本赤十字社との献血運動推進に関する協定調印式が開催された。

出席者紹介の後、まずは今回の協定について、阿久津隆文 LCIF 東日本エリアリーダーより、日本 LCIF リーダーズ会議パートナーシップ委員会各 MD コーディネーターより強い要望があったことがきっかけで日本赤十字社より連携協定を打診したところ、ライオンズクラブ・日本赤十字社とも全国の献血の取り組みの地域差が課題であり、連携を取り解決を図ることで見解が一致した事でこの協定締結につながったことを説明され、330-A 地区での取り組みが紹介された。続いて一般社団法人日本ライオンズ名誉理事長並びに理事長よりそれぞれ挨拶の後、日本赤十字社業務執行理事である血液事業本部長 紀野修一様より、日頃のライオンズクラブの献血活動へ協力について謝意を述べられた。

日本赤十字社と日本ライオンズが献血推進協定を締結することで効果的な献血活動の推進が進むことが期待されることを説明された。

少子高齢化等献血活動の現状を顧みてライオンズクラブの力がより重要になると話され、全国でより一層の協力を行っていくことの重要性和、今後の献血運動事業発展への期待を述べられた。紀野様と喜多理事長による協定書への署名と記念撮影が行われ閉会。

◆一般社団法人日本ライオンズ 第3回定時社員総会(全国ガバナー会)

◇出席者確認

社員総数 60 名のうち本人出席 55 名のため、定款第 17 条「社員総会は、総正社員の過半数の出席がなければ開催することができない」に基づき、社員総会の成立を確認。

◇議長指名

定款第 16 条「社員総会の議長は、理事長がこれに当たる」に基づき喜多理事長が議長を務めることを宣言。

◇議事録署名人の指名

331-B 地区ガバナー L.大島尚久・336-D 地区ガバナー L.日下貞二 2 名を指名。

◇議事録作成人の指名

設楽幸子常務理事・津田勝之常務理事 2 名を指名

◇続いて議事運営ルールについての説明が行われた。

◆審議事項の確認

・主催者側からは本日の審議事項が無いことを報告の後、出席している正社員からの提出議案を確認したが、無しであったため、審議事項が無いことを宣言。

◇報告事項

◆一般社団法人日本ライオンズ活動報告

- ・日本ライオンズ 中間報告
複合地区議長・ガバナーは日本ライオンズの理事やミッション1.5など大変多忙であるため、役職の兼任は負担が大きいことを説明し、最終的にはMDでの判断となるが、できる限り避けてほしいことを文書にてお願いしているが、改めて依頼を行った。続いて本日の多くの正社員の出席があることについて、議長・ガバナーの前向きな取り組みのおかげであると感謝の意を表した。
日本ライオンズ創立10周年について、日本ライオンズのさらに透明性がある運営・組織作りを行っている事と、式典など企画が行われていることに触れ、その後もアラートフォーラムを日本フォーラムとしてセミナーなどを行うことについて考えを示し、協力を呼び掛けた。
- ・日本ライオンズ10周年記念事業
一般社団法人日本ライオンズが次年度で創立から10周年を迎えることと、その意義について説明し、日本ライオンズでは特別委員会を設置し祝意準備中であることを報告。
令和8年11月29日に横浜ベイホテル東急にて400～500人規模の記念式典・祝宴を開催する事が説明された。
事業のサブタイトルとして、【これまでに感謝・つなごう未来の奉仕へ】と定め、記念誌発行や山田PIPによる基調講演を予定していること報告した。10周年事業成功のためには35地区の協力が必要不可欠であるとし、協力を呼び掛けた。
- ・2/24開催 日本ライオンズ上半期監査報告
多くの方の社員総会への参加について感謝を述べ、上半期の日本ライオンズ理事の業務執行および会計報告において重大な問題は無かったと報告された。
ただし日本ライオンズからの報告、説明についてはもう少し、クラブメンバーにもわかりやすく行うことを心がけていただくよう意見。
- ・ここまでの質疑・意見
331-B地区 L.大島尚久
日本ライオンズのホームページに掲載されている国際協会におけるグローバル重点分野が5つであるが、国際協会では現在8つであることについて質問。
喜多理理事長・廣田専務理事からは日本ライオンズのホームページの更新が遅れているが、現在ホームページのリニューアルを検討しているのをお待ちいただきたいと説明された。
尚、設楽常務理事より追加説明として、国際協会グローバル重点分野と焦点分野について説明された。
- ◇各種委員会報告
各委員会は資料に基づき報告された。
 - ・PRマーケティング委員会（ライオン誌日本語版委員会）
…廣田晃一専務理事
まずはライオン誌日本語版委員会の報告。2月には初の試みとして合同委員会を開催。ラ

- ライオン誌発送はクラブ一括発送に切り替えていく。
ライオン誌メールマガジン配信はクラブ事務局へ配信に変更しクラブからの転送をお願いする。
続いてPRマーケティング委員会の報告。先ほど山崎副理事長より報告があった、日本ライオンズ10周年記念事業への協力を行う他、ライオン誌日本語版委員会とも提携を図り、委員会活動を行っていく。
- ・会則委員会
…渡邊俊弥委員長
ライオンズ必携・役員必携の合本版について、まずはWEB版発行に向けて着々と準備を進めている。前回発行からの変更箇所の精査や反映を行い、国際理事会方針書との整合性を確認中であることのほか、削除する予定の項目などを報告。
- ・国際大会委員会
…伊賀保夫委員長
第108回香港大会の現在の最新スケジュールの周知、現時点での登録数の報告を行い、重要な議案が投票に附されるため1000名を目標とし、多くの代議員の参加にご協力をいただくよう呼びかけた。
その他代議員朝食会へ参加をしやすいようバスの手配を検討中であることや、日本ライオンズが制定・運用を行っている、国際大会における各MD公認ツアーコーディネート規約について、現況に即した内容での運用が必要であることから、各MDに現況報告を頂いた上、内容の見直しを検討したいことを報告。
- ・YCE委員会
…濱田浩平委員長
冬期交換事業の振り返りと反省、今後の活動予定として夏期交換へ向けての情報交換や、昨年度からの継続検討事項である日本ライオンズでのYCE事業窓口一本化について協議を行ったことと、その内容について報告。ライオンズ青少年健全育成の柱であるYCE事業を円滑に行うため、今後も委員会内で窓口一本化等、協議を続けていく。
- ・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会
…佐藤裕幸委員長
第2回会議も2部制で開催。ライオンズクエスト委員会では地区により課題や進展に違いがあるものの、各地で行われている教育委員会・学校との提携や認定講師育成等、活発な活動報告・成功事例が寄せられたことを報告。情報共有のためメンバーリスト作成を行った。
薬物乱用防止委員会では公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターより講師をお招きし、講演を行っていただいたことと、各地で行っている事業が大きな成果を上げていることを報告した。
- ・アラート委員会
…藤井信英委員長
委員会活動としてアラート活動規約の見直しを行っていることを報告。
3月13日（金）に大阪で行われたリーダー研修会・マッチング分科会・全国アラートフォー

ラムについて、全国より多くの方にご参加をいただき大変有意義な内容にて開催された報告を行った。

◇公益財団法人日本ライオンズ 活動報告 …小野寺眞悟理事長
来月で設立より5年を迎える財団の事業報告（児童養護施設での寺子屋事業・特別支援学校フットサル大会）の他、全国からの寄付状況について資料を元に報告。
児童支援事業の取り組みについて寺子屋・フットサルともに引き続きの取り組みを行っていることと、スポーツ庁や全国の教育委員会からの後援を得、今後はこども家庭庁との提携を進めていくべく準備を行っていることを報告し、財団への支援について、複合地区議長・地区ガバナーによるクラブへの呼びかけを行ってほしいと協力を訴えた。

◇LCI 報告 …山田實敏元国際会長
報告に先立ち、ミッション1.5会員拡大勧誘目標に対して75%を達成した地区ガバナーとして、334-A地区 速水ガバナー・334-D地区 森川ガバナー・336-D地区 日下ガバナーの3名が表彰され、会長メダルが手渡された。

ミッション1.5の協力に対して感謝と、香港へ向けてのさらなる目標達成への激励を送られた。
現状として日本は現在約1500人のプラスになっているが6月の退会者数について懸念であるとお話しされたほか、海外での状況についてもお話しされ、OSEAL地域全体で大きな成果が上がっており、増加数がインドと僅差となっていることを報告された。
現在、A.P.シン国際会長をはじめ、国際協会では会員拡大を大変重要な取り組みと位置付けているが、国際協会における日本の立場を高めるためにも引き続きの協力を呼び掛けた。

◇シカゴ国際理事會報告
・仁科良三国際理事（大会委員会）
国際理事會・国連ライオンズデーに参加された所感と世界情勢に触れ、影に対して光を与えるのがライオンズであると呼びかけられた。
ミッション1.5進捗状況について、3/14時点での各会則地域は全て純増となっていることを報告された。
第108回香港大会で投票に附される予定の国際会費値上げと、重要議案である会則地域ごとの国際理事會定数変更に触れ、日本から多くの代議員にご参加を頂き、日本としての意思行使できるように呼びかけ、今後も国際理事として自身の役割を果たしていくと述べた。

・田名部智之国際理事（会員増強委員会）
国際理事報告として、レオのプロトコールが明確化されることの報告と、国際協会の新たな取り組みとして、アイスランドにて10人からのクラブ立ち上げのバイロットプログラムを3年間行うことを紹介し、今後の会員拡大への取り組みについても検討中であることを報告。

仁科国際理事からも報告があった、香港大会での投票と、ミッション1.5の状況についても説明を行われた。

◇LCIF 報告 …鶴嶋浩二LCIF理事
地区及びクラブシェアリング交付金改訂について、5000ドル～9999ドルの場合は15%、10000ドル～20000ドル未満の寄付に対して20%、それ以上の寄付には30%の還元。10000ドル未満は従来通りであると報告。尚、実施は来年度と思われる。
地区シェアリング交付金の使い方についてはトラブルが増えており、使い道をよく話し合っほしいと呼びかけ。
交付金の使い道や報告などルールについての再確認を呼び掛け、最終報告書が1年以上提出されず2件以上の報告未完了の地区には、新規地区シェアリング交付金申請の審査が遅延するなど可能性があるため迅速な報告書の提出をお願いと、議長に対して地区のLCIF目標の達成への協力を呼び掛けた。

◇GAT 報告
・鈴木智男統括エリアーダー（MD334/MD335 担当）
ミッション1.5報告として、MD334の会員拡大、MD336のキャンパスクラブの新規立ち上げ実績を紹介。現在新規クラブゼロの地区に対しても頑張っていくよ呼びかけ、今年度は50クラブの結成を達成したいと報告された。

・小川晶子エリアーダー（MD330/MD331 担当）
クラブに1名女性会員を入会いただく取り組みの進捗状況の報告。
10/6から2/28までの期間に414クラブで886人の女性会員が増加し、その前の期間も合わせる1733人が増加したことを報告された。
アワードの変更と、3/1から6/30までの期間も取り組みを継続することもあわせて報告された。

・川島正行エリアーダー（MD332/MD333 担当）
会員拡大進捗とLCIF寄付目標の現状を報告し、目標達成率が比例されていることと、目標達成のために地区内の情報伝達に力を入れていただくことと、次期キャビネット構成員の選任について実力のある方を選出いただくよう依頼。続いて各地区の人口比に言及され、332-Aの地区の人口・法人数と会員数の比率が日本一であることを例に挙げ、引き続きの会員増強への協力を依頼。

◇国際理事候補者よりご挨拶 …松岡勲国際理事候補者
昨年8月の一般社団日本ライオンズ国際理事資格審査委員会での推薦と、10月には札幌での第62回オセアルフォーラムにてエンドースを頂いた事について報告と謝意を示され、準備をす

べて終えた上、香港国際大会を迎えることを話された後、国際理事への就任についてと、ミッション 1.5 について目標完全達成のため自らも積極的に取り組んでいくことを決意表明された。

◇OSEAL 調整事務局より
国際理事会での決定・変更事項については早ければ明日には文書を配信する予定であることを報告。
明日から始まる三役セミナーウェビナーの説明の他、国際協会から送られるアワードはオセアル調整事務局を通して発送されるようになることを報告。
新会員キットはキャビネットからの発送を行っていたが会員増強委員会では今後デジタル化を進めていく予定である。
次期役員に対してのミッション 1.5 サミットが浦安で 6/10、11、LCIF 研修が 5/27、28、7/13、14 に名古屋で開催されることと、その参加対象者が報告され、現ガバナーは第一副地区ガバナーへ助言や情報共有をいただくよう呼びかけられた。

◇日本ライオンズ 監事講評 …石橋 真 監事
第 3 回社員総会が無事に開催され、多くの出席をいただいたことと、報告を担当された各位へ謝意が述べられた。
冒頭で行われた日本赤十字社との協定締結に触れて、自分の認識を変えることも必要であるという自身の経験が話されたのち、本で行われた第 9 回理事会での小野寺理事長の発言を引用し、行動をすることが大切であると話された。
最後に、参加のガバナーへ向け、地区年次大会の成功を祈念された。

第 2 部 一般社団法人日本ライオンズ名誉理事長 山田元国際会長 基調講演

まずは冒頭で行われた日本赤十字社との調印式に際し、血液事業の現状について説明。
世界のライオンズの動きについても触れつつ、日本のライオンズのこれからの在り方をよく考えるべきときであるとし、ガバナーとして地区の内情を理解し日本全国で同じテーマを決めて奉仕活動に取り組むことで大きな力となることについて、子ども食堂を例として説明。
地域社会へ与えるよい影響となることができると説明され、現在のニーズを理解し本当になすべきことをしていくべきであり、その結果として地域の人たちの力となり、会員のやりがいとなりさらに会員拡大にもつながることができ、ライオンズも時代にあわせて進化をしていくべきであるとお話された。

また国際の場における日本と世界の橋渡しを行う国際理事の役割についても説明され、今後日本からの国際理事・LCIF 理事の発言力を高めていくことが重要であると述べた。
奉仕活動の資金面についての提案を行ったほか、公益財団法人日本ライオンズの成り立ちと取り組みへの説明を行い、一般社団法人日本ライオンズ 10 周年を節目として、国際本部の組織になりやすい・社団・財団の連携ときちんとした組織化を行うこと、日本国内への奉仕活動をより強力にす

るという観点からも、公益財団法人日本ライオンズへさらなる協力をいただくよう呼びかけを行った。

以上

議事録作成人	設楽 幸子
常務理事	津田 勝之
常務理事	
議事録署名人	
一般社団法人日本ライオンズ	
理事長	喜多 友一【押印省略】
331・B 地区ガバナー	大島 尚久【押印省略】
336・D 地区ガバナー	日下 真二【押印省略】

2025-26年度

第2回PRマーケティング委員会
第6回ライオン誌日本語版委員会
合同委員会 議事要録

◎日 時：2026年2月4日 (水) 14:30～16:45
◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ事務所 (Zoom併用)
◎出席者：

国際理事
国際理事

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長代行(副理事長)

副理事長

PRマーケティング委員会委員長(専務理事)

PRマーケティング委員会副委員長

PRマーケティング担当 常務理事

PRマーケティング担当 常務理事

PRマーケティング担当 理事

PRマーケティング担当 理事

事務長

【複合地区PRマーケティング担当委員長】

330複合地区広報マーケティング委員会

331複合地区MC・情報マガジ ー委員会

332複合地区PR・IT委員会

333複合地区マーケティング・PR・IT委員会

334複合地区マーケティング委員会

335複合地区MC委員会

336複合地区IT・M・マガジ ンズ 情報委員会

337複合地区ICT委員会

【ライオン誌日本語版委員会】

編集長/337複合地区委員

330複合地区委員

331複合地区委員

332複合地区委員

333複合地区委員

334複合地区委員

335複合地区委員

336複合地区委員

*PRマーケティング 兼任

仁科 良三 (長野みすずLC)
田名部智之 (青森県・八戸LC)

諏訪 昇三 (北海道・札幌時計台LC) *Zoom

山崎もとみ (鳥根県・大田LC) ●欠席

廣田 晃一 (兵庫県・姫路中央LC)

水沼 孝夫 (栃木県・真岡LC)

車田 信彦 (福島県・玉川LC)

津田 勝之 (大阪桜之宮LC)

佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海LC)

藤井 信英 (岡山みらいLC)

増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC) ●欠席

阿部かな子 (東京ビースLC)

佐藤 有 (北海道・札幌北の杜LC) *Zoom

加藤 俊治 (宮城県・石巻日和LC) ●欠席

福田 智恵 (栃木県・宇都宮中央LC) *Zoom

曾根 輝夫 (静岡県・三島泉LC)

今市 明弘 (兵庫県・姫路スターLC)

山田 隆嗣 (岡山県・津山栄楽LC)

上原 明寿 (沖縄県・名護LC) *Zoom

瀧野二三世 (大分LC)

田中 明 (埼玉県・和光LC) *Zoom

馬場 哲也 (北海道・函館東LC) *Zoom

岡田 殉 (青森県・五所川原LC) *Zoom

後藤 一男 (栃木うづまLC) *Zoom

前田 磨 (静岡県・三島LC)

秋山洋一郎 (京都紫明LC)

山田 隆嗣 (岡山県・津山栄楽LC)

【議事】

《第1部：第2回PRマーケティング委員会》

1.上半期委員会活動に関する情報交換

〈全体共通〉

- ・ 会員増強の最大の課題は「一般への認知度不足」。
- ・ 内向きPRから、一般向け・若年層向けPR (特にSNS・動画) へ転換が重要。
- ・ 動画を「作って終わり」にせず、拡散・活用方法まで設計する必要がある。

〈330 複合地区〉

- ・ マーケティング補助金を活用し、1～3分のショート動画を制作中。
- ・ YouTube・Instagram・TikTok 等で広告配信し、30～50代中心に認知拡大を狙う。
- ・ 3月11日に一斉公開予定。地区限定でなく他地区も活用可能な内容を想定。
- ・ PR 動画予算規模は約220万円。

〈331 複合地区〉

- ・ 会員向け・外部向け広報誌の継続、公益財団法人日本ライオンズの事業PRを実施。
- ・ 人員不足 (少人数運営) が課題。
- ・ 次年度はマーケティング補助金活用も視野に検討。

〈333 複合地区〉

- ・ マーケティング補助金を活用し、一般向けPR動画を制作。すでに2本完成 (入会促進動画、会員の声動画)。
- ・ 今後、LCIF・災害支援・献血・視力保護など計9本程度の動画を計画。
- ・ QRコード活用で名刺・広報物と連動し、会員拡大につなげる狙い。

〈334 複合地区〉

- ・ 今年度は複合地区のHPリニューアルとライオンポータル整備が中心。
- ・ 他地区のPR動画の効果から有効性を再認識し、今後の導入を模索。

〈335 複合地区〉

- ・ 一昨年度に会員向け、昨年度一般向けのPR動画を制作。
- ・ 動画だけでは会員増強に直結しない反省から、
 - 委員会横断の情報共有媒体「ミyakミyak通信」を開始。
 - 「ワンズラスワン」(1人が1人勧誘)の再徹底を重視。
- ・ PR+対面での行動につなげることが課題。

〈336 複合地区〉

- ・ 委員会開催は1回のみ。
- ・ 今後どのようなPRが有効か検討段階。

〈337 複合地区〉

- ・ 複合地区としては具体的活動は未着手。
- ・ 各クラブに対し、SNS活用とHP運動による会員拡大を働きかけ。

2.各複合地区広報素材の共有について

各地区の広報素材 (動画、漫画、PR素材等) を相互に活用するにあたっての共有ルールや著作権、運用方法に関する主な意見は以下の通り。

① 共有の基本姿勢

- ・ 「ライオンズ一丸」での活用： 会員増強という共通目的のため、各地区で作られた素材は積極的に共有し、互いに活用すべきであるという意見で一致。
- ・ 叩き台としての利用： 既存の素材を「叩き台」として提供し、他地区がそれを上回るより良いものを作るためのリソースになれば、組織全体の利益につながる（333MD・今市委員長）。

② 著作権と使用条件（権利関係）

- ・ 国際協会の補助金（マーケティング補助金）活用素材：
 - 補助金を受けて制作したものは、基本的に「ライオンズクラブ国際協会」に帰属するという認識のもと、フリー（無料）で提供・発信すべきである。
 - 制作段階から「どこでも流せる、ホームページに貼れる」ことを制作会社と台意しておく必要がある（333 MD・福田委員長）。
- ・ 出演者・音楽の権利：
 - 出演タレントの契約期間（例：5年等）や使用楽曲の著作権がネックになる可能性がある（330 MD・阿部委員長）。
 - これから制作するものは、あらかじめ「権利フリー」の素材を使用するか、契約期間を長く設定するなど、他地区での再利用を前提とした契約を結ぶのが望ましい。

③ 改変・編集のルール

- ・ 一部改変の許容： 最後に流れる地区名テロップを自地区やクラブ名に変更したいという要望に対し、一定のルール（制作会社への少額の編集手数料支払い等）を設けて対応した前例がある。
- ・ 無制限な改変への懸念：
 - データを渡して自由に作り変えさせてしまうと、制作者の意図や「思い」が損なわれるリスクがある。
 - そのまま使用することを基本とし、切り取りや編集は慎重であるべき。

④ クレジット表示と責任の所在

- ・ 制作元の明記： 誰が・いつ・何の目的で作ったのかという「責任の所在」を明確にするため、制作地区名（例：333 複合地区）や制作年度を残しておくべきである（333MD・福田委員長）。
- ・ ブランド保護： 完全に匿名にするのではなく、ライオンズクラブとしての品質と責任を担保する文言を入れることで、素材の信頼性を維持する。

結論（廣田委員長のまとめ）

- ・ 「版權フリー」を基本路線とする： 今後制作する素材は、他地区でも転用可能な契約形態を目指す。
- ・ クレジットの保持： 可能な範囲で、制作元の意図や責任の所在を示す表記を残す。
- ・ 共有の促進： 相互に素材を提供し合い、ライオンズ全体の PR 効果を最大化させる。

3. 社団ウェブサイトのリニューアル

一般社団法人日本ライオンズのウェブサイトのについて各複合地区委員長に参考意見を求めたところ、以下の指摘があった。

クラブの活動をつなぐ中心的な役割を持たせる。

外部への訴求力向上：一般市民や若い世代にもライオンズの良好なイメージを伝える構成にする。
最新技術の導入：単なる情報の置き場ではなく、AI を組み込んだ双方向性のある仕組みが望ましい。

SNS との連携：ウェブサイトを単体ではなく、SNS からの誘導を前提とした動線設計が必要。

国際協会との関係性における留意点（重要）：日本ライオンズは「直接活動する団体」ではないため、社団自体が奉仕活動を行っていることと誤認される表現は国際協会から NG が出る可能性がある（田名部国際理事）。

解決策＝あくまで各クラブや地区の活動を「紹介・誘導」するプラットフォームに徹し、責任主体を分けることで、ブランドの抵触を避ける。

リニューアルを行う場合にはコンペによって業者を選定することを想定しており、その際には各複合地区委員長に業者の紹介をお願いしたいとの説明が、廣田委員長からあった。

《第2部：第6回ライオン誌日本語版委員会》

1. ウェブマガジン編集関係

- (1) 2026年2月号（2月1日公開）出来
公開済みの2月号の仕上がりを確認した。
- (2) 2026年3～4月号更新予定（案）
 - 3月号「取材リポート」（福岡県・浮羽LC）は渕野編集長が取材を担当し原稿を提出済み。「国際理事」は3月に開催される「国際理事会（春季）」の報告を両国際理事に願う。
 - 4月号「取材リポート」（兵庫県・西脇LC）は廣田委員長が担当。
- 333複合地区の今市マーケティング委員長から、アワードフォーラム大阪（3月13日開催）の記事掲載の希望があり、委員会から記事や資料の提出してもらうことにした。
- (3) 2026年4月号以降取材候補
前回委員会で取材候補に挙げたクラブの奉仕活動の実施日と、各複合地区委員による取材が可能か現時点の都合を確認した。引き続き調整を進める。

2. 印刷版編集関係

- (1) 2026年冬号（1月25日発行／79,000部発行）出来
発行済みの冬号の仕上がりを確認し、概ね好意的な反応を得た。
巻末の「日本ライオンズ分布図」に関して、ミッション1.5の進捗状況を掲載してはどうかとの提案があった（仁科国際理事）。次回委員会で具体案を元に検討する。
- (2) 2026年春号（4月25日発行予定）台割（案）
 - 36ページの台割案を確認。特集として、青少年交換の元派遣生、災害支援を機に入会、同年度に親子で会長に就任など、特色ある会員を取り上げる企画案の編集方法を検討。記事と運動してショート動画による発信を行う案や、記事の素材集めを複合地区PRマーケティング委員長と連携して進める案など、今後にもつながるアイデアが出された。
 - 時間的な制約もあり、まずは掲載候補の会員に特集企画への協力を打診した上、質問項目を留意して取材を進める。

3. その他

(1) ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及
ウェブマガジン発行時に配信するメールニュースの開封率が3割程度に留まっていること、LINE公式アカウントの登録者数が6,000人強で頭打ちになっていることを確認した。

(2) ライオン誌印刷版の発送
印刷版冬号の発送後、クラブ一括発送の1クラブから荷物の返送があった。受け取りが可能になるまで事務局で荷物を預かることとした。

《第3部：合同委員会》

1. ライオン誌活用促進の方策

- (1) ウェブマガジンの普及・活用促進
メールニュース開封率とLINE公式アカウント登録数が伸び悩んでいる現状を踏まえ、今後の方策について意見を交換。以下のような意見が出された。
- ・ゾーン、クラブといった小さな単位で広めていく
 - ・地区ホームページからのリンク、地区誌のQRコード掲載による誘導
 - ・複合地区や地区の会合でPRし、各クラブが例会で取り上げるようアプローチする

- (2) 印刷版の活用促進（ライオン誌例会の推奨など）
活用促進の方策として、以下のような意見が出された。
- ・「ライオン誌例会」の開催
 - ・クラブ例会の中でライオン誌を取り上げる時間を設ける
 - ・懸賞によるプロモーション
- (3) マーケティング・ツールとしての活用方法
活用方法として、以下のような意見が出された。
- ・クラブがある地域の銀行、病院、公共施設など人が集まる場所に置いてもらう
 - ・他団体の会合での配布や事務局への送付

2. 両委員会の協力・連携

- (1) ライオン誌編集における協力
第2部の議案2-(2)の春号特集で出された意見を踏まえ、廣田委員長から、各複合地区、地区と連携してより多くの記事が集まる流れを作っていきたい、との方針が示された。

<次回開催予定>

第7回ライオン誌日本語版委員会： 3月6日（金）14:00～16:00
第3回PRマーケティング委員会： 未定

議事録作成： 山田隆嗣（336複合地区）

第3回国際理事候補者資格審査委員会 議事要録

(2026年4月13日（月）10：30-12：00 日本ライオンズ事務所＋ZOOM)

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事 長	喜多 友一	(上田城南 LC)
委員 長 (副理事長)	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC) 【WEB】
副 理 事 長	山崎 もとみ	(上田城南 LC) 【WEB】
専務理事 (MD335 委員)	廣田 晃一	(姫路中央 LC) 【WEB】
副 委 員 長	倉田 雅史	(小田原白梅 LC)

各複合地区国際理事候補者資格審査委員

3 3 0 複合地区	村木 秀之	(東京数寄屋橋 LC)
3 3 1 複合地区	荒井 喜和	(札幌清田 LC) 【欠席】
3 3 2 複合地区	大矢 進	(青森まほろば LC) 【WEB】
3 3 3 複合地区	吉原 稔貴	(市川 LC) 【欠席】
3 3 4 複合地区	喜多 友一	(上田城南 LC) 【代理出席】
3 3 5 複合地区	廣田 晃一	(姫路中央 LC) 【WEB】
3 3 6 複合地区	澤 辰水	(下関 LC) 【WEB】
3 3 7 複合地区	松本 幸則	(佐世保みなと LC) 【欠席】

一般社団法人日本ライオンズ法律顧問 池田 和司 (東京桜門 LC)

1. 開会宣言 国際理事候補者資格審査委員会委員長 諏訪 昇三
2. 一般社団日本ライオンズ理事長挨拶 喜多 友一
3. 議事録作成人の指名 倉田副委員長を指名。
4. 出席者確認

5. 議案：

- ・諏訪委員長より、これまでの経過説明が行われました。
- 5月の理事会及び総会にて国際理事候補者資格審査に関するガイドラインが承認されるようにしたいと思うので、慎重審議をお願いします、と挨拶がありました。
- ・喜多理事長より、国際理事は日本を代表する人であるので、この委員会でしっかりガイドラインを決めてもらいたいと挨拶がありました。

(1) 国際理事候補者資格審査に関するガイドライン制定について

- ・倉田副委員長より資料に基づきガイドライン案の説明があり、その後池田法律顧問より、補足の内容説明。諏訪委員長よりその他の案などもあったことについて説明もありましたが、協議と検討を重ね、何とか8複合地区に周知の上ご理解を頂けるものとして提案をしますとの意見がありました。

<採決>

- ・原案通り全員賛成で、可決承認。

(2) 国際理事候補者誓約書内容案の検討

- ・倉田副委員長より、候補者に提出をいただく誓約書の説明があり、契約書に記されている2つの要件として国際協会・日本ライオンズとの関係についてを盛り込んだことについて説明されました。その後、池田法律顧問より補足説明があり、社団理事長宛の誓約書であることと、社会通念上、契約書ではないためあまり細く書くものではなく簡潔な文章が大切であるためこのような内容となり、日本ライオンズとしての立場を表現するものとしたと説明がありました。諏訪委員長より補足の説明として、日本ライオンズとして推薦をお出しすることを考えた上で、このような形になったと説明がありました。

- ・喜多理事長より、本日の補足説明としている国際会則及び国際理事会方針書の内容、複合地区会則や各種ガイドラインを添付する形をお願いしたいと意見がありました。

<採決>

- ・原案及び国際会則・国際理事会方針書等の説明を添える事で、全員賛成で、可決承認された。

(3) その他

- ・本日委員会で承認された2案については、5月7日の執行理事会、5月19日の理事会に提出し、総会議案として提案する。

6. 閉会挨拶

副委員長

倉田 雅史

以上

議事録作成人：
国際理事候補者資格審査委員会
副委員長 倉田 雅史

3 3 1 複合レベル資料

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区 第 7 2 回年次大会代議員総会 議事録

開催日時：2026 年 5 月 31 日（日）13：30～14：30

開催場所：京王プラザホテル札幌 B1 プラザホール

司会進行/ガバナー協議会運営委員長 L. 村重 欣延

- ◆代議員総会開会宣言・開会ゴング 大会議長 L. 設楽 幸子
- ◆大会議事運営構成役員紹介 ガバナー協議会運営事務局長 L. 熊谷 敬子
- ◆大会議長挨拶 大会議長 L. 設楽 幸子
- ◆議事規則並びに議事運営の説明 大会幹事・議事運営委員長 L. 大島 尚久
- ◆代議員資格審査の報告 大会副議長・資格証明副委員長 L. 山崎 巖

代議員登録者数	1 4 7 名
本日の代議員出席者数	1 3 2 名、補欠 1 名
合計	1 3 3 名

これにより、代議員の過半数の出席もって総会は成立した。

- ◆大会議事規則第 3 項によりガバナー協議会議長 L. 設楽 幸子が議長を務め、担当者による提案とその審議を行う。
- ◆議事録署名人の指名
大会議長 L. 設楽幸子より、以下、2 名の議事録署名人の指名が行われた。
議事録署名人 331-A 地区ガバナーエレクト L. 其田 勝則
331-B 地区ガバナーエレクト L. 広瀬 寛人

【議案審議】

第 1 号議案 2024－2025 年度 一般社団法人日本ライオンズ会計決算報告承認の件

賛成多数で承認

第 2 号議案 2025－2026 年度 一般社団法人日本ライオンズ上半期会計決算報告承認の件

賛成多数で承認

第 1 号議案並びに第 2 号議案について、一般社団法人日本ライオンズ会計監査
L. 中村 全博より説明がなされ承認を求めた。

第3号議案 2024－2025 年度 331 複合地区会計決算報告の承認を求める件

賛成多数により承認

第3号議案について、ガバナー協議会 会計（331-C 地区ガバナー）より説明がなされ承認を求めた。

第4号議案 2025－2026 年度 331 複合地区会計中間決算報告の承認を求める件

賛成多数により承認

第4号議案について、ガバナー協議会 会計（331-C 地区ガバナー）より説明がなされ承認を求めた。

会計監査報告は、会計監査委員 L. 大津幸三より報告。

第5号議案 2025－2026 年度複合地区会計決算報告の審議を次年度ガバナー協議会に委譲する件

賛成多数により承認

第5号議案について、ガバナー協議会 会計（331-C 地区ガバナー）より説明がなされ承認を求めた。

※第4号議案並びに第5号議案の収支報告で貸方の表示が借方になっている旨、LCIF 理事・元国際理事 L. 鶴嶋より指摘があり、設楽議長より口頭で訂正を行った。

第6号議案 ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区コンプライアンス規定の件

賛成多数により承認

第6号議案について、コンプライアンス委員会委員長 L. 中野正敬より説明がなされ承認を求めた。

第7号議案 3026-2028 年度国際理事候補者支援の件

賛成多数により承認

第7号議案について、331 複合地区国際理事候補者資格審査委員会委員長 L. 荒井喜和より説明がなされ承認を求めた。

第8号議案 次年度複合地区年次大会開催地の件

賛成多数により承認

第8号議案について、設楽議長より説明がなされ承認を求めた。

第9号議案 331 複合事務局と 331-A 地区キャビネット事務局統合及び移転の件

賛成多数により承認

第9号議案について、議長 L. 設楽 幸子より説明がなされ承認を求めた。

第 10 号議案 複合事務局員退職にともなう退職金拋出の件

賛成多数により承認

第 10 案について議長 L. 設楽 幸子より、説明がなされ承認を求めた。

第 11 号議案 複合事務局員退職にともなう退職金の支払い方法および支払い日の件

賛成多数により承認

第 11 号議案について議長 L. 設楽 幸子より、説明がなされ承認を求めた。

◆その他報告事項

議長 L. 設楽幸子より以下の報告を行った。

【報告事項】

第 1 号報告 2026-2027 年度ガバナー協議会議長の選任について

複合地区会則第 5 条 4 項に則り、次期ガバナー協議会議長には 331-A 地区現ガバナー L 山崎 巖（札幌北の杜 L C）が選任された。

第 2 号報告 第 71 回 331 複合地区年次大会代議員総会で承認済である一般社団法人日本ライオンズ賛助会費値上げの件

2016 年 1 月より、賛助会費を月額 80 円に据え置いて来たが、昨今の経済情勢を踏まえ、組織存続の為に値上げを行う。2025 年度より 2 年において 40 円ずつ計 80 円の値上げを行うことになった。これにより賛助会費については、2025 年度は 120 円となり、2026 年 7 月より月額 160 円となる。

◆閉会宣言・閉会ゴング

大会議長・ガバナー協議会議長 L. 設楽 幸子

以上、本議事録の内容が相違ないことを証するため、下記のとおり署名する。

2026 年 6 月 5 日

議事録署名人 331-A 地区ガバナーエレクト

其田 勝則 

議事録署名人 331-B 地区ガバナーエレクト

六瀬 貴人 

331－C地区報告

- ・ライオンズクラブ国際協会331－C地区組織表
- ・331－C地区関連年間行事予定表
- ・331－C地区クラブ周年行事予定表
- ・キャビネット備品引継品一覧
- ・ベネズエラ地震支援のお願い

331-C 地区関連年間行事予定表

(1) 研修会

次期 Z C ・ Z 委員 ・ 委員長研修会 次期クラブ三役、事務局研修会	2 0 2 6	6 月 1 6 日 (火)	ホテル函館ロイヤルシーサイド	函館市
--	---------	---------------	----------------	-----

(2) 国際大会

第 1 0 8 回国際大会	2 0 2 6	7 月 3 日(金)～7 月 7 日(火)	香港	中華人民共和国
第 1 0 9 回国際大会	2 0 2 7	7 月 2 日(金)～7 月 6 日(火)	ワシントン D.C.	アメリカ合衆国

(3) キャビネット会議

第 1 回キャビネット会議	2 0 2 6	7 月 2 5 日 (土)	ホテル函館ロイヤルシーサイド	函館市
第 2 回キャビネット会議	2 0 2 6	1 1 月 7 日 (土)	ホテル函館ロイヤルシーサイド	函館市
第 3 回キャビネット会議	2 0 2 7	1 月 3 0 日 (土)	ホテル函館ロイヤルシーサイド	函館市
第 4 回キャビネット会議	2 0 2 7	3 月 2 7 日 (土)	ホテル函館ロイヤルシーサイド	函館市

(4) ガバナー協議会

第 1 回ガバナー協議会	2 0 2 6	8 月 2 4 日 (月)	札幌パークホテル	札幌市
第 2 回ガバナー協議会	2 0 2 6	1 0 月 2 1 日 (水)	京王プラザホテル札幌	札幌市
第 3 回ガバナー協議会	2 0 2 7	3 月 1 5 日 (月)	京王プラザホテル札幌	札幌市

(5) オセアルフォーラム

東洋・東南アジアフォーラム	2 0 2 6	1 1 月 1 2 日(木)～ 1 1 月 1 5 日(日)	ペナン島	マレーシア
---------------	---------	-----------------------------------	------	-------

(6) 331-C 地区年次大会

年次大会前夜祭 (LCIF ゴルフ・ボーリング)	2 0 2 7	5 月 1 4 日 (金)	未定	函館市
代議員会・大会式典・懇親会	2 0 2 7	5 月 1 5 日 (土)	函館国際ホテル	函館市

(7) 331-C 地区引継会

現・次期コーディネーター 現・次期 Z C 現・次期委員長	2 0 2 7	5 月 1 6 日 (日)	函館国際ホテル	函館市
----------------------------------	---------	---------------	---------	-----

(8) 331MD 地区年次大会

代議員会・大会式典・懇親会	2 0 2 7	5 月 2 9 日 (土)	未定	未定
---------------	---------	---------------	----	----

(9) ガバナー公式訪問

公式訪問	2 0 2 7	別紙	別紙	別紙
------	---------	----	----	----

(10) 地区内事業

アイアンマンジャパンみなみ北海道 2 0 2 6	2 0 2 6	9 月 1 3 日 (日)	木古内町～北斗市	木古内町・北斗市
LCIF・WYPT 合同ゴルフコンペ	2 0 2 6	1 0 月 1 0 日 (土)	ウインザー CC	洞爺
331-C 地区合同ビーチクリーン (拾う奉仕から未来の子供を守る奉仕へ)	2 0 2 7	5 月～6 月	松前	松前

※ (10) は全員参加でお願いします！

3 3 1 - C 地区内クラブ周年行事予定表

(2 0 2 6 年 7 月 ～ 2 0 2 7 年 6 月)

クラブ名	創立	開催月日	曜日	開催場所
函館LC	7 0 周年	2026年9月27日	(日)	ホテル函館ロイヤル
函館北斗LC	6 5 周年	2026年10月16日	(金)	函館国際ホテル
北檜山 L C	5 0 周年	2026年11月8日	(日)	ふれあいプラザ
伊達ライオンズクラブ	6 5 周年	2026年10月3日	(土)	ホテルダッテル
函館一楽ライオンズクラブ	5 周年	2027年5月29日	(土)	函館国際ホテル
江差ライオンズクラブ	6 5 周年	2027年5月6月頃		未定

《引き継ぎ品一覧》

- | | | | |
|----|---------------|------------------------|---------------|
| 1 | リボン赤 (中) 18 個 | リボン白 (中) 7 個 | リボン赤 (小) 10 個 |
| | リボン白 (小) 15 個 | リボン黄 (中) 4 個 | |
| 2 | シェブロンモナーク | 1 箱 | |
| 3 | 過去の会議ファイル | 1 箱 | |
| 4 | 腕章 | 73 個 | |
| 5 | LCIF | 1 箱 | |
| 6 | 投票箱 | 5 個 | |
| 7 | ガバナーキー | | |
| 8 | 式典用名札プレート | 114 ケ | |
| 9 | ジェラルミンケース | 3 ケース (過去資料) | |
| 10 | 投票パーテーション | 4 | |
| 11 | CAB 旗 | 1 組 | |
| 12 | 献花台 | | |
| 13 | お盆 | 2 ケ (大 1・小 1) | |
| 14 | 目録 | 1 ケ | |
| 15 | ガバナー印 | 1 ケ | |
| 16 | 年次大会 DVD | 51・52・55・61・69・70・71 回 | |
| 17 | キャビネット事務局看板 | | |
| 18 | ライオンマーク | (大) 1 ケ (小) 1 ケ | |
| 19 | LCIF キット | 1 組 | |
| 20 | 国旗 | 2 ケ | |
| 21 | ライオンズ旗 | 1 ケ | |
| 22 | 会議用卓上名札 | 67 ケ | |
| 23 | 大会プラカード | | |
| 24 | パンチ (強力) | 1 台 | |
| 25 | ホチキス (強力) | 1 台 | |
| 26 | テプラ本体 | 1 台 | |
| 27 | 裁断機 (強力) | 1 台 | |
| 28 | シュレッダー | 1 台 | |
| 29 | スライダー | 1 台 | |
| 30 | YCE 横断幕 | 1 枚 | |

2026 年 7 月 3 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

2025—2026 年度

地区ガバナー

幹 117 - 事

高橋 伸介
阿部 裕章





ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
函館キャビネット事務局
〒041-0806 函館市美原 5 丁目 36-6
TEL:080-6613-2600 FAX:(0138)46-1782
E-mail:lc331c_hakodate-cab@lionsclubs-331c.org



2026 年 7 月 2 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
各ライオンズクラブ 御中

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
地区ガバナー L 作並 真一

ベネズエラ大地震被災地へのご支援のお願い

拝啓 盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素はキャビネットの運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、添付の文書の通り LCIF 日本より支援協力の依頼を承りました。ベネズエラ大地震では、人的被害・建物被害ともに甚大であり、復旧には長期的な支援と国際的な協力が不可欠です。

つきましては、会員お一人 1,000 円以上のご寄付のご協力をお願いしたいと存じます。

今回地区では取り纏めはいたしませんので各クラブにて通常の寄付報告書にて提出をお願い致します。お手数をお掛けいたしますが何卒よろしくお願い致します。

皆様のご支援ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

LCIF よりベネズエラ大地震被災地へのご支援のお願い



Photo by: Jesus Vargas



Photo by: Manaura Quintero

2026年7月16日

ライオンズクラブ会員の皆様へ

2026年6月24日に南米ベネズエラを襲った2度の大地震により、地域は壊滅的な打撃を受けました。今日現在死者4830人と報じられておりますが、発災から半月がたった今もその数は増え続け、さらに増える見込みです。家を失った人は18,000人以上で、生活を取り戻すには何年もの期間を要するだけでなく、国際的な支援が不可欠です。

この大災害に対し、LCIF は20万ドルの大災害援助交付金を提供し、南米諸国のライオンズクラブを中心に支援を開始しました。これから長い間続く復興への支援のため、LCIF は災害支援としてベネズエラ地震指定寄付を受け付けます。

クラブまたは個人でベネズエラ地震指定寄付をいただける際には、通常のクラブ寄付報告用紙で「災害指定」をお選びいただき、Venezuela と備考にご記入ください。

各地区キャビネット事務局でお取りまとめをくださる場合には、地区キャビネットからの寄付方法に従いご協力ください。

会員お一人1,000円以上の寄付ご協力をいただけましたら幸いです。ご指定いただいた寄付は、100%ベネズエラ地震被災地支援のために使用されます。

皆様のご支援とご協力に、心から感謝申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会

LCIF 理事 鶴嶋 浩二

LCIF 日本担当会則リーダー 鈴木 誓男

LCIF 東日本エリアリーダー 阿久津隆文

LCIF 西日本エリアリーダー 高岡英治

寄付の手続き等本件に関するお問い合わせ：ライオンズクラブ国際協会 OSEAL 調整事務局 LCIF 課

LCIFTokyo@lionsclubs.org

マンスリーレポート

(2026.3～2026.6)

[illegible]

331-C		R		Z		クラブ名		アクティビティ		努力奉仕		会員補助		会員内訳		家族会員		学生会員		レオパイクン会員		若年成人会員		創会出席率		正会員		子会員		女性内訳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
地区								件数	金額	時間	時間	前月	入会	退会	当月	女性	正会員	不在	名義	終身	優待	賛助	支部	世帯数	子会員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員	特別会員	会費員

LCIF 状況

(2026.3～2026.6)

LCIF献金実施状況一覧 2026年 3月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	20	1,518
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	23	2,300	0	0	0	0	23	2,300	47	2,452
		奥尻	0	0	0	0	0	0	1	110	1	110	1	110
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	48	1,283
		函館北斗	0	0	0	0	0	0	1	44	1	44	27	697
		木古内知内	0	0	19	1,900	0	0	1	44	20	1,944	39	2,058
		松前	0	0	0	0	0	0	1	44	1	44	1	44
R合計			0	0	42	4,200	0	0	6	286	48	4,486	183	8,162
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	1	44	1	44	75	2,060
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	1,371
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	370
		黒松内	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	3	316
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		倶知安	0	0	1	10	0	0	1	44	2	54	64	1,379
		小樽みなと	0	0	42	1,260	0	0	1	44	43	1,304	86	2,556
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	1,567
R合計			0	0	43	1,270	0	0	4	154	47	1,424	385	10,289
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	2	376	2	376	60	2,648
		洞爺	0	0	2	112	0	0	1	44	3	156	129	2,287
		伊達	1	1,000	0	0	0	0	1	66	2	1,066	8	4,547
	2	登別	0	0	0	0	0	0	2	105	2	105	13	257
		室蘭東	3	3,000	0	0	0	0	2	281	5	3,281	115	62,203
		白老	0	0	0	0	0	0	2	171	2	171	63	1,283
R合計			0	0	0	0	0	0	1	66	1	66	10	206
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	76	1,013
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,301
		函館元町	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	3	761
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	9	1,354
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	1	22
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館中央	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	3	444
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	1	22	1	22	1	22
R合計			1	1,000	0	0	0	0	1	44	2	1,044	3	1,058
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	1	21	1	21	30	1,441
		静内	0	0	0	0	0	0	2	65	2	65	126	8,086
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	884
		苫小牧ハス	0	0	0	0	0	0	2	106	2	106	50	4,659
	2	苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	2	107	2	107	126	12,903
		安平	0	0	0	0	0	0	2	127	2	127	32	3,254
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3,023
R合計			0	0	0	0	0	0	1	21	1	21	92	2,686
R合計			0	0	0	0	0	0	10	447	10	447	554	36,936
地区合計			5	5,000	87	5,582	0	0	38	2,172	130	12,754	1,689	134,793

LCIF献金実施状況一覧 2026年 4月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	1	8	1	8	21	1,526
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3	48	2,455
		奥尻	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	111
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	1	16	1	16	49	1,299
		函館北斗	0	0	0	0	0	0	1	6	1	6	28	703
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	1	8	1	8	40	2,066
		松前	0	0	0	0	0	0	1	6	1	6	2	50
R合計		0	0	0	0	0	0	7	48	7	48	190	8,210	
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	2,060
		余市	0	0	0	0	0	0	1	39	1	39	54	1,410
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	370
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	316
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		倶知安	0	0	50	990	0	0	0	0	50	990	114	2,369
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	2,556
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	1,567
R合計		0	0	50	990	0	0	1	39	51	1,029	436	11,318	
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	2,648
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129	2,287
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4,547
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	257
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	1	2,000	1	2,000	116	64,203
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	1,283
		登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	206
R合計		0	0	0	0	0	0	1	2,000	1	2,000	399	75,431	
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	77	1,014
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,301
		函館元町	0	0	0	0	0	0	1	10	1	10	4	771
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	10	1,355
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
		森	0	0	0	0	0	0	1	10	1	10	1	10
		函館中央	0	0	0	0	0	0	1	6	1	6	4	450
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
R合計		0	0	0	0	0	0	7	37	7	37	176	6,012	
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	1,441
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	8,086
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	884
		苫小牧ハスカップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	4,659
	2	苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	12,903
		安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3,254
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3,023
		苫小牧白鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	2,686
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	554	36,936	
地区合計		0	0	50	990	0	0	16	2,124	66	3,114	1,755	137,907	

LCIF献金実施状況一覧 2026年 5月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1,526
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	2,455
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	111
		函館一寒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	1,299
		函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	703
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	2,066
		松前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	50
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190	8,210	
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	1	43	1	43	76	2,103
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1,410
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	370
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	316
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		倶知安	0	0	1	10	0	0	0	0	1	10	115	2,379
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	2,556
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	1,567
R合計		0	0	1	10	0	0	1	43	2	53	438	11,371	
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	2,648
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129	2,287
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4,547
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	257
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	2	364	2	364	118	64,567
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	1,283
		登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	206
R合計		0	0	0	0	0	0	2	364	2	364	401	75,795	
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	1,014
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,301
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	771
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1,355
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
		森	0	0	32	640	0	0	0	0	32	640	33	650
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	450
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
R合計		0	0	32	640	0	0	0	0	32	640	208	6,652	
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	1,441
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	8,086
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	884
		苫小牧ハス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	4,659
	2	苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	12,903
		安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3,254
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3,023
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	554	36,936	
地区合計		0	0	33	650	0	0	3	407	36	1,057	1,791	138,964	

LCIF献金実施状況一覧 2026年 6月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1,526
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	2,455
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	111
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	1,299
		函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	703
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	2,066
		松前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	50
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190	8,210	
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	2,103
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1,410
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	370
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	316
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	2,379
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	2,556
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	1,567
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	670	
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	2,648
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129	2,287
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4,547
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	257
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118	64,567
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	1,283
		登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	206
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	401	75,795	
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	1,014
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,301
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	771
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1,355
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	650
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	450
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
		函館みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,066
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	208	6,652	
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	1,441
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	8,086
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	884
		苫小牧ハス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	4,659
	2	苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	12,903
		安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3,254
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3,023
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	2,686	
地区合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,791	138,964	

就任挨拶・活動方針

- 第二副地区ガバナー
- 地区コーディネーター
- 地区ゾーンチェアパーソン
- 地区委員長

この度、年次大会におきまして第二副地区ガバナーに承認して頂き誠にありがとうございます。会員の皆様には重ね重ね御礼申し上げます。

その責務の重さに身の引き締まる思いで一杯ではありますが、ライオンズクラブ国際協会331—C地区の発展の為に努めて参る所存でございます。

近年は世界情勢の変化、物価高騰、自然災害等、予想も出来ないことが起きておりますがその過程で多くの仲間と出会い、その仲間と考えを共有し地域社会への貢献、社会福祉、青少年育成にも貢献にもしていきたいと考えております。

作並ガバナーを支えながら331—C地区の発展のために邁進する所存でございます。

皆様のご指導、ご鞭撻とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第二副地区ガバナー L鈴木 秀作(苫小牧白鳥LC)

令和8年6月22日

キャビネット就任挨拶

公益財団法人日本ライオンズ委員長
室蘭東ライオンズクラブ 本所 光男

この度、ガバナーより公益財団法人日本ライオンズ委員会 委員長の委嘱を頂きました。副委員長には室蘭東ライオンズクラブ前会長金濱 元一ライオンです。偶然にも昨年と同じ委員会の役を拝命頂きました。大変光栄に思います。公益財団法人日本ライオンズは今期6年目のまだ歴史の浅い財団ですが様々な奉仕活動及び人道支援を通じて社会的弱者及び生活困窮者に対する救済や支援をしています。並びに青少年の健全な教育に関する事業に特化した組織です。其の活動は大変素晴らしい成果を上げております。主な事業内容は

全国特別支援学校フットサル大会の開催事業及び
児童養護施設での寺小屋事業
災害支援事業を行っております。

この委員会の資料は331-C地区の皆様に配布されていると思います。どうぞ一度目を通して下さいますよう、お願い致します。また、ガバナーから、改めてお願いの文章があると思いますが、ライオンズクラブ会員の皆様には、お一人2,000円の支援をお願い致します。是非、ご理解を頂き、ご支援ご協力の程宜しくお願い致します。函館キャビネット運営に対して全力で協力を致してまいります。一年間宜しくお願い致します。

本所 光男 拝

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

地区キャビネット幹事挨拶

地区キャビネット幹事 L 相原 慎太郎

このたび、331-C 地区キャビネット幹事を拝命いたしました L 相原慎太郎です。

地区ガバナーを支え、地区運営が円滑に進むよう、誠実かつ迅速な対応を心掛け、一年間全力で務めてまいります。

ライオンズクラブは、それぞれのクラブが地域に根差した奉仕活動を積み重ねることで、地域社会に大きな力を生み出しています。キャビネットは、その活動を支え、クラブ同士をつなぐ役割を担っています。私は幹事として、クラブとの連携を大切に、「相談しやすい」「動きやすい」キャビネットづくりを目指します。

また、各委員会や地区役員の皆様と力を合わせ、情報共有を徹底し、迅速で透明性のある運営に努めてまいります。一人では成し遂げられないことも、多くの仲間と協力することで大きな奉仕へとつながると信じています。

一年間、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【地区 CAB 会計就任挨拶】 L 嘉堂卓也

今期、地区 CAB 会計を務めさせていただきます函館臥牛 LC L 嘉堂です。

委員長、ZC、コーディネーター等を務めてきましてとうとう三役となりました。

会計は皆さんの大切な会費を扱う仕事なので会計監査にしっかり見ていただきながら間違いの無いよう努めます。また三役として皆さんの活動の助けになれるよう、今までの経験を活かしていきたいと思います。今期 1 年間宜しくご協力のほどお願い致します。

地区 GMT コーディネーター就任挨拶

この度、L.作並ガバナーより地区 GMT コーディネーターを拝命した倶知安 LC 所属の L.佐藤 裕です。

2 度目の GMT コーディネーターですが、前回 2020 年はコロナ感染症対策ため不完全燃焼で終わってしまいました。再度このような大役を仰せつかったことを名誉に思い GAT チームの一員として活動していきたいと思います。

今期の函館キャビネットは「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」のスローガンを掲げました。まさに『友愛と相互理解の精神』が仲間を増やし、楽しく笑顔で奉仕活動が続けることで地域社会に認められ、さらに仲間を増やす道と考えます。

今 GMT コーディネーターとしてできる事を考える時、各クラブ 3 役そしてクラブ GMT との連携を図り、それぞれ抱える問題を一つ一つ解決しながらライオンズとしての新しい活動様式を考えて、会員増強、会員親睦に努める事が重要と思い微力ながら頑張りたいと思います。

一年間ご指導、ご鞭撻くださいますようお願いいたします。

【地区GLTコーディネーター就任挨拶】

L 石 戸 保（松前LC）

このたび、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 GLT コーディネーターを拝命いたしました。身に余る光栄であると同時に、その重責に身の引き締まる思いであります。GLT の役割は、クラブの未来を担うリーダーの育成と、会員の皆様が持つ可能性を引き出し、高めていくことにあります。会員一人ひとりの学びと成長こそが、クラブの活性化、さらには地域社会への継続的な貢献につながると信じております。

これからの時代、私たちライオンズクラブも変化への対応が求められます。そのためには、柔軟な発想と行動力を備えたリーダーの存在が不可欠です。GLT として、地区ガバナーと緊密に連携しながら、地区全体の方針や目標に沿ったリーダー育成を進めてまいります。また、各クラブとも積極的に意見交換を行い、現場の声を大切にしながら、より実践的で効果的な研修やセミナー、ワークショップを企画・実施していく所存です。

会員の皆様が学びを通じて自信と誇りを持ち、仲間と共に支え合いながら地域に貢献していける、そんなクラブづくりを目指してまいります。今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

【 地区 GST コーディネーター就任あいさつ 】

地区 GST コーディネーター

L 種市 誠 （松前 LC）

（2026～2027）

この度、GST（グローバル奉仕チーム）コーディネーターを拝命致しました。

松前 LC 所属の L 種市 誠です。今期、初めて GST コーディネーターという役目をお預かりし、大変光栄に感じるとともに、その責任の重さを感じております。

GMT、GLT の各コーディネーターともしっかり連携を図り、ガバナーのスローガンである

「まず、自分がたのしもうぜ、そこからだよ」の言葉を大切にしながら、私自身も楽しみ、皆さまと共に実りある一年を築いてまいりたいと思います。

まだまだ不慣れな点もございますが、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

〈 活動方針 〉

- 地区 GMT および GLT コーディネーター、ならびに地区 GAT（グローバル・アクションチーム）ファシリテーター（地区ガバナー）と連携し、奉仕活動を通じた会員満足度の向上とクラブの活性化につなげていく。
- 各クラブにおいて奉仕事業の実施数および報告数（Lion Portal の活用）を増加して頂く。
- 地域社会へのインパクトを高めるための共同奉仕事業の提案を行い、地区内の活性化を図る。

2026～2027 年度 地区WYPTコーディネーター挨拶

地区 WYPT コーディネーター L 前川 弘亘

ライオンズクラブ会員の皆様、日頃より WYPT 活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

ライオンズクラブの活動は、一人ではできません。仲間がいるからこそ、楽しさが生まれ、その楽しさが地域への大きな奉仕につながるのだと私は感じています。

今年度の WYPT では、「まず自分たちが楽しみ、その輪を仲間へ、そして地域へ広げていく」ことを大切にしながら活動してまいります。気軽に参加できる活動を通じて、新しい仲間との出会いやクラブを越えた交流が生まれる一年になればと願っています。

その第一歩として、**2026 年 10 月 10 日（土）**、ウィンザーCC において「**LCIF・WYPT ゴルフコンペ**」を開催いたします。

ゴルフを通じて親睦を深めるとともに、LCIF への理解と支援の輪を広げることを目的とした大会です。競技だけではなく、仲間との交流を楽しめる一日にしたいと考えておりますので、ゴルフ経験を問わず、多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

皆様と笑顔で語り合い、楽しみながら奉仕の輪を広げられる一年にしていきたいと思えます。どうぞ本年度の WYPT 活動へのご理解とご協力、そしてゴルフコンペへのご参加を心よりお願い申し上げます。

ヘアドネーション寄贈（2026. 2月～2026. 6月）

L C 名	個数	子供	大人	不明
木古内・知内	2	0	2	0
岩内	1	1	0	0
倶知安	8	4	4	0
ニセコ	2	0	2	0
室蘭	1	0	0	1
登別	1	1	0	0
室蘭東	9	6	3	0
白老	8	1	7	0
函館臥牛	13	7	6	0
函館中央	4	1	2	1
静内	3	1	0	2
苫小牧白鳥	1	0	1	0
計	53	22	27	4

ヘッドネーション（2025.7月～2026.6月）

			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
R	Z														
1	1	函館													0
		江差													0
		北檜山													0
		奥尻													0
		函館北斗													0
		木古内・知内									1		1		2
		松前													0
		函館一楽													0
2	1	小樽		1											1
		余市			1				1			1			3
		岩内													0
		黒松内							2						2
	2	倶知安		3			2	2		5			1	2	15
		小樽みなと													0
		ニセコ		1	1		1		1		1			1	6
		小樽うしお			1										1
3	1	室蘭			1					1					2
		洞爺							5						5
		伊達													0
	2	登別			1							1			2
		室蘭東	1	3			1	1	5	1	2	1	3	2	20
		白老	1				3	2	2	3	3		2		16
		登別中央			1										1
4	1	函館東			1										1
		函館海峡													0
		上磯													0
		函館元町													0
		函館臥牛		28	5					13					46
	2	八雲													0
		森													0
		函館中央	2		3		2	2	1	2		2			14
		函館グリーン					99	23							122
		函館みなと													0
5	1	苫小牧													0
		静内			4			3			1			2	10
		新冠													0
		苫小牧ハスカップ													0
	2	苫小牧中央													0
		安平													0
		厚真													0
		苫小牧白鳥									1				1
合 計			4	36	19	0	108	33	17	26	8	5	7	7	270

地区 GET コーディネーター就任挨拶

L 菅原哲也（岩内ライオンズクラブ）

皆様、こんにちは。

このたび、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区の地区 GET コーディネーターを拝命いたしました、岩内ライオンズクラブ所属の L 菅原哲也です。

このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでおります。皆様のご支援とご協力をいただきながら、地区の発展に全力で取り組んでまいります。

新クラブ結成への挑戦、会員増強と定着、そして次世代リーダーの育成を三本柱として活動を推進してまいります。

作並ガバナーの方針を理解して、楽しみながら活動いたします。

どうか皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

活動方針

○ ミッション 1.5 の達成に向けて 2027 年 7 月までに世界会員数 150 万人を目指し、目標達成の為、地区 GMT との連携はもちろんのこと、各コーディネーターとも情報を共有して、GAT（グローバルアクションチーム）と連携し、会員維持及び増強、新クラブ結成に向けて活動していきます。

○新クラブ結成の推進の為、クラブ訪問を行い地域のニーズを調査して、新クラブ設立の可能性を検討する。また、結成まで継続的に支援する。

○ライオンポータルの活用、learn(学習センター)の受講や手続きの確認、ガイディングライオン講習の受講や案内の確認その他、関連会議への参加

【LCIF 地区コーディネーター就任挨拶】

331—C 地区 LCIF コーディネーター

L 林 謙治 （苫小牧中央 LC）

今期、LCIF 地区コーディネーターを拝命しました。前期は LCIF 5R 委員を一年間経験させて頂きました。近年も、世界の各地で紛争や自然災害に見舞われており、LCIF は世界中のライオンなどから寄付をいただき、交付金などを通じて、助けを必要とする人々に地域社会と国際社会の両方で人道支援に取り組むライオンズに資金を提供し、奉仕活動を支援しております。

【活動方針】

1) 今期の地区の献金目標は前期と同様に 15 万ドルです。

クラブからの 1 人当たり寄付金は、100 ドル献金を目指します。

100 ドル献金参加率 40%を目指す(前期は 21.1%)、地区内 0 ドルクラブ防止

2) MJF 献金拠出者を 20 名程度増やす（前期は 38 名）

クラブ会長（三役）、ZC、コーディネーター、LCIF 委員長などから拠出者を募る LCIF 活動の核になるのは LCIF メンバー、ZC、クラブ会長など

3) 会員交流事業（清掃活動、ボーリング大会、ゴルフコンペなど）や地区大会などで寄付をお願いする。

LCIF 献金は 100%助けを必要とする人々の支援に使われています。

皆様の LCIF100 ドル献金により地球裏側で貧困で食事も取れずやせ細った人たち 90 人に温かい食事を提供することなどができます。

今後とも、皆様のご理解とご協力、そしてご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第 1R 第 1Z

ZC L 松浦 慎太郎(函館一楽 LC)

このたび、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区第 1 リジョン 第 1 ゾーンのゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、函館一楽ライオンズクラブ所属の松浦慎太郎と申します。謹んでご挨拶を申し上げます。

各クラブの皆様、そして作並真一地区ガバナーをはじめ、キャビネット構成員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素よりライオンズ奉仕活動の発展のためご尽力を賜り、また、私の所属クラブに対し格別のご指導ご厚誼を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

私が所属する函館一楽ライオンズクラブは2022年12月5日に誕生した新しいクラブです。私自身ライオンズクラブの活動はそこからスタートしましたので、経験も少なく勉強中の身ではありますが、入会してから多くの先輩諸氏のご指導のもと、微力ながらライオンズ運動の一翼を担ってまいりました。このたび、地区とクラブをつなぐ要職であるゾーンチェアパーソンを拝命するにあたり、その職責の重さを改めて痛感し、身の引き締まる思いでございます。

ゾーンチェアパーソンの使命は、地区ガバナー方針を各クラブへ的確に伝え、また各クラブの実情と声を地区へ届ける「橋渡し役」を誠実に果たすことにありと認識しております。本年度は、ライオンズの不変のモットーである「We Serve」、地区ガバナースローガン「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」、キーワード「まず、自分がたのしもうぜ、そこからだよ」のもと、第 1 ゾーン内8クラブの自主性と個性を尊重しつつ、相互の連帯と協働を促進し、地区方針の確実な現場展開に努める所存でございます。

具体的には、会員増強と会員維持、LCIF への協力、青少年育成、ならびに地域に根ざした奉仕活動の充実を重点項目として掲げ、ゾーン内各クラブと一体となって着実に取り組んでまいります。未熟非力の身ではございますが、ガバナー方針の具現化に向け、誠心誠意務めてまいりる覚悟でございます。各クラブおよびキャビネット構成員の皆様におかれましては、何卒一年間のご指導ご鞭撻、ならびに温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【ゾーンチェアパーソン活動方針】

第 1R 第 1Z

ZC L 松浦 慎太郎（函館一楽 LC）

地区ガバナースローガン「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」キーワード「まず、自分がたのしもうぜ、そこからだよ」を胸に各クラブの更なる活性化を目指し、微力ではございますが活動してまいる所存であります。

地区ガバナー基本方針を踏まえて、3つを重点的に発信してまいります。

- 1、会員増強、指導力育成
- 2、LCIF へのご理解とご協力
- 3、奉仕活動の輪を広める

各クラブの皆様と重点項目の実現に向けて取り組んでまいります。
一年間どうぞよろしくお願いいたします。

ゾーンチェアパーソン就任挨拶

今期、第2リジョン・第1ゾーンのゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、小樽ライオンズクラブの熊澤龍一郎です。

私自身、このような大役を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいですが、もとより浅学非才の身ではございますが、拝命いたしました以上は、皆様のお力を借りながら、一年間全力でこの重責を全うする覚悟です。

今期、地区ガバナーは、ガバナーズローガンに「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」を掲げられております。

この言葉の通り、私たちが地域社会のために行うアクティビティは、義務感からではなく、志を同じくする「仲間」と共に、自らも「笑顔」で「楽しく」取り組むことの中にこそ、本当の価値があるのだと強く共感いたしております。

ゾーンチェアパーソンとしての私の最も重要な役割は、このガバナーの温かく力強い方針をゾーン内の各クラブへしっかりとお伝えすること。そして同時に、各クラブの皆様が日々感じている課題やご意見をキャビネットへと届ける「架け橋」となり、皆様がより活動しやすい環境を整えることだと考えております。

近年、会員減少や高齢化など、私たちを取り巻く環境には様々な課題がございます。しかし、だからこそ今期のスローガンの原点に立ち返り、まずは私たち自身が笑顔になり、魅力ある楽しいライオンズクラブを作っていくことが、結果として新しい仲間を呼び込むことにも繋がると確信しております。

ゾーン内のクラブが、これまで以上に緊密に連携し、互いに手を取り合って「笑顔あふれる奉仕の輪」を広げていけるよう、微力ながら誠心誠意つとめてまいります。

何卒、皆様の温かいご指導とご鞭撻、そして変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ① 現在の会員
② 新会員増強目標
③ 家族会員の内規は有りますか？ 有・無
④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 有・無
⑤ 今年度の会長スローガン
⑥ 今年度の会長方針
⑦ 今年度の改革方針
⑧ アクティビティ内容
⑨ アクティビティ新規
⑩ 継続アクティビティの見直しは有りますか

第1回ガバナー諮問委員会 開催予定日： 8 月 22日（土） 開催場所 小樽ニュー三幸
※ セミナー開催の内容 LIONSのACTについて

(ZCへの質問) ⑪ ゾーンチェアパーソンの目標は？

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
小樽LC	① 期 首 44名 (家族会員 8名) (女性会員 4 名) 正会員 36 名 ② 新会員増強目標 2 名 (一般会員 2 名) (家族会員 名) (女性会員 1 名)	③ 有 ④ ⑤ 地域と共に、広げる奉仕の輪 ⑥ 市民参加型のアクティビティを通じて地域とのつながりを深め、地域とともに奉仕の輪を広げる活動を推進します。 ⑦ 正会員の増強に努めるとともに、支部クラブなど新たな仲間づくりの仕組みを検討し、持続可能なクラブ運営を目指します	⑧ 少年少女空手道選手権支援 少年少女合唱団定期演奏会支援 街頭献血協力、交通安全協力 千年の森植樹協力、 オレンジ・ランプ映画上映会 ⑨ チャリティ屋台出店(検討中) ⑩	⑪ 支部クラブ結成の経験がある ライオンにアドバイスを求める
余市LC	① 期 首 48 名 (家族会員 名) (女性会員 4 名) 正会員 48 名 ② 新会員増強目標 1 名 (一般会員 1 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 無 ④ 無 ⑤ ライオンズの歴史と絆に WeServe ⑥ 出席率の向上 ⑦ 歴史を継承しつつ、例会内容の変化	⑧ 例年と同じ ⑨ 無 ⑩ 検討中	⑪ 比較的メンバーの年齢層の高い クラブであり、活発なACTを すると参加率も高まり良いと思う。
岩内LC	① 期 首 39 名 (家族会員 8 名) (女性会員 10 名) 正会員 31 名 ② 新会員増強目標 名 (一般会員 2 名) (家族会員 1 名) (女性会員 1 名)	③ 有 ④ 無 ⑤ 強い気持ち、優しい心で ウィサーブ ⑥ いろいろなアクティビティーを通じて、地域の方々へのPRに力を入れる ⑦ 移動例会を増やし、楽しい例会を行い、例会出席率を上げる	⑧ 非行防止、薬物乱用防止教室 クリーンナップ活動 岩内ライオンズフェスティバル ⑨ 未定 ⑩	⑪ 地域密着のACTの継続と 若手会員の増強に協力する
黒松内LC	① 期 首 6 名 (家族会員 名) (女性会員 1 名) 正会員 6 名 ② 新会員増強目標 2 名 (一般会員 2 名) (家族会員 名) (女性会員 1 名)	③ 有 ④ ⑤ 地域社会に 汗する奉仕！ ⑥ ライオンズライフを楽しもう！ ⑦ 会員増強あるのみ	⑧ 町内イベントでの手伝いとクレープの販売 ⑨ 検討中 ⑩	⑪ メンバーの人数が少ないのが 気がかりである。 支部クラブの活動が鍵となるのか クラブ訪問時に確認したい。
〇〇LC	① 期 首 名 (家族会員 名) (女性会員 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	⑧ ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪
〇〇LC	① 期 首 名 (家族会員 名) (女性会員 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	⑧ ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪
ZC補足事項				

就任挨拶

第2R 第2Z

ZC 吉村 政哉(ニセコライオンズクラブ)

この度函館キャビネットのL 作並真一ガバナーのもと第2R 第2Zのゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、ニセコライオンズクラブのL 吉村政哉です。その職責の重さに身が引き締まる思いですが、ゾーン内各クラブの皆様のご協力をいただきながら、誠心誠意その責務を全うする所存です。

今年度、L 作並真一ガバナーは、「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」を基本方針として掲げられています。私はガバナーと各クラブを繋ぐ架け橋として、この方針を深く理解し、ゾーン全体で共有・実践できるよう努めてまいります。

初めての経験であり、皆様には何かとご不便やご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、皆様の温かいご指導とご協力を心よりお願い申し上げますとともに、ゾーンの発展と楽しい奉仕の輪を広げるため、全力で邁進いたします。

1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ゾーンチェアパーソン活動方針

第2R 第2Z

ZC 吉村 政哉(ニセコライオンズクラブ)

今年度は、L 作並真一ガバナーの「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」という方針のもと、メンバーの皆様が笑顔で楽しく活動できる環境づくりを大切にしていきたいと思います。

初めての経験ではございますが、各クラブの皆様と温かい対話を重ね、寄り添いながら責務を全うする所存です。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第3R 第1Z ZCL山木博孝（伊達LC）

このたび、第3R第1Zゾーンチェアパーソンを務めさせていただくことになりました、伊達LC所属のL山木博孝です。

伝統あるライオンズクラブの一員として、このような大役をお引き受けすることに身の引き締まる思いでおります。

今年度の地区ガバナースローガンは「まず、自分がたのしもうぜ、そこらからだよ」です。

奉仕活動もクラブ運営も、まず私たち自身が楽しみ、仲間との交流を深めることが、地域へのより良い奉仕につながるものと思っております。

微力ではございますが、会員の皆さまとの友情と奉仕の精神を大切にしながら、クラブの発展と地域社会への貢献のために誠心誠意努めてまいります。どうかご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。一年間、よろしくお願いいたします。

【ゾーンチェアパーソン活動方針】

第3R第1Z ZC L山木博孝（伊達LC）

このたび、第3R第1Zゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、伊達LC所属のL山木博孝です。

地区ガバナーキーワード『まず、自分がたのしもうぜ、そこからだよ』を受け、私は各クラブが楽しみながら奉仕活動ができるよう、微力ながらお手伝いをさせていただきたいと思っております。

主な活動方針は地区ガバナーの基本方針を踏まえて以下の通りです。

1. 会員増強と育成を推進する
2. LCIFへの理解と支援の促進を図る
3. 地域に根差した奉仕の継続と新規活動への挑戦を推奨する

この一年、ZCとして皆さんと一緒に楽しく、そして誇りをもって行動していきたいと思いますので、各クラブの皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ガバナースローガンを常に思い出して、楽しく活動していきましょう！

- ① 現在の会員
② 新会員増強目標
③ 家族会員の内規は有りますか？ 有・無
④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 有・無
⑤ 今年度の会長スローガン
⑥ 今年度の会長方針
⑦ 今年度の改革方針
⑧ アクティビティ内容
⑨ アクティビティ新規
⑩ 継続アクティビティの見直しは有りますか

(ZCへの質問) ⑪ ゾーンチェアパーソンの目標は？

第1回ガバナー諮問委員会 開催予定日： 8月8日（土）
開催場所 伊達市 ホテル ダッテル
※ セミナー開催の内容 ・自己紹介 ・各クラブ会長方針の発表と意見交換 等 ・ガバナーの活動方針の確認

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
室蘭LC	① 期 首 24 名 (家族会員 7 名) (女性会員 3 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 3 名 (一般会員 3 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ ⑤ 会員増加に全力投球 活気あるクラブ運営を目指す ⑥ とにかく会員数減少(正会員2名、逝去1名)に伴い、会員増強に力を入れないとクラブの存続が厳しい状況に陥る状態である。会員にもノルマを持たせて必ず同行して会員増強を図る。 ⑦ LCIFについて→MJF1件(1000ドル) 残り16名×50ドル = 800ドル 合計1800ドル	⑧ 何かとアクティビティを企画し実行すると(パーティー系)会員の負担が多く、ライオンズとして本来の奉仕活動、会員一人一人が体を使っての地域社会に貢献できる活動を企画する ⑨ 検討中 ⑩ 毎年12月に開催している幼児童絵画展は毎年参加児童が増えており、賞(表彰方法の見直し)を含めて検討する(毎年、室蘭市内の小学校、幼稚園、保育所へ絵画を依頼)	⑪ 地域に根差した活動と会員増強を主眼とした目標を設定されている会長に深く同感します。少しでも力になれるような活動をしたいと思います
洞爺LC	① 期 首 78 名 (家族会員 18 名) (女性会員 7 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 2 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ ⑤ 楽しい笑顔でWe Serve 奉仕の喜びを分かちあう ⑥ 地域の活性化に協力し、楽しんで奉仕と地域貢献するクラブを目指す ⑦ クラブ内のコミュニケーションの場を増やしていく 例会や様々な活動を通してお互いの理解を深め強い信頼関係を築くことで、会員維持に努めていく	⑧ 知的障害施設「清水友愛の里」園生との交歓会、洞爺LC旗争奪・洞爺湖新人少年野球大会の主催、ヘアードネーションへの協力、子供食堂への協力など ⑨ 有 薬物乱用防止セミナー ⑩ 有 ・ 無	⑪ 大人数のクラブならではのご苦労もあるのかと思いますが、会員同士のコミュニケーションを深めるという改革方針に少しでも力になれるように努力します。
伊達LC	① 期 首 47 名 (家族会員 9 名) (女性会員 9 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 3 名 (一般会員 3 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ 無 ⑤ 笑顔でWe Serve ⑥ 笑顔を原動力とした奉仕活動の推進、仲間と共に成し遂げる共生の実践。地域課題への積極的な寄り添いと行動「笑顔でWe Serve」の浸透と発信 ⑦ 積立金に頼らない予算執行体制 事務局体制の再構築	⑧ 清掃活動、献血呼びかけ、交通安全運動「旗の波運動」参加、西胆振少年野球連盟への助成、新入学児童への交通安全啓発、歳末助け合い運動募金、緑の羽根募金 ⑨ 無 ⑩ 無 内容	⑪ 会員が笑顔を絶やさないようなクラブ運営をスローガンに掲げた会長の活動の力になれるように努力します
登別LC	① 期 首 31 名 (家族会員 10 名) (女性会員 13 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 2名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ ⑤ 二つの伝統 一つの志、未来へ繋ごう新たなWe Serve ⑥ 原点回帰～心をつなぐ、奉仕の未来～・「原点回帰～We Serve」の精神を再確認する・融和と結束～合併後の一体感を育み、信頼関係を築く・奉仕の充実～地域に必要とされる活動を展開する・会員主体～誰もが参加しやすく、活躍できるクラブ運営を行う。・未来への継承～次世代へ誇れるクラブを築く ⑦ 上記会長方針の取組	⑧ 海岸清掃・チャリティ行事・タオルボランティア・福祉施設訪問等 ⑨ 検討中 ⑩ 有 ・ 無 合併によりアクティビティが2倍となるので、新規も視野に再考してまいりたい	⑪ 2クラブの合併という難局に立ち向かう会長に少しでも助力ができるように努力するつもりです
室蘭東LC	① 期 首 47 名 (家族会員 4 名) (女性会員 7 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 3 名 (一般会員 2 名) (家族会員 1 名) (女性会員 1 名)	③ 無 ④ ⑤ 今できることを、心をこめて We Serve ⑥ 「大きなこと」「派手なこと」を目指すのではなく、無理をせず、背伸びをせず、会員一人ひとりが力を合わせ、思いを込めた活動を少しでも多く行動に移していく一年にしたいと考えています。 ⑦ 会員の例会出席率向上を図るため、例会の開催場所を会員が経営する飲食店などへ積極的に広げ、堅苦しさを感じさせない、参加しやすく親しみやすい例会づくりに取り組みます。	⑧ ・花壇整備・清掃活動・チャリティーダンスパーティー・イタンキ浜清掃・青少年育成月道大会・青少年育成ジュニアサッカー大会・室蘭市交通安全人と旗の波運動 等 ⑨ 他地区や他リジョンのLCとの交流を積極的に進めます。 11月には、室蘭に創設みなとLCの皆様をお迎えし、合同例会の開催を予定しております。 ・LC以外の奉仕団体や経済団体とも交流を深め、視野を広げ、今後のクラブ運営や奉仕活動に生かしていきたいと考えています。 ⑩ これまで継続して実施してきた「室蘭市障がい者と保護者のためのボウリング大会」は、ボウリング場の閉館により継続が困難となりました。今後は、障がい者と保護者の交流と親睦という趣旨を大切に、新たな形で実施を検討しております。	⑪ 堅実で地域とともに活動されている室蘭東LCならではの活動方針だと感服しました。新たに他クラブとの協働にも取り組むとのことですので、少しでもお力添えできればと思います。
白老LC	① 期 首 40 名 (家族会員 11 名) (女性会員 1 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 1 名) (家族会員 1 名) (女性会員 1 名)	③ 無 ④ 無 ⑤ 多文化に学び、奉仕で結ぶ、若者が輝く白老へ ⑥ まずは会員増強、そのための組織改革とリーダーの育成 ⑦ 例会への参加率をあげるために例会と理事会を見直す	⑧ 献血、交通安全、青少年育成、地域社会への貢献、健康増進講習、各交流会 ⑨ 無 組織改革を行ったので混乱を防ぐため特に新しいことは考えていない ⑩ 無 特に会長としての見直しはしていない。委員会に任せている	⑪ さすが「国立民族博物館ウボボイ」を擁する白老LC。多文化に学ぶという会長スローガンに感銘を受けました。さらなるクラブ発展のための一助となるように努力します
ZC補足事項				

【ゾーンチェアパーソン就任のご挨拶】

第 4 R 第 1 Z

ZC L 濱西 恵利子（上磯 LC）

このたび、ライオンズクラブ国際協会 3 3 1 - C 地区 第 4 R 第 1 Z のゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、上磯 LC L 濱西 恵利子でございます。

歴史と伝統あるこの役職をお引き受けするにあたり、大変光栄に思うとともに、その責任の重さを感じております。

L 作並 真一地区ガバナーの熱い想いと笑顔を、各クラブの皆さまへお伝えできるよう努めてまいります。

また、私は次のことを基本方針として活動いたします。

1. たくさんの新しい仲間を迎えるとともに、今いる仲間を大切にする
2. クラブ間のつながりを強くする
3. 地域が求めている奉仕活動を推進する

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。そして、まず、私が楽しめます😊

- ① 現在の会員
- ② 新会員増強目標
- ③ 家族会員の内規は有りますか？ 有・無
- ④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 有・無
- ⑤ 今年度の会長スローガン
- ⑥ 今年度の会長方針
- ⑦ 今年度の改革方針
- ⑧ アクティビティ内容
- ⑨ アクティビティ新規
- ⑩ 継続アクティビティの見直しは有りますか

(ZCへの質問) ⑪ ゾーンチェアパーソンの目標は？

第1回ガバナー諮問委員会 開催予定日： 8 月 5日（水）
開催場所： ホテル秋田屋
※ セミナー開催の内容 第2Zと合同開催。初回顔合わせと作並ガバナーの方針をしっかりと伝える。 各クラブの会員増強を積極的に後押しする。

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
函館東LC	① 期 首 44 名 (家族会員 0 名) (女性会員 15 名) 正会員 44 名 ② 新会員増強目標 2 名 (一般会員 2 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ / ⑤ つなぐ絆、育む未来 キーワード 輪 ⑥ 何事にも楽しんで取り組んでいきたい。楽しい例会、楽しいACT ※ライオン歴が浅い会員が増えてきましたが、先輩ライオン、若いライオンが より絆を深め、一丸となって前に進んでいきたい！ ⑦ 現在のところ改革の必要ないと考えております。	⑧ ・函館東LC旗争奪函館地区U-12サッカー大会(夏) ・函館東LC杯U-12フットサル大会(冬) ・ひとり親家庭食料支援(支部：函館東こどもサポ→クラブ) ⑨ 無 新規ACT内容 新規ACTの予定はありませんが、会員より提案があれば前向きに検討していきたいと思います ⑩ 無 内容	⑪ ⑥の通り、新会員、若い会員が多く、勢いがあるクラブだと感じている。このままの勢いを保ちながら、会員増強目標やアクティビティを遂行できるよう後押しする。
函館海峡LC	① 期 首 4 名 (家族会員 1 名) (女性会員 1 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 2 名 (一般会員 1 名) (家族会員 1 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ ⑤ 感謝の気持ちでウィサーブ ⑥ 毎日一步確実に前進しよう ⑦ 会員増強とクラブの活性化	⑧ ・献血呼掛と商品提供 ・公園清掃活動 ・使用済み切手回収活動 ⑨ 無 新規ACT内容 ⑩ 無 内容	⑪ 少ないメンバーながら、生田会長の方針である「毎日一步確実に前進」という言葉が響いている。活動内容と会員増強に向けて陰ながら支えられたらと思う。
上磯LC	① 期 首 27 名 (家族会員 6 名) (女性会員 2 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 2 名 (一般会員 2 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ ⑤ 「みんなの力で 地域のために」 ウィサーブ キーワード「団結」 ⑥ ・仕事も奉仕活動も笑顔が大事。笑顔ある場からは信頼と団結が生まれる。笑顔で語りながら行うクラブ活動や地域活動は、人をつなぐ輪となり絆と希望となるでしょう。集まることが楽しいクラブにしたいです。 ⑦ ・特にないです。今の笑いのある雰囲気を大事にしたいです。	⑧ ・子ども会対抗わんぱく相撲大会 ・春・秋の交通安全街頭啓発 ・北斗市民ゴルフ大会 ※いずれも長期継続事業です。 ⑨ 無 新規ACT内容 ・会員の高齢化で継続事業を実施するだけで精一杯です ⑩ 無 内容	⑪ 前期は2名の会員が逝去し、また、会員の高齢化が顕著である。新会員は是非若いライオンが増えるよう、クラブメンバーとしても努めたい。
函館元町LC	① 期 首 31 名 (家族会員 0 名) (女性会員 3 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 2 名 (一般会員 2 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 無 ④ 無 ⑤ “return to one’s roots” 原点回帰 ⑥ 原点であるアクティビティの充実 ⑦ スリーブ会員を起こす	⑧ ・献血ACT(年間36回) ・ハダース函館元町車いすバスケットボール支援 ・ハンディーキャップ水泳大会 ・ミーナ募金チャリティビアパーティー ⑨ 有 新規ACT内容 ないしょ(委員会も通していないから) ⑩ 無 内容	⑪ アクティビティが活発なクラブの印象です。このままの勢いで会員増強やアクティビティが達成できるようにサポートする。
函館臥牛LC	① 期 首 3 名 (家族会員 1 名) (女性会員 2 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 4名 (一般会員 2 名) (家族会員 2 名) (女性会員 2 名)	③ 有 ④ ⑤ 会員みんなで地域のためになる活動をしよう ⑥ 楽しく活動 ⑦ なし	⑧ 献血活動、中学1年生バスケット選抜大会、合同ゴミ清掃 ⑨ 有 新規ACT内容 合同ビアパーティー ⑩ 無 内容	⑪ キャビネット会計兼会長L嘉堂のもと、新会員の勧誘を活発に行っている和聞いています。見守りつつも、あと一押しの際には達成に向けて力になるようにと考えている。
ZC補足事項				

【ゾーンチェアパーソン活動方針】

第4R 第2Z L 河野 昭次（森 LC）

この度、第4R第2Zゾーンチェアパーソンに就任いたしました

森ライオンズクラブ所属のL河野昭次と申します。

活動方針といたしましては地区ガバナーの提唱するスローガン『 真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう 』と基本方針を各クラブへ伝えご理解いただくように努めるとともに各クラブよりのご意見ご提案をキャビネットに伝えるパイプ役になれるように努力したいと思いをします。

また、各クラブと連携を図り会員増強、退会防止等の課題を少しでも解決していけるように頑張っていきたいと思いをします。

各クラブの皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

- ① 現在の会員
② 新会員増強目標
③ 家族会員の内規はありますか？ 有・無
④ 家族会員の内規の作成予定はありますか？ 有・無
⑤ 今年度の会長スローガン
⑥ 今年度の会長方針
⑦ 今年度の改革方針
⑧ アクティビティ内容
⑨ アクティビティ新規
⑩ 継続アクティビティの見直しはありますか

(ZCへの質問) ⑪ ゾーンチェアパーソンの目標は？

第1回ガバナー諮問委員会 開催予定日： 8月1日-8日（土）
開催場所
※ セミナー開催の内容

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
森LC	① 期首 32名 (家族会員 0名) (女性会員 1名) 正会員 32名 ② 新会員増強目標 1名 (一般会員 1名) (家族会員 0名) (女性会員 0名)	③ 無 ④ 無 ⑤ 仲間と笑顔で未来を創ろう ⑥ 会員相互の親睦 ⑦ 参加したくなる例会づくり	⑧ ライオンズ文庫・在町3クラブ合同例会 交通安全アウト・フットサル大会 中学校野球大会・剣道大会 各祭事協賛金 ⑨ 有・無 新規ACT内容 森高校野球部への継続寄付 ⑩ 有・無 内容	⑪ キャビネットからの情報をすぐに反映できる位置にいますのでお互いに協力し合いクラブ活動を活性化していきたい
八雲LC	① 期首 37名 (家族会員 7名) (女性会員 0名) 正会員 37名 ② 新会員増強目標 5名 (一般会員 3名) (家族会員 2名) (女性会員 0名)	③ 無 ④ 無 ⑤ 今を繋ぎ、次代を創る 地域と歩む奉仕へ ⑥ クラブの伝統を継承しながら、次世代へ繋がるクラブづくりを目指します。 ①会員相互の親睦と参加しやすい環境づくり②地域に寄り添う奉仕活動の推進③次世代を見据えた会員増強 ④楽しく魅力あるクラブ運営 ⑦ これまで諸先輩方が築いてこられた伝統や活動を大切に継承しながら、時代に合う運営へと少しずつ進化させて行き、若い世代も参加しやすい地域から必要とされるクラブづくりを進めていきます。	⑧ 青少年健全育成事業の主催・協力 (野球・サッカー・バレーボール大会等) ライオンズ文庫 図書寄贈、交通安全運動 北海道赤十字への協力(献血呼びかけ) ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪ 八雲とは近隣のクラブなので昨年同様、交流を密にし良好な環境を維持していく
函館グリーンLC	① 期首 12名 (家族会員 7名) (女性会員 5名) 正会員 12名 ② 新会員増強目標 1名 (一般会員 1名) (家族会員 0名) (女性会員 0名)	③ 無 ④ 無 ⑤ 心を一つに 笑顔でWe serve ⑥ グリーンLCの特徴を生かそう ⑦ 会員増強に力を入れる	⑧ YCE生受入れ(例年継続中) ヘッドネーション ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪ 会員増強の達成
函館中央LC	① 期首 20名 (家族会員 5名) (女性会員 0名) 正会員 20名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 0名) (家族会員 2名) (女性会員 0名)	③ 無 ④ 無 ⑤ 「慈愛と感謝」 キーワード「our smiles aer contagious、～私達の笑顔は伝染します～」 ⑥ 協力と調和 クラブメンバーと楽しい1年にしたい ⑦ 良いと思うことは とりあえずチャレンジ！！	⑧ 第36回青少年空手道競技会 ヘッドネーション(昨年度13件) 北斗中央IC植樹・草かりACT 献血ACT(年間12回)・五稜郭公園花壇植花ACT ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪ 礼会出席率向上の達成
函館みなとLC	① 期首 21名 (家族会員 8名) (女性会員 7名) 正会員 21名 ② 新会員増強目標 6名 (一般会員 3名) (家族会員 3名) (女性会員 0名)	③ 無 ④ 無 ⑤ 伝統をつなぎ、新しい一歩へ ⑥ 当クラブ12年目という節目を迎えこれまで先輩方から学んだ奉仕の精神とクラブ運営と理念を大切にしながら時代に合った新しい発想や取組みも積極的に挑戦していきたい ⑦ ①参加しやすいクラブづくり 議時間や運営方法の見直し、仕事や家庭と両立しながら参加できる環境を整えます ②デジタル化の推進 連絡や資料の電子化を進め、会員の負担を減らし、迅速で効率的なクラブ運営を目指す	⑧ 小学校への卓球台寄贈 ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪ ガバナーと共に様々な活動をサポートしていきたい。
〇〇LC	① 期首 名 (家族会員 名) (女性会員 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 無 ④ 無 ⑤ 無 ⑥ 無 ⑦ 無	⑧ 無 ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪ 無
ZC補足事項				

地区役員あいさつ

第5R第1Z ゾンチェアパーソン 新冠LC L田外 清

この度、第5R第1Zのゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、新冠ライオンズクラブの田外です。ライオンズ歴は約30年ではありますが、3年前にゾーン委員を経験し、今回ゾーンチェアパーソンということで、より身の引き締まる思いであります。キャビネットと各クラブの意見のキャッチボールがうまくいくように調整役に徹しながら、喫緊の課題である会員増強へ向けてこの一年間努力していく所存です。

各クラブの皆様のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

- ① 現在の会員
② 新会員増強目標
③ 家族会員の内規は有りますか？ 有・無
④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 有・無
⑤ 今年度の会長スローガン
⑥ 今年度の会長方針
⑦ 今年度の改革方針
⑧ アクティビティ内容
⑨ アクティビティ新規
⑩ 継続アクティビティの見直しは有りますか

(ZCへの質問) ⑪ ゾーンチェアパーソンの目標は？

第1回ガバナー諮問委員会 開催予定日： 8 月 5日（水） 開催場所 苫小牧市
※ セミナー開催の内容 1Z・2Z合同諮問委員会で、セミナー開催について未定

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
苫小牧 LC	①現在の会員の内訳 期 首 13 名 (家族会員 1 名) (女性会員 4 名) 正会員 13 名 ②今年度の新入会員増強目標 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 家族会員の内規はありますか？ 有り ④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 無し ⑤ 今年度の会長スローガン 【 少数精鋭で、楽しくウィサーヴ 】 キーワード【 団 結 】 ⑥ 今年度の会長方針は 特にありません。 ⑦ 今年度の改革方針は 特にありません。	⑧ アクティビティ内容 第70回とまこまい港まつり協賛店出店 苫小牧LC旗争奪、剣道大会×2回支援 春の交通安全運動、新入学児童へお祝い 苫小牧市美術館支援、子ども食堂協賛 ふみの会へハガキ支援 タオルボランティア 田んぼのオーナー収穫米を2団体へ寄付 ⑨ 有・ 無 新規ACT内容 いまのところありません。 ⑩ 有・ 無 内容 ありません。	⑪ 伝統と歴史のあるクラブであるので 退会防止と会員増強に努めてほしい
静内 LC	①現在の会員の内訳 期 首 52 名 (家族会員 4 名) (女性会員 1 名) 正会員 52 名 ②今年度の新入会員増強目標 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 家族会員の内規はありますか？ 有り ④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 無し ⑤ 今年度の会長スローガン 『 We serveの継続と新しい礎の構築 』 キーワード≪ 最良化・最適化 ≫ ⑥ 今年度の会長方針は 【運営方針】組織体制の明確化と委員会の独立性の確立 【事業方針】Activityへの認識の深化と参加しやすい雰囲気醸成 ⑦ 今年度の改革方針は 時代の流れにあわせた体制に見直す予定です。理事の人数や会費 の見直しを行います。 新会員にクラブ内での運営がどのように行われているか理解してもら える研修会等を行います。	⑧ アクティビティ内容 献血推進ACT、中学校バスケト交歓大会 障がい者スポーツ交流大会 ホッカイドウ競馬応援ACT、 交通安全啓発活動 清掃活動、使用済み切手、中古眼鏡、 タオル収集、ヘアードネーション こども未来古本募金、奨学資金 図書購入資金、歳末助け合い募金 災害ボランティアセンター基金寄付 ⑨ 有・ 無 新規ACT内容 福祉事業所の入居者さんと絵画を描く方が たくさんいる様であれば、クラブ主催のコンテ ストを新たに行いたいです。 ⑩ 有・ 無 内容 見直しはありませんが、さらに良いアクティ ビティになるよう修正改良を行います	⑪第1Zの中心的なクラブである。 新規ACTの検討と会員増強を願う
新冠 LC	①現在の会員の内訳 期 首 38 名 (家族会員 1 名) (女性会員 4 名) 正会員 38 名 ②今年度の新入会員増強目標 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 家族会員の内規はありますか？ 有り ④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 無し ⑤ 今年度の会長スローガン 「原点回帰、初心に戻ってウィ・サーブ」 ⑥ 今年度の会長方針は 計画したアクティビティを全員参加で ⑦ 今年度の改革方針は 例会の出席率向上、ゲストスピーチ、メンバースピーチの回数 を増やす	⑧ アクティビティ内容 新入学児童の通学時間帯に街頭指導実施 全国交通安全運動「人の波作戦」 小中学皆勤卒業生へ皆勤賞授与 社協の単身老人会食会の参加者送迎協力 老人ホームへクリスマスケーキ寄贈 ⑨ 有・ 無 新規ACT内容 現行アクティビティの維持・継続のため 新規のアクティビティを考えていない ⑩ 有・ 無 内容	⑪ACTの参加率が高いので、PRを 効果的に実施し会員増強に結び つけて欲しい、新規ACTの検討も願う
苫小牧 ハスカップ LC	①現在の会員の内訳 期 首 31 名 (家族会員 4 名) (支部会員 6 名) (女性会員 3 名) 正会員 31 名 ②今年度の新入会員増強目標 新会員増強目標 2 名 (一般会員 2 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 家族会員の内規はありますか？ 有り ④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 無し ⑤ 今年度の会長スローガン 『つながりを力に！地域への奉仕活動を！ -We Serve-』 ⑥ 今年度の会長方針は これまで、諸先輩方が積み重ねてこられたご尽力のつながり、そして 今の私たちのつながりを大切に、この力を地域への奉仕につなげて まいります。 ⑦ 今年度の改革方針は 現場で働くことを大切に、皆様一丸となって取り組みたいです	⑧ アクティビティ内容 1.ウトナイ湖ファンクラブ賛助会員 2.海岸清掃 3.手をつなぐ育成会 4.廃品回収 5.スピードスケート連合少年団支援金 6.卓球支援金 7.青少年野球チームへ支援金 8.港まつり協賛出店アケ ⑨ 有・ 無 新規ACT内容 特に無し ⑩ 有・ 無 内容	⑪第1Zの中での先駆者として、多種 のACTに引き続きの挑戦を願う
Z C 補 足 事 項				

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶・活動方針】

第 5R 第 2Z L 小谷 和宏 (厚真 LC)

この度、第 5R 第 2Z のゾーンチェアパーソンを拝命した厚真ライオンズクラブ所属 小谷和宏です。

入会してまだ 12 年目です。社会に奉仕の気持ちを忘れずに、地区とクラブの懸け橋となり、その地域の問題視されている課題を重視し、各クラブの活性、発展に心がけます。

地区ガバナー諮問委員会では、皆様と懇親を深めて会議運営に努めます。

キャビネットの皆様、各ゾーンクラブの皆様、1 年間宜しくお願い致します。

- ① 現在の会員
② 新会員増強目標
③ 家族会員の内規は有りますか？ 有・無
④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？ 有・無
⑤ 今年度の会長スローガン
⑥ 今年度の会長方針
⑦ 今年度の改革方針
⑧ アクティビティ内容
⑨ アクティビティ新規
⑩ 継続アクティビティの見直しは有りますか

(ZCへの質問) ⑪ ゾーンチェアパーソンの目標は？

第1回ガバナー諮問委員会 開催予定日： 8 月 1日-8日（土）
開催場所
※ セミナー開催の内容

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
苫小牧中央 LC	① 期 首 76 名 (支部会員 17名) (家族会員 0名) (女性会員 2名) 正会員 59名 ② 新会員増強目標 5名 (一般会員 5名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ 無 ⑤ みんなが、地域が、笑顔でつなげ、未来へ向けて ～We Serve～ ⑥ ・会員相互が笑顔あふれるために ・地域社会が笑顔あふれるために ・未来の担い手7と共に前へ ・笑顔でつながる社会の和、創造 ⑦ 特になし、前年度の継承を元に活動致します。	⑧ 第47回苫小牧中央LCサッカー中学生大会の主催 特別支援学級体験レクリエーション(支部クラブ合同アクティビティ) 旗の波作戦への参加 ⑨ 有 ・ 無 新規ACT内容 鋭意検討中 ⑩ 有 ・ 無 内容 第47回苫小牧中央LCサッカー中学生大会 特別支援学級体験レクリエーション(支部クラブ合同アクティビティ) 旗の波作戦	⑪ 2Zクラブ訪問により、ガバナーの考え方や会員増強に対するの思いを伝えて取り組んでいきたいと思います。 また、アクティビティについても2Z内の他クラブの特色をクラブ訪問時にお伝えいたしますので、今後の活動に活かしていただきたいと思います。
安平 LC	① 期 首 32名 (家族会員 2名) (女性会員 3名) 正会員 30名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 1名) (家族会員 名) (女性会員 1名) 7/1付け2名入会	③ 有 ④ ⑤ 人との絆 笑顔でつなごうライオンズの輪 ⑥ We Serveの精神を大切に、地域に必要とされるクラブを目指し、会員一人ひとりが参加しやすく楽しく活動できるクラブ運営に 努めます。 ⑦ クラブの伝統を守りながら新しい一歩を踏み出し、時代にあった奉仕活動を企画し実践します。	⑧ ・うまかつり出店 ・献血協力呼び掛け ・新入学児童へ入学祝 ・災害支援(随時) ・町内こども園へ絵本寄贈 ・歳末助け合い募金 ・タオルボランティア(随時) ・ライオンズデー奉仕(環境整備、交通安全街頭啓発) ・環境整備(春) ・バレーボール大会 ⑨ 有 ・ 無 新規ACT内容 少年野球大会主催 ⑩ 有 ・ 無 内容	⑪ 同上
厚真 LC	① 期 首 31 名 (家族会員 3名) (女性会員 0名) 正会員 28 名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 1名) (家族会員 1名) (女性会員 名)	③ 有 ④ ⑤ 仲間と共に 地域社会へ 奉仕の心 ⑥ 会員一丸となり、地域に根ざした奉仕活動を行ってまいります。 ⑦ 例会・奉仕活動を通し会員の相互理解に努めます。	⑧ 地区ガバナースローガン・会長スローガン掲揚、清掃活動、タオルボランティア、鯉のぼり掲揚、歳末独居老人宅訪問、厚真町田舎まつり協賛、献血PR、交通安全街頭啓発参加 厚真町内の青少年を対象とした支援や行事の後援 ⑨ 有 ・ 無 新規ACT内容 夏季YCE生受け入れ ⑩ 有 ・ 無 内容	⑪ 同上
苫小牧白鳥 LC	① 期 首 38 名 (家族会員 0名) (女性会員 3名) 正会員 38 名 ② 新会員増強目標 3名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 有 ④ ⑤ とともに創り とともに学び とともに進む ウィ・サーヴ ⑥ 「ウィ・サーヴ」の精神のもと、クラブの伝統を大切に継承しながら、会員増強と魅力あるクラブづくり、充実した例会と奉仕活動、他クラブとの交流を推進し、会員一人ひとりが誇りとやりがいを持って活動できるクラブ運営を目指してまいります。 ⑦ なし	⑧ 小学校陸上競技大会・NPO法人「木と風の香り」 ・吹奏楽連盟金銭支援・苫小牧市への福祉用具寄贈 ・新入学児童交通安全ACT(文房具寄贈) ・桜の木育成 ・苫小牧白鳥LC杯中学校アイスホッケー大会 ⑨ 有 ・ 無 新規ACT内容 ⑩ 有 ・ 無 内容	⑪ 同上
	① 期 首 名 (家族会員 名) (女性会員 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	⑧ ⑨ 有 ・ 無 新規ACT内容 ⑩ 有 ・ 無 内容	⑪
	① 期 首 名 (家族会員 名) (女性会員 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	⑧ ⑨ 有 ・ 無 新規ACT内容 ⑩ 有 ・ 無 内容	⑪
ZC補足事項				

就任のご挨拶

視力障害・献眼献血委員会
委員長 阪 井 肇

今期視力障害・献眼献血委員長を就任いたしました、第4リジョン第2ゾーン
函館中央ライオンズクラブ所属の阪井 肇です。

日頃より本委員会の活動にご理解とご協力を賜っております、クラブ会長は
じめメンバーの皆様、関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

視力障害・献眼献血活動はライオンズクラブ国際協会が長年にわたり力を注
いできた重要な奉仕分野であり、私自身もその意義と重みを強く感じておりま
す。

世界には失明や視覚障害により日常生活に大きな困難を抱えている方が数多く
おられます。角膜移植などの医療の進歩により、献眼という尊い意志が、視力
を取り戻す大きな希望となっておりますのでアイバンクへの支援や啓発活動、
そして献眼登録の呼び掛けを通じて「見える喜び」を次の世代につないでいく責
任があると考えております。

献血活動では安定した血液の確保は多くの命を守る基盤であり、ライオンズ
クラブが継続的に取り組んできた大切な奉仕です。近年、少子高齢化やライフス
タイルの変化により、献血協力者の確保が難しくなっていると聞きます。だから
こそ私たちが街頭献血や啓発活動を通じて、多くの方とつながり、「献血で救わ
れる命」があることを伝えていきたいと考えています。

結びに未熟な点も多々あるかと思いますが、皆様のお力添えを頂きながら、与
えられた職責を全うしてまいります。どうか本年度の視力障害・献眼献血委員会
の活動に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご
挨拶とさせていただきます。

今年度、アラート・環境・社会福祉委員会の委員長を仰せつかりました函館ライオンズクラブのL辺見寿了です。

近年では世界各国及び日本全国で、様々な災害が発生しております。あらゆる災害に対してライオンズクラブが迅速に的確に支援を行っておりますのは、全クラブメンバー様の温かいご協力とご尽力の賜物でございます。

環境保全・社会福祉など、地域に根差した活動も献身的な活動によって支えられております。

今期一年、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、この役職を全うできるよう務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

アラート・環境・社会福祉委員会 委員長

L辺見 寿了（函館ライオンズクラブ）

【就任のご挨拶】

ECHO・IT 委員会 委員長
L 安達 隆真（函館一楽 LC）

今期、L 作並真一ガバナーより ECHO・IT 委員会委員長を仰せつかりました、函館一楽ライオンズクラブの L 安達隆真と申します。

ECHO 紙および IT を通じて、地区内の情報発信と会員相互のつながりの強化に努めてまいります。また、各クラブの活動報告をはじめ、会員の皆様が親しみを持って楽しみに手に取っていただけるような紙面づくりを目指してまいります。

各クラブの活動報告につきましては、ホームページやご提供いただくデータ等を参考に掲載させていただきますので、会員皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

誠心誠意努めてまいります。キャビネットでの委員長職は初めての経験でもあり、不慣れな点からご迷惑をおかけすることもあるかと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

キャビネット役員挨拶

LCIF 委員長 L 五十嵐 靖央

会員の皆様、日頃より LCIF 活動に対しまして深いご理解と心暖かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

LCIF は、世界中のライオンズクラブが力を合わせ、災害支援、食料支援など様々な人道奉仕を支える活動です。皆様からお寄せいただく寄付は、地域社会のみならず、世界各地で支援を必要とする人々の希望となり、大きな成果を生み出しております。

今後も LCIF の使命と活動内容について、積極的に発信し、多くの会員の皆様にご参加いただけるよう努めてまいります。引続き温かいご支援、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

今期 1 年何卒よろしくお願い致します。

【就任挨拶】

地区会則委員会

委員長 L 森田 かおる

このたび、会則委員会 委員長を務めさせていただくことになりました

函館海峡ライオンズクラブの森田です。

初めての経験で戸惑うこともあります、皆様のご指導をいただきながら

頑張りたいと思います

会則委員会として、会員の皆様が気持ちよく活動できるクラブ活動に努めて

まいりますので ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【地区委員長活動方針】

地区大会・国際大会委員会委員長
第4R第1Z L吉田 寛（函館東LC）

この度、地区大会・国際大会委員会委員長を務めることとなりました。

地区年次大会は、一年間の奉仕活動の成果を共有し、会員相互の親睦と連帯を深めるとともに、次年度へ希望をつなぐ大切な場です。作並ガバナーの総括の場として厳粛な中にも和気あいあいと活気のある大会になるよう、そして「参加して良かった」と感じていただける大会運営を目指し、御来賓・代議員・会員の皆様を心からお迎えできるよう、ホストクラブ第4リジョン10クラブが一丸となって協力し合い準備を進めてまいります。

また、地区内クラブの活動を称え合い、「We Serve」の精神を再確認できる大会となるよう努めます。

会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、地区ガバナースローガン「真の奉仕は仲間と笑顔で楽しく作ろう」をモットーに、笑顔と感動あふれる地区年次大会の開催に全力を尽くしてまいります。

2027年5月14日 地区年次大会前夜祭（LCIF ゴルフ・ボーリング大会）

2027年5月15日 第73回地区年次大会（函館国際ホテル）

YCE委員会 委員長 函館グリーンLC 末永玲子

この度、331-C地区のYCE委員長を拝命いたしました函館グリーンLC
末永玲子です。YCE交換生の受け入れ、派遣生については他の地区の情報を収集しながら331-C地区のYCE事業の活発化に努めたいと思います。

皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

＜就任御挨拶＞

今期、ライオンズクエスト委員会、薬物乱用防止委員会委員長を仰せつかりました、函館元町ライオンズクラブの藤本 圭です。

昨今、子供達を取り巻く環境が大きく変化する中、私達ライオンズクラブには地域の未来を担う青少年を支える役割がこれまで以上に求められています。

教育、国際交流、薬物乱用防止というそれぞれの分野の活動を通して安心して成長できる場所づくりに努めてまいります。

委員会活動を通じて各クラブとも連携を深め、実りある一年となるよう精一杯取り組んでまいりますので、皆様の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

＜活動方針＞

ライオンズクエスト委員会

地域の青少年とライオンズクラブ会員との交流を推進する中で

「社会のセーフティーネット」としての役割をテーマとし、闇バイトや特殊詐欺を始めとする「身近に有り得る犯罪」の入口や様々な問題への対応力、解決力や判断力の育成を目的とする。

薬物乱用防止委員会

薬物乱用防止教室を開催し若年層に対する正しい知識と危険性を伝える

この度、2026-2027 年度 キャビネット運営委員会 委員長を拝命いたしました、L 三上隆広です。

歴史と伝統あるライオンズクラブにおいて、このような大役を務めさせていただくことに身の引き締まる思いであります。

キャビネット運営委員会では、地区運営が円滑に進むよう各委員会やクラブとの連携を大切にし、会員の皆様が活動しやすい環境づくりに努めてまいります。また、奉仕活動を通じて地域社会に貢献できるよう、微力ではありますが誠心誠意取り組んでまいります。

会員の皆様のご指導、ご協力なくして委員会運営は成り立ちません。どうか一年間、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、地区のさらなる発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

キャビネット運営委員会 委員長 L 三上 隆広

LIONSCLUB 331-C

DISTRICT GOVERNOR'S CABINET



ライオンズクラブ国際協会331-C地区
函館キャビネット事務局

〒041-0806 函館市美原5丁目36-6

TEL:080-6613-2600 FAX:(0138)46-1782

E-mail:lc331c_hakodate-cab@lionsclubs-331c.org

